

子ども・子育て支援に関する アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月

館林市

目次

第1章	調査概要	1
1	調査目的	3
2	調査対象等	3
3	回収状況	3
4	報告書の見方	4
第2章	就学前児童保護者	5
1	お住まいの地域について	7
(1)	居住地域	7
2	お子様とご家族のことについて	8
(1)	子どもの年齢	8
(2)	子どもの人数	9
(3)	調査票回答者	9
(4)	調査票回答者の配偶関係	10
(5)	主に子育てをしている人	10
3	子どもの育ちをめぐる環境について	11
(1)	子育てに日常的に関わっている人・施設	11
(2)	子育てに影響すると思われる環境	12
(3)	子どもをみてもらえる親族・友人の有無	12
(4)	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	13
(5)	友人・知人に子どもをみてもらっている状況	14
(6)	気軽に相談できる人・場所の有無	15
(7)	気軽に相談できる人・場所	15
(8)	子育てに関して周囲に求めるサポート	16
4	保護者の就労状況について	17
(1)	母親の就労状況	17
(2)	就労している母親の就労日数・就労時間	18
(3)	パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	19
(4)	就労していない母親の就労希望	20
(5)	父親の就労状況	22
(6)	就労している父親の就労日数・就労時間	23
(7)	パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望	24
(8)	就労していない父親の就労希望	24
5	平日の定期的な幼稚園や保育園の利用状況について	26
(1)	平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	26
(2)	利用している平日の定期的な教育・保育の事業	26

(3)	平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望	27
(4)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所	29
(5)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由	29
(6)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由	30
(7)	利用したい平日の定期的な教育・保育の事業	31
(8)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所	31
(9)	幼稚園の強い利用希望	32
(10)	平日の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点	33
(11)	幼児教育、保育が無償化になった場合の平日の教育・保育の事業の利用意向の変化	34
(12)	幼児教育、保育の無償化で、家庭で起こりうると思うこと	35
6	地域の子育て支援事業の利用状況について	36
(1)	地域子育て支援センターの利用状況	36
(2)	地域子育て支援センターの利用希望	37
(3)	各種事業の認知度	38
(4)	各種事業の利用状況	39
(5)	各種事業の利用意向	40
7	土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	41
(1)	定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望	41
(2)	定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望	42
(3)	土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由	43
(4)	定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望	44
(5)	長期休暇期間中、たまに利用したい理由	45
8	お子様の病気の際の対応について 【幼稚園や保育園などの事業を利用者のみ】	46
(1)	病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと	46
(2)	事業が利用できなかった場合の対処方法	47
(3)	病児・病後児保育施設等の利用希望	49
(4)	病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態	50
(5)	病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	50
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	51
(1)	利用している不定期の教育・保育の事業	51
(2)	不定期の教育・保育の事業を利用していない理由	53
(3)	私用等の目的での事業の利用希望	54
(4)	私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態	56
(5)	子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと	57
(6)	親族・知人にみてもらった場合の困難度	59
10	小学校就学後の放課後の過ごし方について	60
(1)	希望する低学年時の放課後の過ごし方	60
(2)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	63

(3)	土曜日の放課後児童クラブの利用希望	66
(4)	日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	67
(5)	長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望	68
1 1	職場の両立支援制度について	69
(1)	母親の育児休業の取得状況	69
(2)	父親の育児休業の取得状況	71
(3)	育児休業取得後の状況	73
(4)	3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期	74
(5)	育児休業から職場に復帰する時期	75
(6)	育児休業取得後、希望より早く復帰した理由	76
(7)	育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由	77
(8)	子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向	77
1 2	子育て支援施策全般について	78
(1)	子育ての楽しさ	78
(2)	子育てに関しての悩み・気になること	79
(3)	子育てや暮らしに関する情報の入手方法	80
(4)	子育て支援のボランティア活動の参加意向	81
(5)	子育てで協力できること	81
(6)	地域で子育てを支えるために重要なこと	82
(7)	子育て環境の満足度	83
(8)	子育て支援環境充実のための必要な支援策	84
第3章	小学生児童保護者	85
1	お住まいの地域について	87
(1)	居住地域	87
2	お子様とご家族のことについて	88
(1)	子どもの学年	88
(2)	子どもの人数	89
(3)	調査票回答者	89
(4)	調査票回答者の配偶関係	90
(5)	主に子育てをしている人	90
3	子どもの育ちをめぐる環境について	91
(1)	子育てに日常的に関わっている人・施設	91
(2)	子育てに影響すると思われる環境	92
(3)	子どもをみてもらえる親族・友人の有無	92
(4)	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	93
(5)	友人・知人に子どもをみてもらっている状況	94
(6)	気軽に相談できる人・場所の有無	95
(7)	気軽に相談できる人・場所	95

(8)	子育てに関して周囲に求めるサポート	96
4	保護者の就労状況について	97
(1)	母親の就労状況	97
(2)	就労している母親の就労日数・就労時間	98
(3)	パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	99
(4)	就労していない母親の就労希望	100
(5)	父親の就労状況	102
(6)	就労している父親の就労日数・就労時間	103
(7)	パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望	103
(8)	就労していない父親の就労希望	103
5	小学校の放課後の過ごし方について（低学年児童）	104
(1)	現在の放課後の過ごし方	104
(2)	低学年時の放課後の過ごし方（希望の過ごし方）	107
(3)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	110
6	放課後児童クラブについて	113
(1)	放課後児童クラブの利用状況	113
(2)	希望する放課後児童クラブの利用学年	113
(3)	土曜日の放課後児童クラブの利用希望	114
(4)	日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	115
(5)	夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	116
(6)	冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	117
(7)	放課後児童クラブの満足度	118
(8)	放課後児童クラブへの要望	119
(9)	放課後児童クラブを利用しない理由	120
7	放課後子ども教室について	121
(1)	放課後子ども教室の利用希望	121
(2)	放課後子ども教室に期待すること	121
8	お子様の病気の際の対応について	122
(1)	病気やケガで学校を休んだことがあるか	122
(2)	学校を休んだ場合の対処方法	122
(3)	病児・病後児保育施設等の利用希望	124
(4)	病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態	125
(5)	病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	125
9	子育て支援施策全般について	126
(1)	子育ての楽しさ	126
(2)	子育てに関しての悩み・気になること	127
(3)	子育てや暮らしに関する情報の入手方法	128
(4)	地域で子育てを支えるために重要なこと	129

(5) 子育て支援のボランティア活動の参加意向.....	130
(6) 子育てで協力できること	130
(7) 子育て環境の満足度	131
(8) 子育て支援環境充実のための必要な支援策.....	132

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、「第2期館林市子ども・子育て支援事業計画」の資料とするため、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、ニーズ調査として実施しました。

2 調査対象等

(1) 調査対象

	調査対象者	対象者数	
1	就学前児童保護者	2,000人	保育所(園)・幼稚園就園児は各園を通じた配付・回収 未就園児は郵送配付・回収
2	小学生児童保護者	500人	小学1～3年生を対象に学校を通じた配付・回収

(2) 調査実施期間

平成31年1月21日～2月4日

3 回収状況

	対象者	配付数	回収数	回収率(%)
1	就学前児童保護者	2,000件	1,672件	83.6%
2	小学生児童保護者	500件	434件	86.8%

4 報告書の見方

- (1) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
- (2) 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
- (3) グラフ中の(n:○○)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- (4) クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

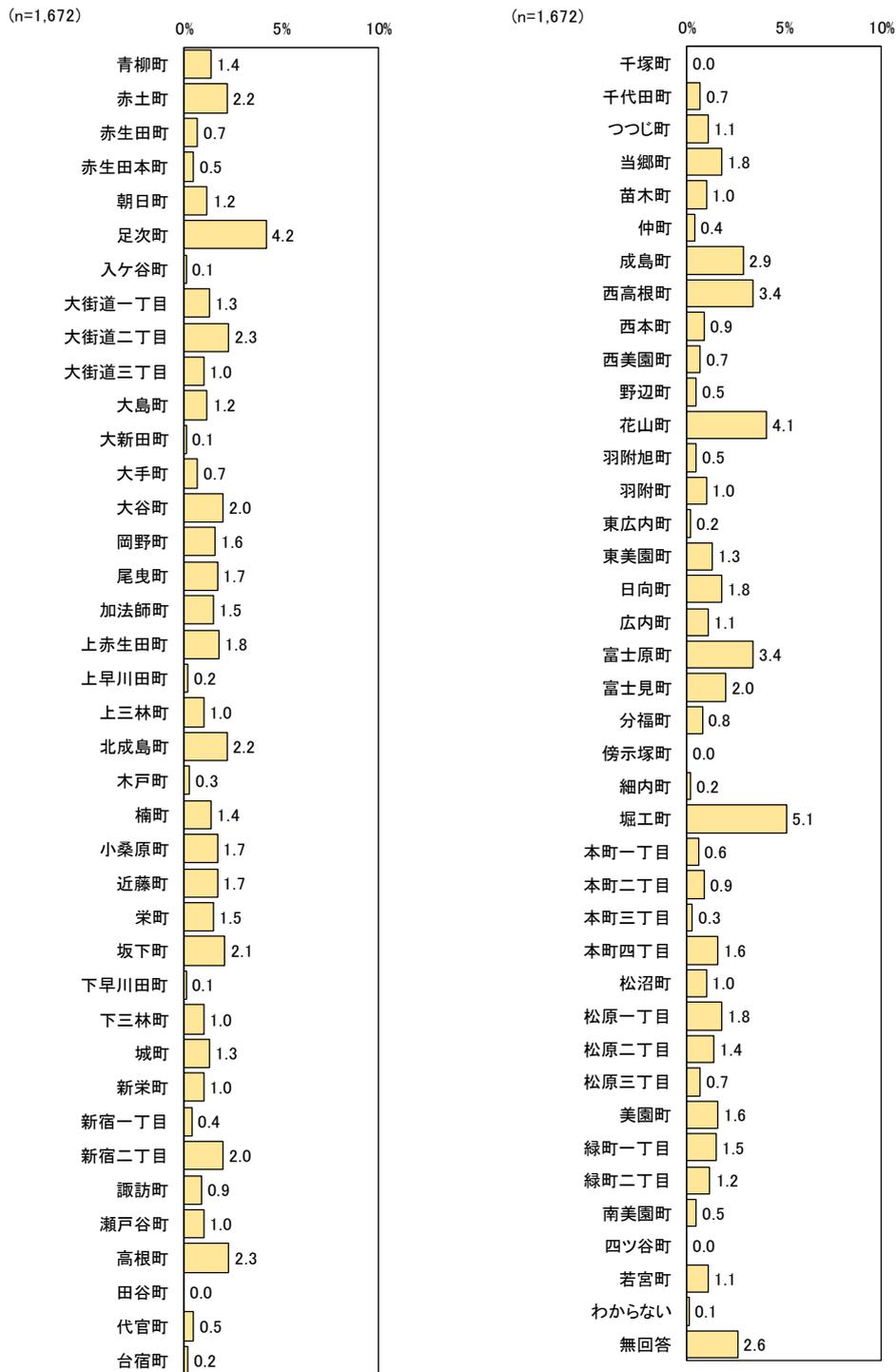
第2章 就学前児童保護者

1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

居住地域は、「堀工町」が5.1%で最も多く、次いで「足次町」が4.2%、「花山町」が4.1%となっています。



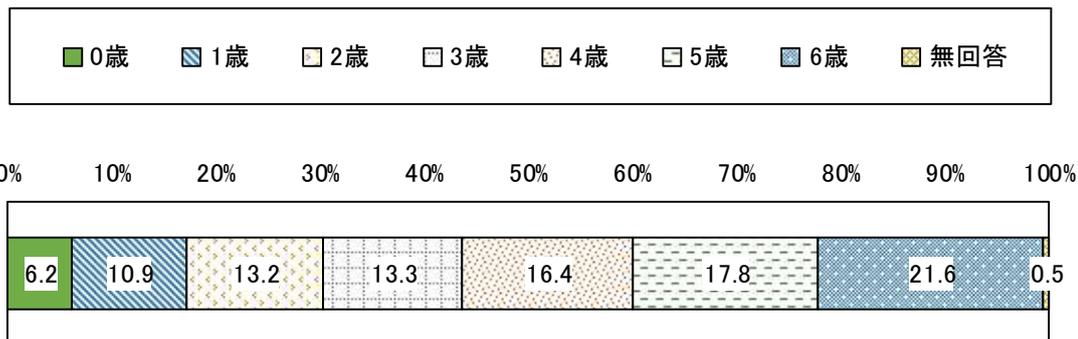
2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの年齢は、「6歳」が21.6%で最も多く、次いで「5歳」が17.8%、「4歳」が16.4%となっています。

(n=1,672)



(2) 子どもの人数

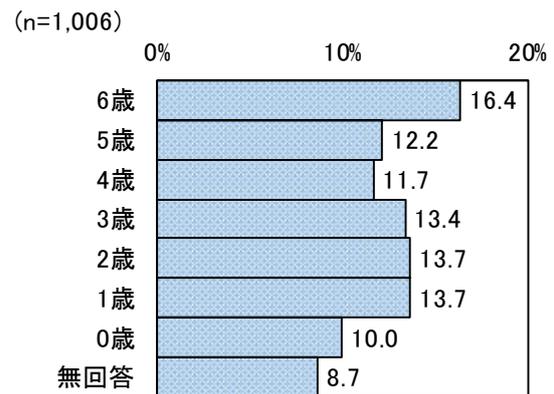
問3 宛名のお子さんのきょうだいは(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。
 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの人数は、「2人」が42.5%で最も多く、次いで「1人」が30.3%、「3人」が13.9%となっています。また、末子の年齢は、「6歳」が16.4%で最も多く、次いで「1歳」、「2歳」がともに13.7%となっています。

・きょうだいの数



・末子の年齢

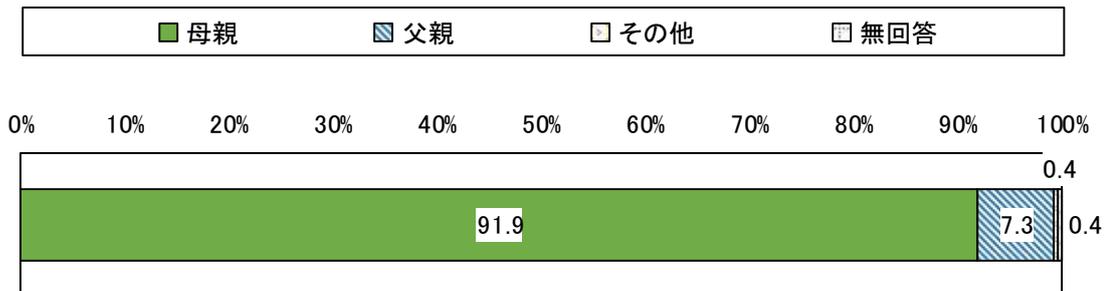


(3) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が91.9%で最も多く、次いで「父親」が7.3%となっています。

(n=1,672)

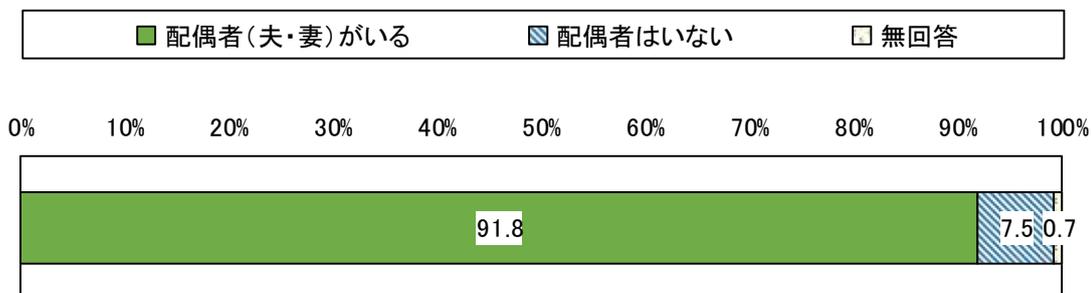


(4) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶(婚姻)関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者(夫・妻)がいる」が91.8%、「配偶者はいない」が7.5%となっています。

(n=1,672)



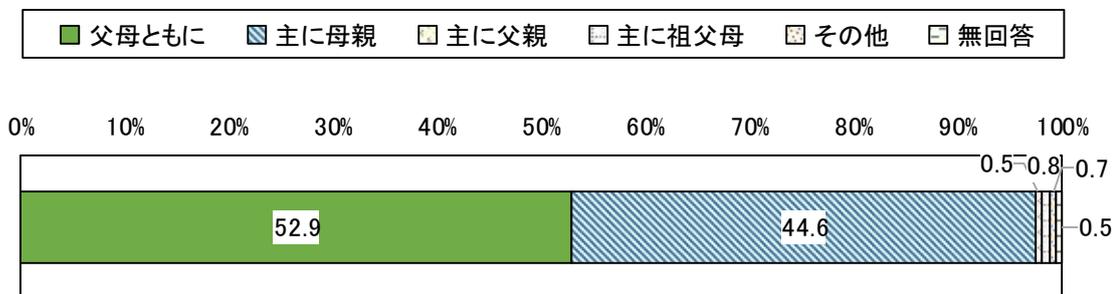
(5) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が52.9%で最も多く、次いで「主に母親」が44.6%、「主に祖父母」が0.8%となっています。

(n=1,672)

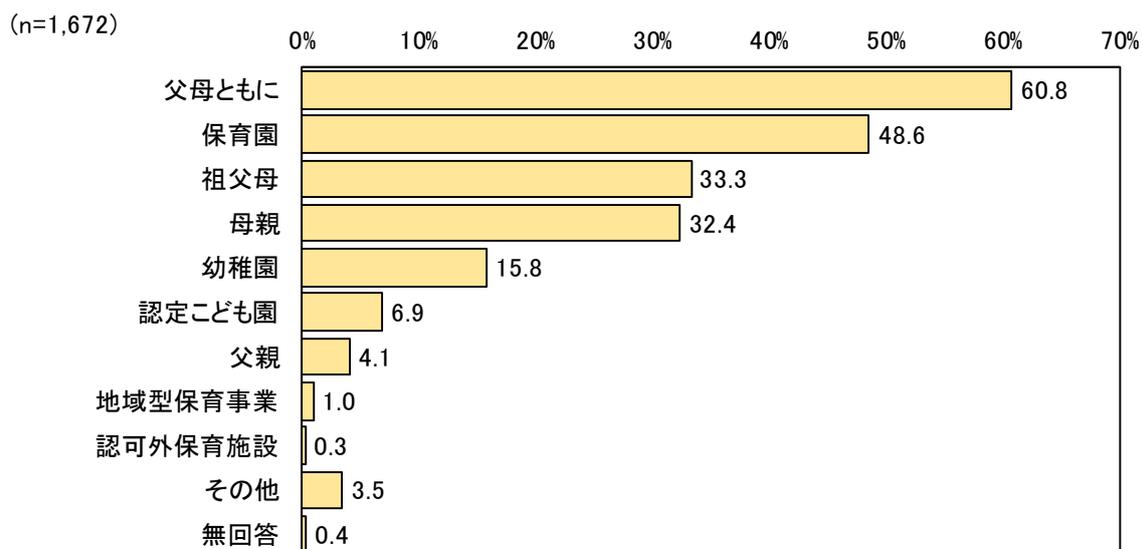


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
 お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が60.8%で最も多く、次いで「保育園」が48.6%、「祖父母」が33.3%となっています。



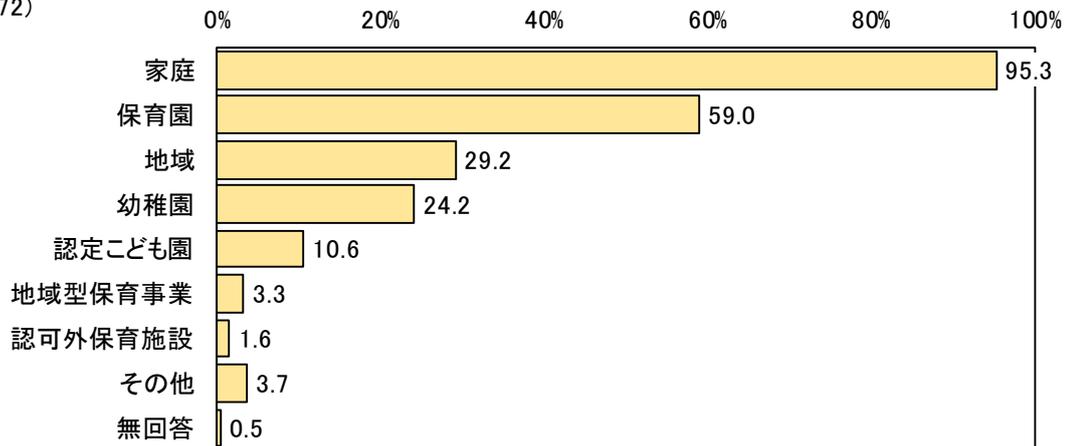
(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が95.3%で最も多く、次いで「保育園」が59.0%、「地域」が29.2%となっています。

(n=1,672)

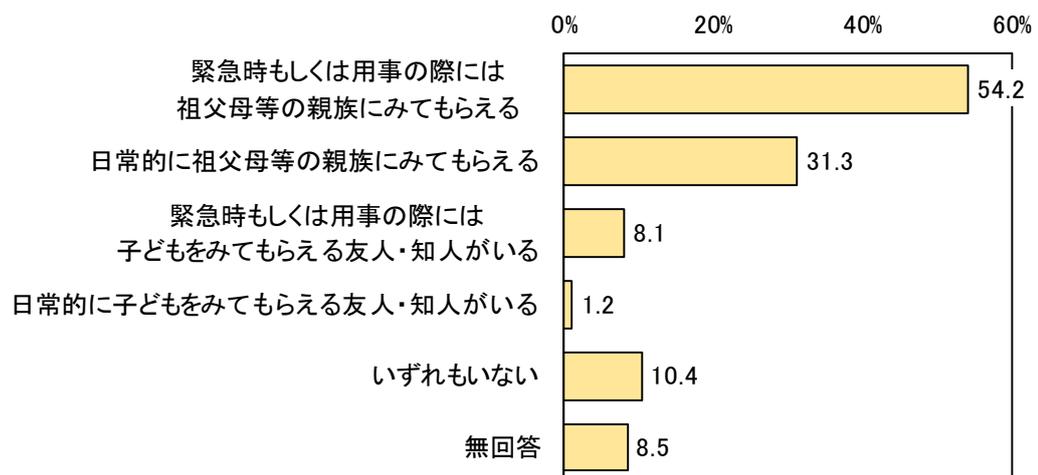


(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.2%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.3%、「いずれもない」が10.4%となっています。

(n=1,672)



(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

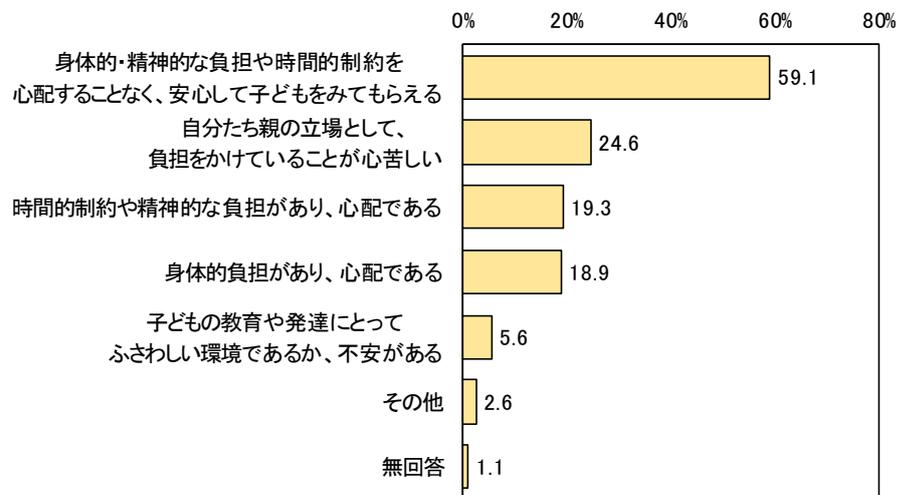
問9で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.6%、「時間的制約や精神的な負担があり、心配である」が19.3%となっています。

(n=1,329)



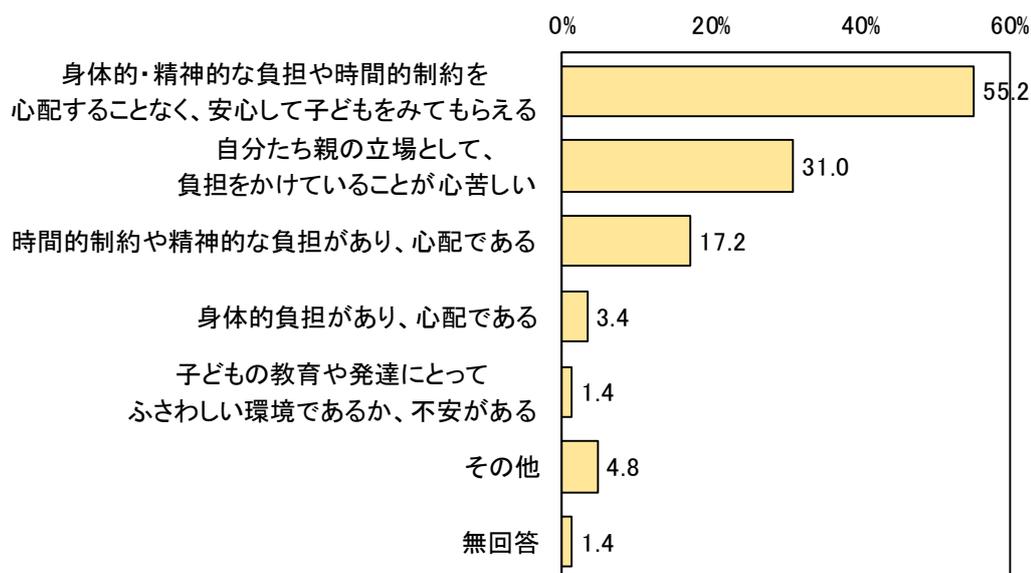
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 55.2%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 31.0%、「時間的制約や精神的な負担があり、心配である」が 17.2%となっています。

(n=145)

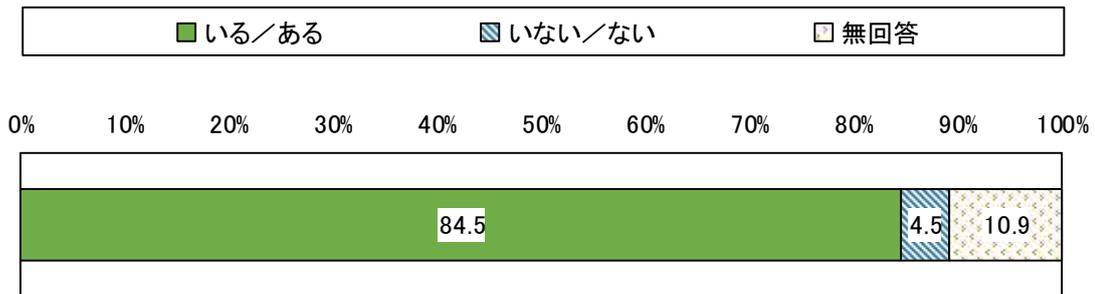


(6) 気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が84.5%、「いない／ない」が4.5%となっています。

(n=1,672)



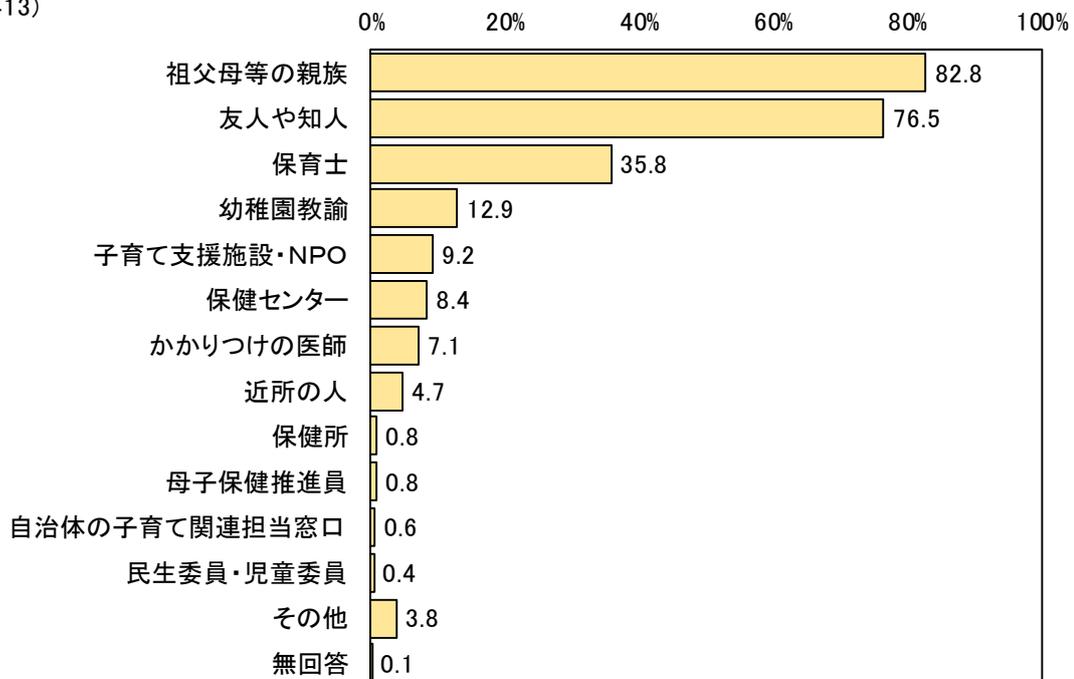
(7) 気軽に相談できる人・場所

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が82.8%で最も多く、次いで「友人や知人」が76.5%、「保育士」が35.8%となっています。

(n=1,413)



(8) 子育てに関して周囲に求めるサポート

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【主な意見】

- ・子どもを気軽に預けられる場所
- ・急用や親が体調不良、リフレッシュの際の一時預かり
- ・子どもの病気の時に預けられる場所
- ・子どもが病気の時に相談できる電話サービス
- ・離乳食や幼児食を提供してくれる場所（低価格、無料で）
- ・小児科、病院等の医療体制
- ・病院の紹介や送迎、在宅医療
- ・親同士、子ども同士が集まれる・交流できる場所
- ・子育てに関する相談の場所
- ・安心して遊べる公園、場所
- ・子育て支援の情報提供
- ・親自身の悩みなどの相談
- ・障がい児に関する相談の場や集まれる場所
- ・働きやすくなるようなサポート
- ・学童保育や放課後児童デイサービス
- ・保育園等への送迎バス
- ・学級閉鎖や振り替え休日の時に預かってもらえる場所
- ・父親の育児参加
- ・現状に満足している
- ・特にない

4 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

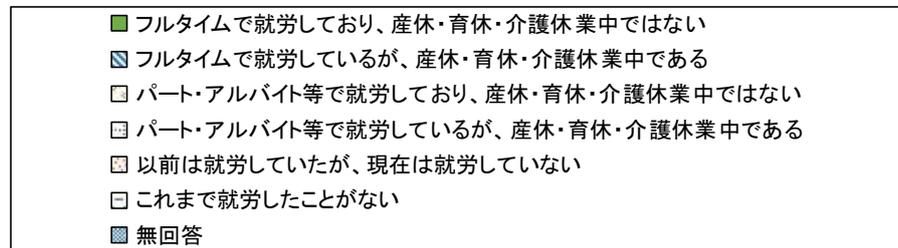
問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親(1つに○)【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.6%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.8%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.4%となっています。

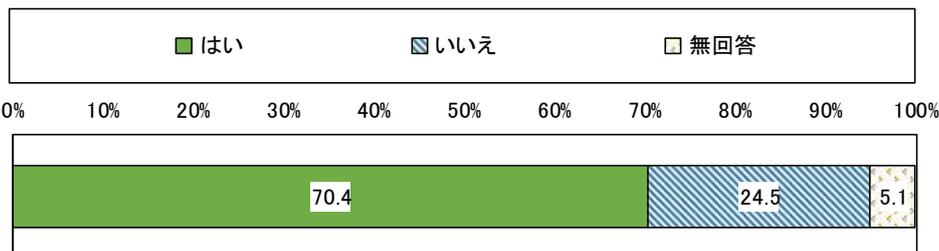
また、出産・育児を理由とした離職について、「はい」が70.4%、「いいえ」が24.5%となっています。

(n=1,672)



・ 離職した主な理由は、出産・育児ですか。

(n=432)



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

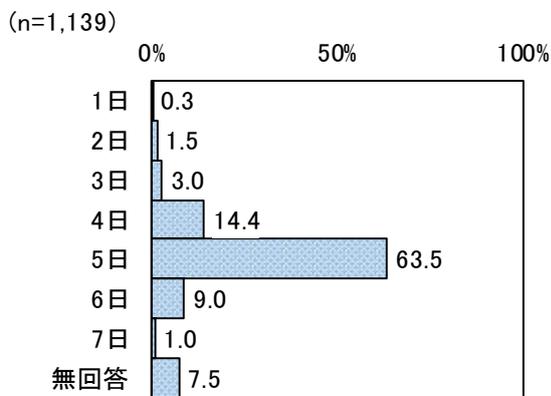
(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

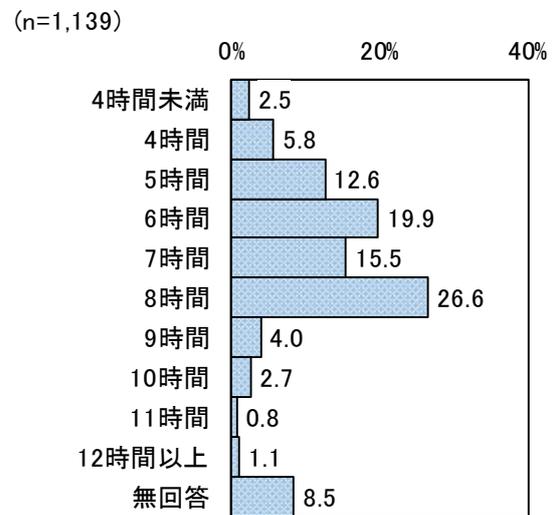
就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が63.5%で最も多く、次いで「4日」が14.4%、「6日」が9.0%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が26.6%で最も多く、次いで「6時間」が19.9%、「7時間」が15.5%となっています。

・ 1週あたりの就労日数



・ 1日あたりの就労時間



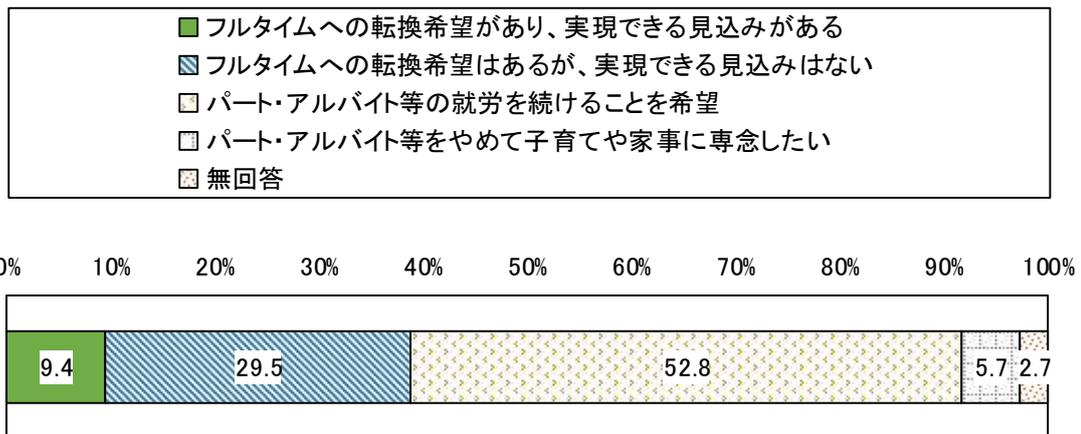
(3) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

(1)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

(1)ー2 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.8%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.4%となっています。

(n=597)



(4) 就労していない母親の就労希望

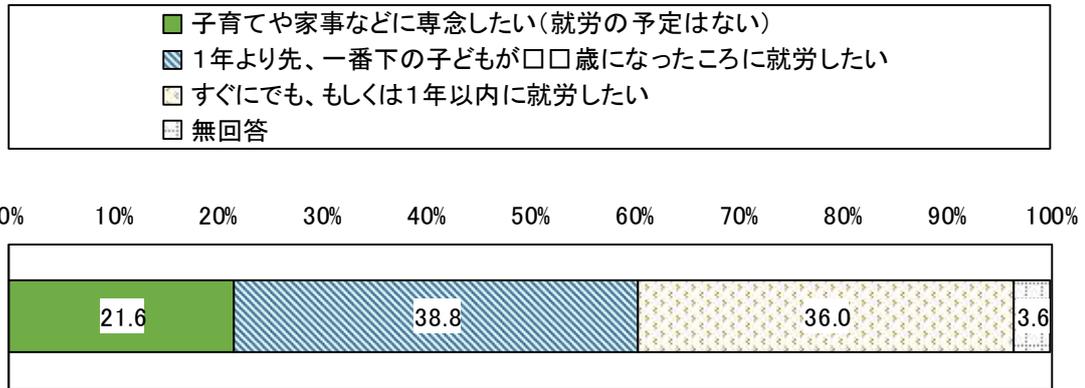
(1)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

(1)－3 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が38.8%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が21.6%となっています。

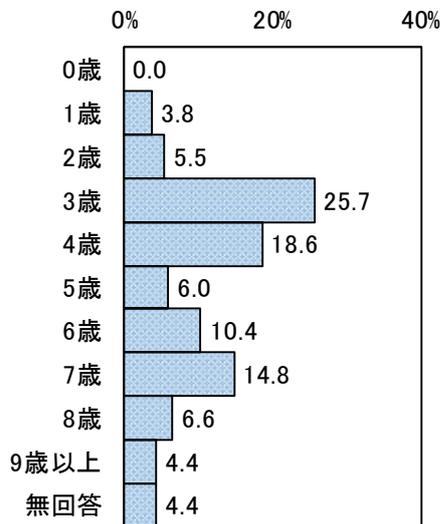
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「3歳」が25.7%で最も多く、次いで「4歳」が18.6%、「7歳」が14.8%となっています。

(n=472)



・ 母親の就労希望時の下の子どもの年齢

(n=183)



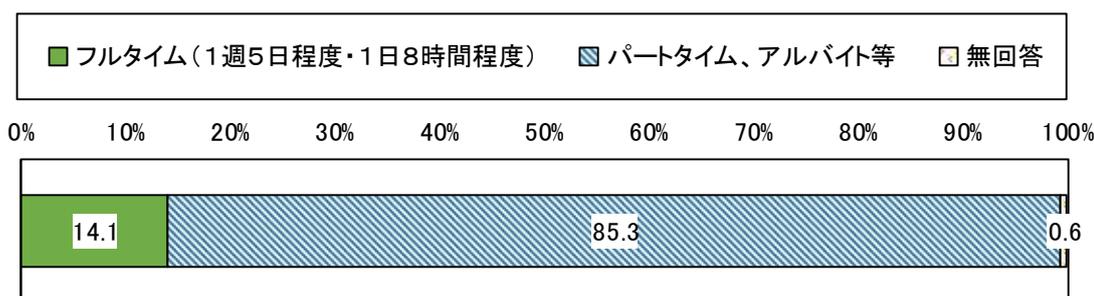
1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が85.3%で最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が14.1%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「5日」が34.5%で最も多く、次いで「3日」が33.1%、「4日」が26.9%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「5時間」が35.9%で最も多く、次いで「4時間」が33.8%、「6時間」が19.3%となっています。

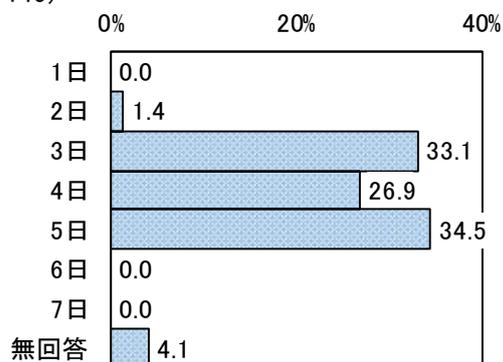
・希望する就労形態

(n=170)



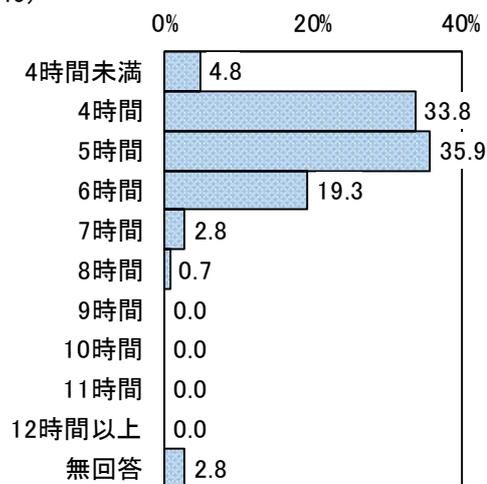
・希望する1週あたりの就労日数

(n=145)



・希望する1日あたりの就労時間

(n=145)



(5) 父親の就労状況

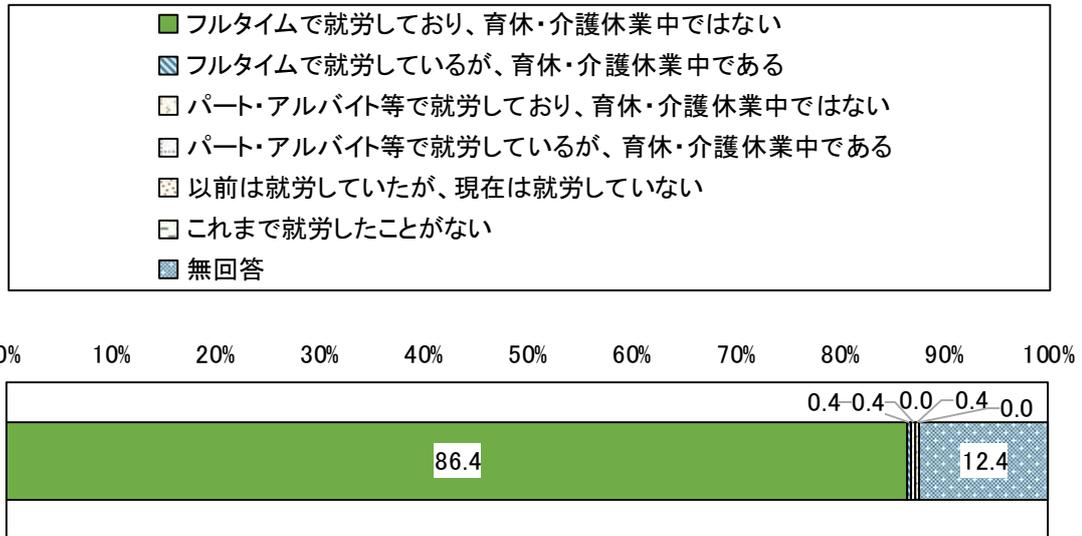
問12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(2) 父親(1つに○) 【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.4%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がいずれも0.4%となっています。

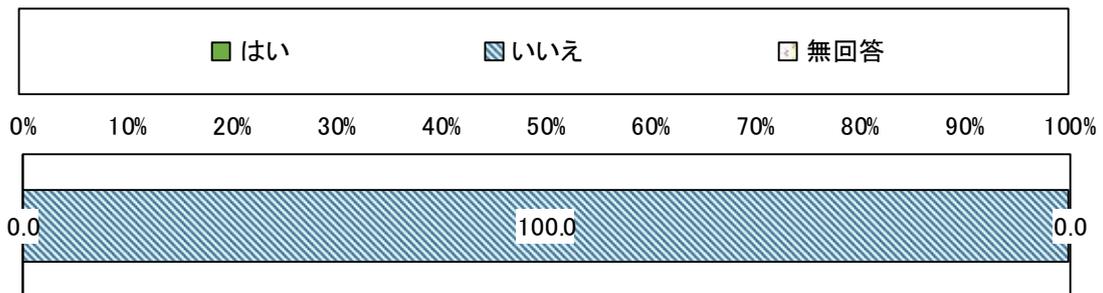
また、育児を理由とした離職について、「いいえ」が100.0% (7人) となっています。

(n=1,672)



・ 離職した主な理由は、育児ですか。

(n=7)



(6) 就労している父親の就労日数・就労時間

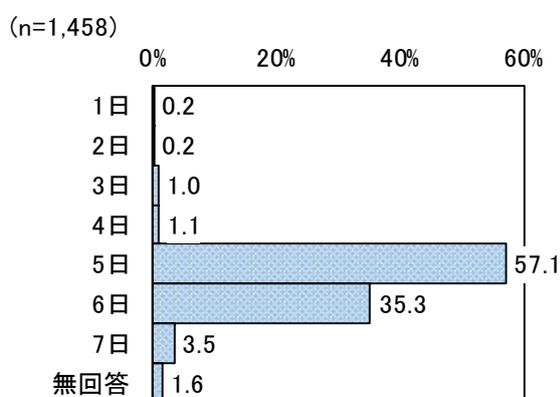
(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(2)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

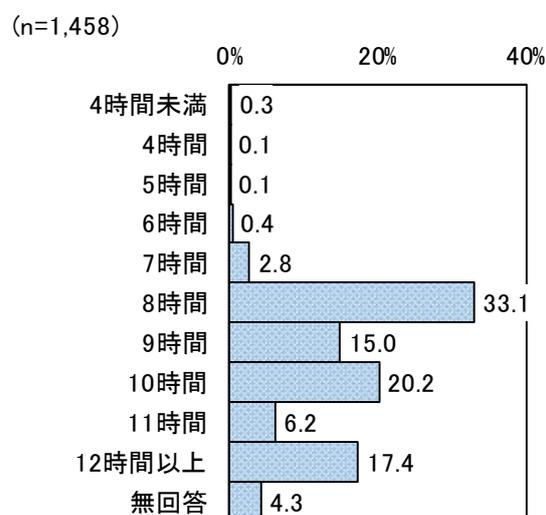
就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が57.1%で最も多く、次いで「6日」が35.3%、「7日」が3.5%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が33.1%で最も多く、次いで「10時間」が20.2%、「12時間以上」が17.4%となっています。

・ 1週あたりの就労日数



・ 1日あたりの就労時間



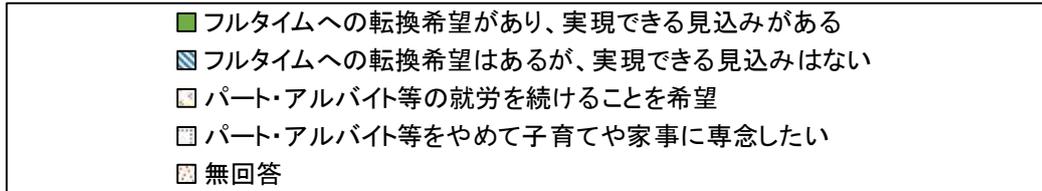
(7) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

(2)ー2 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が71.4%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が14.3%となっています。

(n=7)



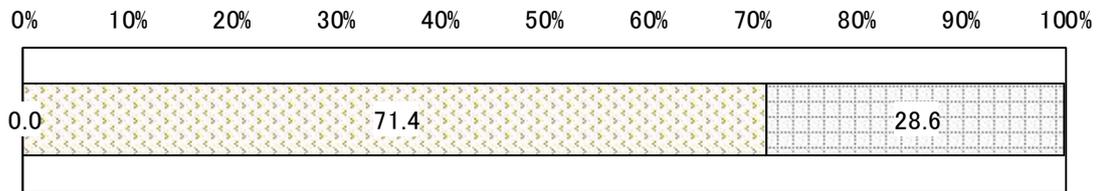
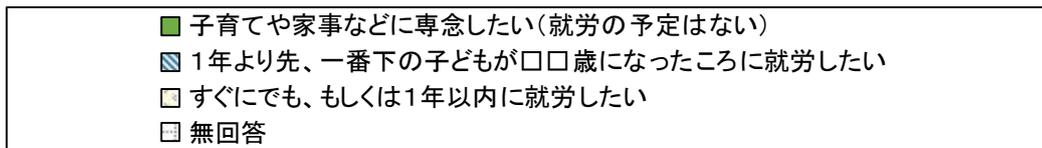
(8) 就労していない父親の就労希望

(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

(2)ー3 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が71.4%で最も多くなっています。

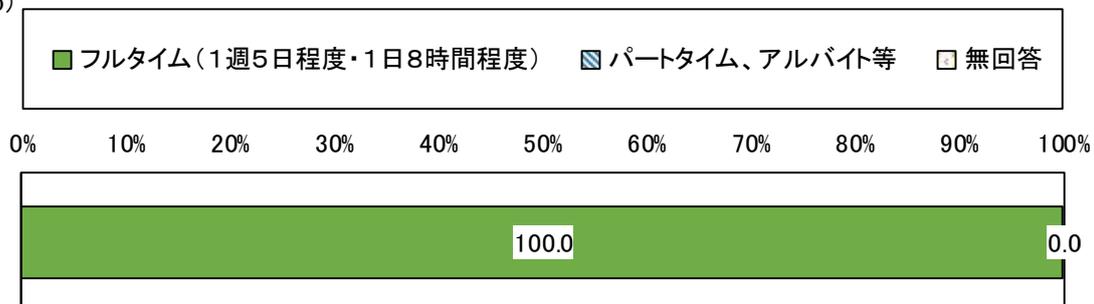
(n=7)



1年以内に就労したい父親が希望する就労形態は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が100.0%（5人）で最も多くなっています。

・希望する就労形態

(n=5)



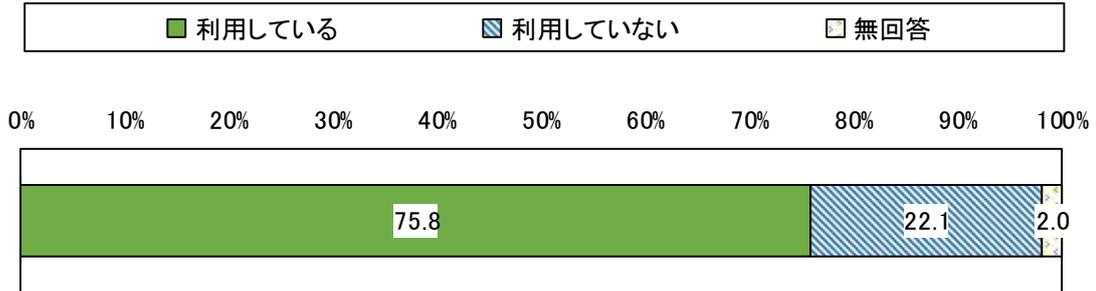
5 平日の定期的な幼稚園や保育園の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問13 宛名のお子さんは現在、定期的に幼稚園や保育園などを利用されていますか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が75.8%、「利用していない」が22.1%となっています。

(n=1,672)



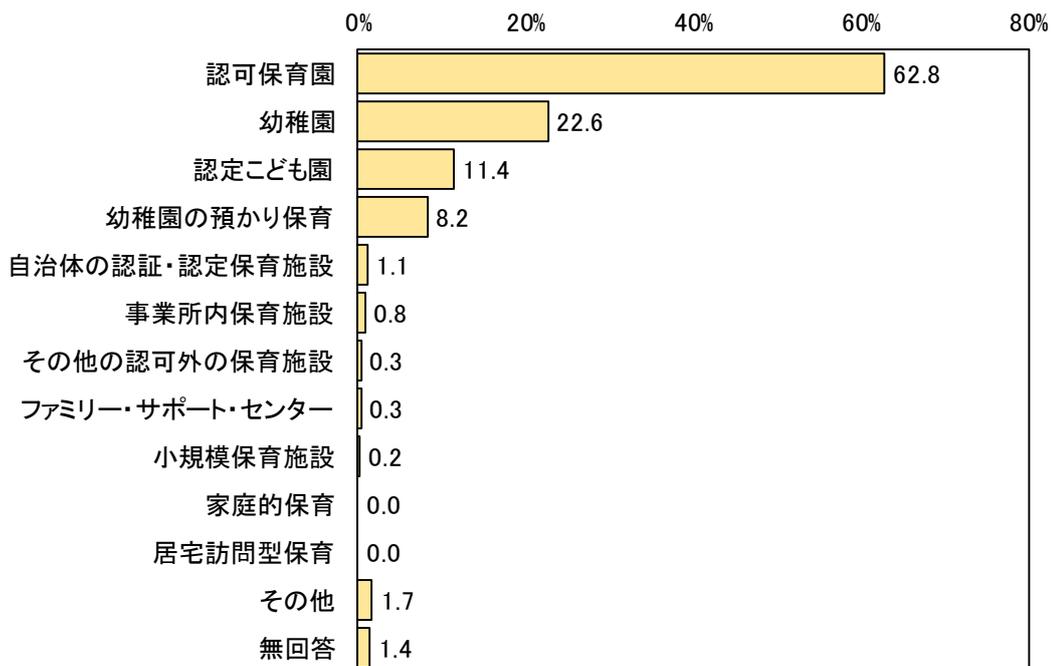
(2) 利用している平日の定期的な教育・保育の事業

問13で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問13-1 宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育園」が62.8%で最も多く、次いで「幼稚園」が22.6%、「認定こども園」が11.4%となっています。

(n=1,268)



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望

問13で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(それぞれ数字を記入)

平日の定期的な教育・保育の事業の1週あたりの現在の利用日数は、「5日」が87.5%で最も多く、次いで「6日」が6.9%、「4日」が1.3%となっています。

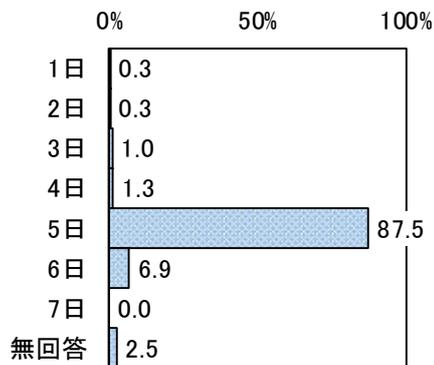
1週あたりの現在の利用日数は、「5日」が87.5%で最も多く、希望の利用日数も「5日」が54.6%と最も多くなっています。

1日あたりの現在の利用時間は、「8時間」が22.0%で最も多く、希望の利用時間も「8時間」が13.2%と最も多くなっています。

・ 1週あたりの利用日数

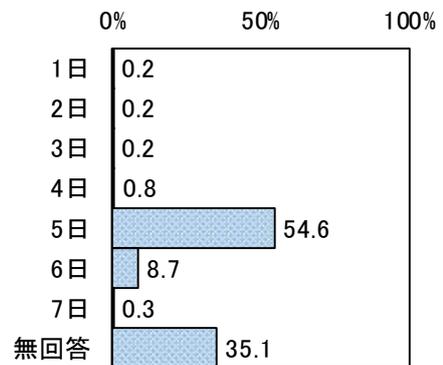
【現在】

(n=1,268)



【希望】

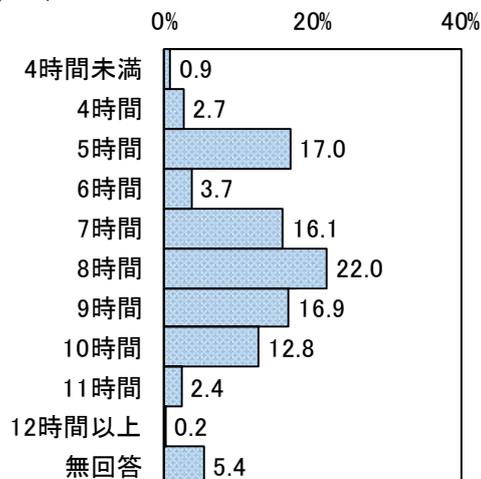
(n=1,268)



・ 1日あたりの利用時間

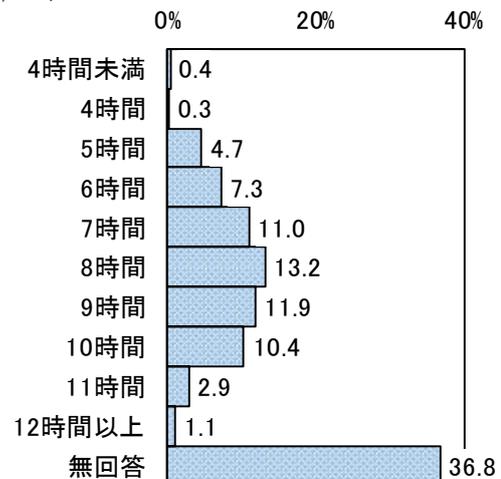
【現在】

(n=1,268)



【希望】

(n=1,268)



第2章 就学前児童保護者

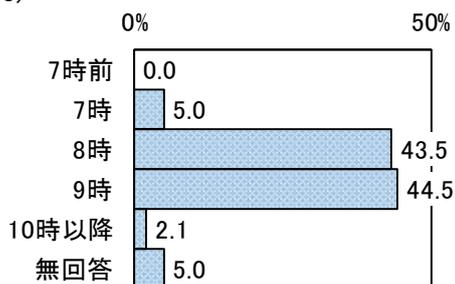
現在の利用開始時刻は、「9時」が44.5%で最も多く、次いで「8時」が43.5%となっていますが、希望の開始時刻は、「8時」が28.9%で最も多く、次いで「9時」が28.5%となっています。

現在の利用終了時刻は、「16時」が29.5%で最も多く、次いで「17時」が21.9%となっています。希望の終了時刻は、「16時」が18.2%で最も多く、次いで「17時」が14.3%となっています。

・利用開始時刻

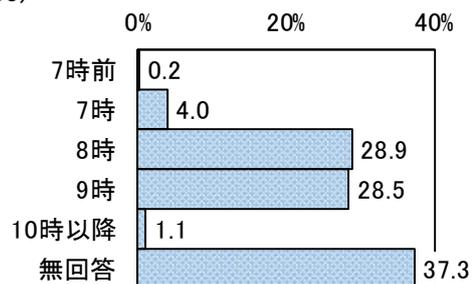
【現在】

(n=1,268)



【希望】

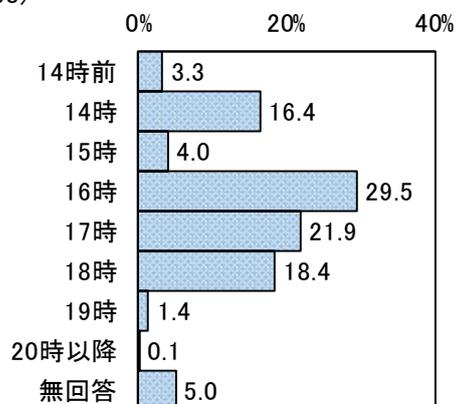
(n=1,268)



・利用終了時刻

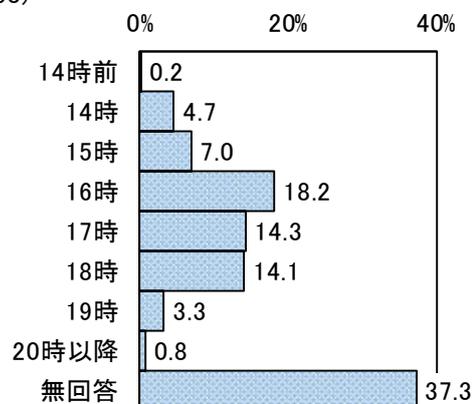
【現在】

(n=1,268)



【希望】

(n=1,268)



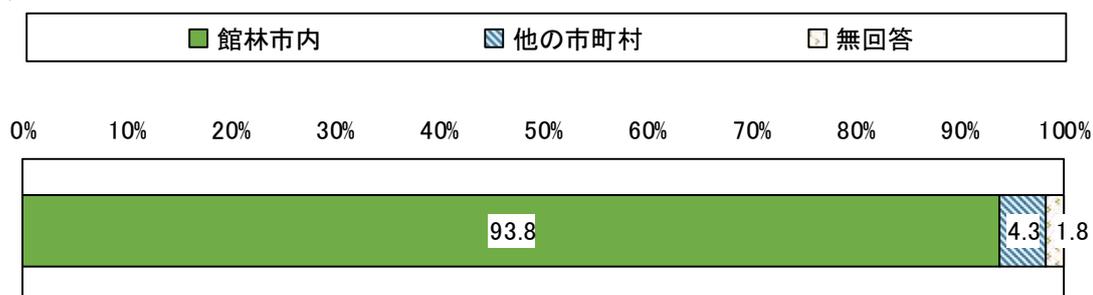
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問13で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問13-3 現在、利用している事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所は、「館林市内」が93.8%、「他の市町村」が4.3%となっています。

(n=1,268)



(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

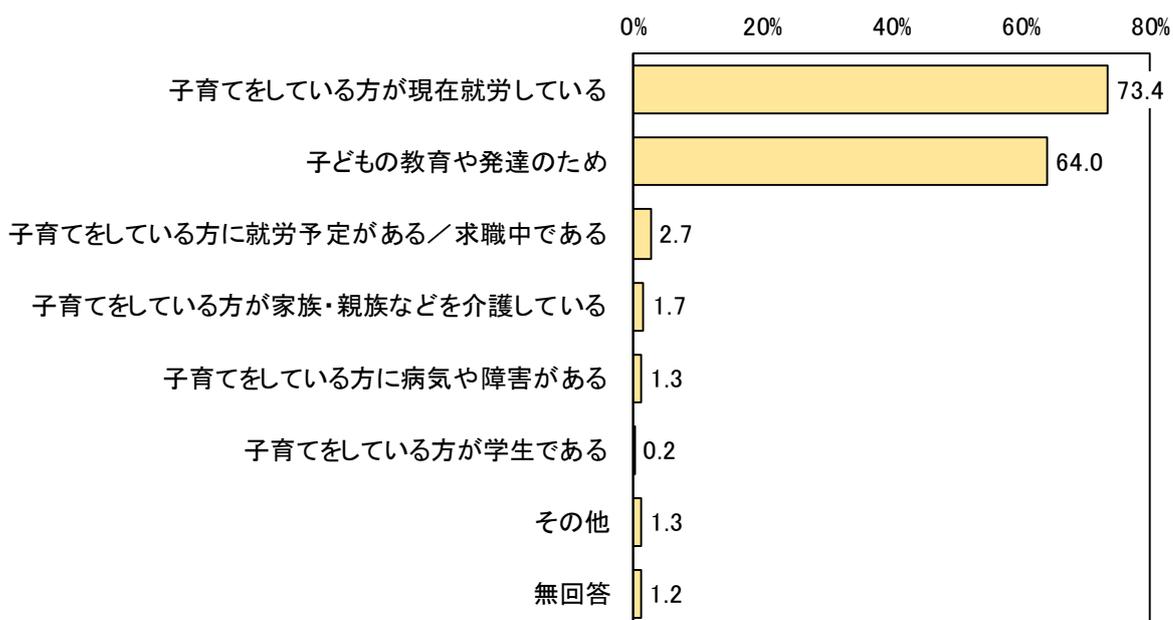
問13で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が73.4%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が64.0%、「子育てをしている方に就労予定がある／求職中である」が2.7%となっています。

(n=1,268)



(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

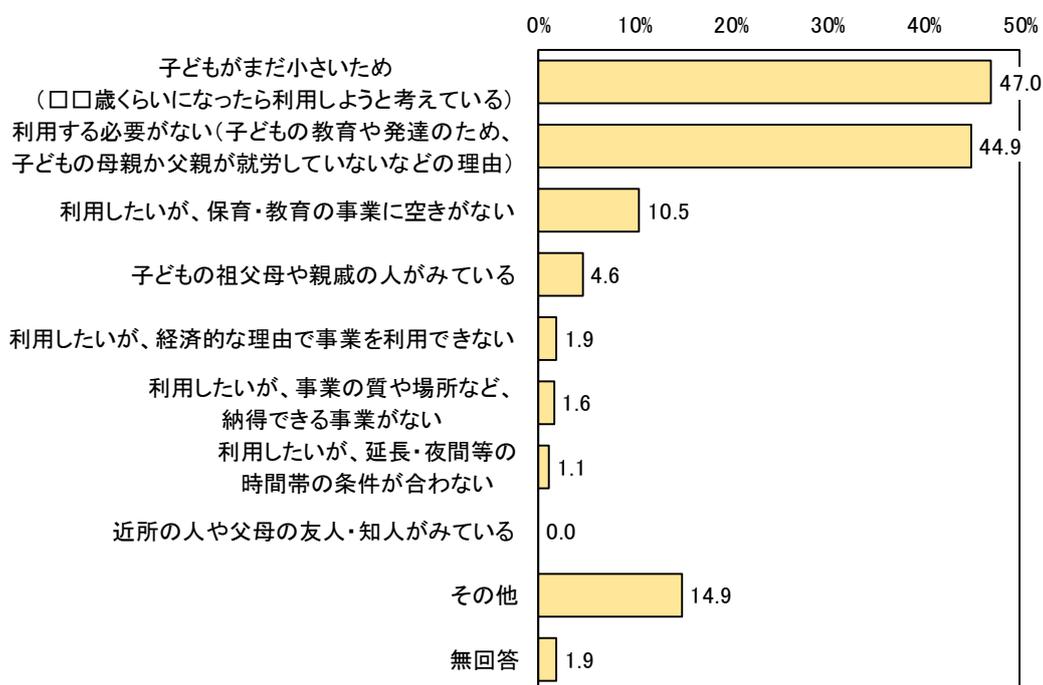
問13で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問13-5 利用していない理由としてもっともあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が47.0%で最も多く、次いで「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由)」が44.9%となっています。

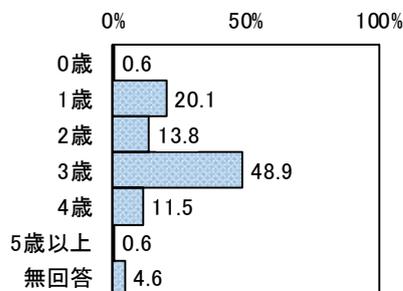
なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が48.9%で最も多く、次いで「1歳」が20.1%、「2歳」が13.8%となっています。

(n=370)



・事業の利用を予定している子どもの年齢

(n=174)

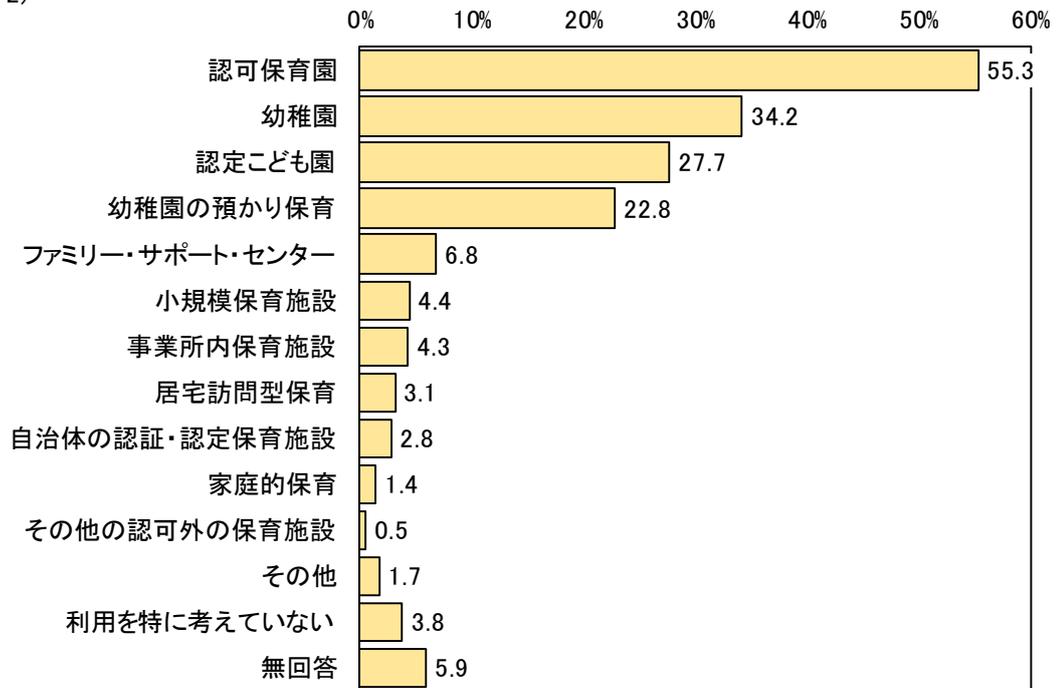


(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業の番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育園」が55.3%で最も多く、次いで「幼稚園」が34.2%、「認定こども園」が27.7%となっています。

(n=1,672)

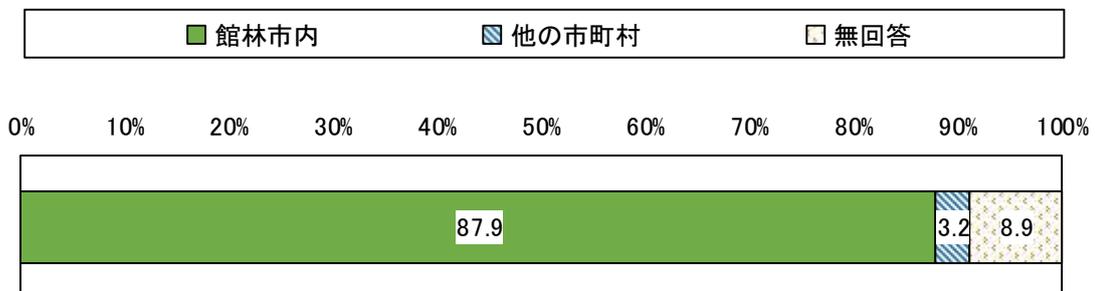


(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問14-1 問14のような事業を利用したい場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「館林市内」が87.9%、「他の市町村」が3.2%となっています。

(n=1,672)



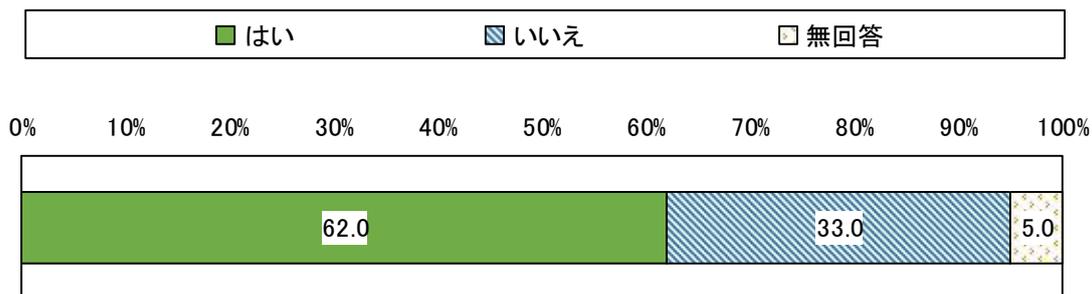
(9) 幼稚園の強い利用希望

問14で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方のみ

問14-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

幼稚園と幼稚園以外の事業の利用を希望する場合の幼稚園の強い利用希望は、「はい」が62.0%、「いいえ」が33.0%となっています。

(n=321)

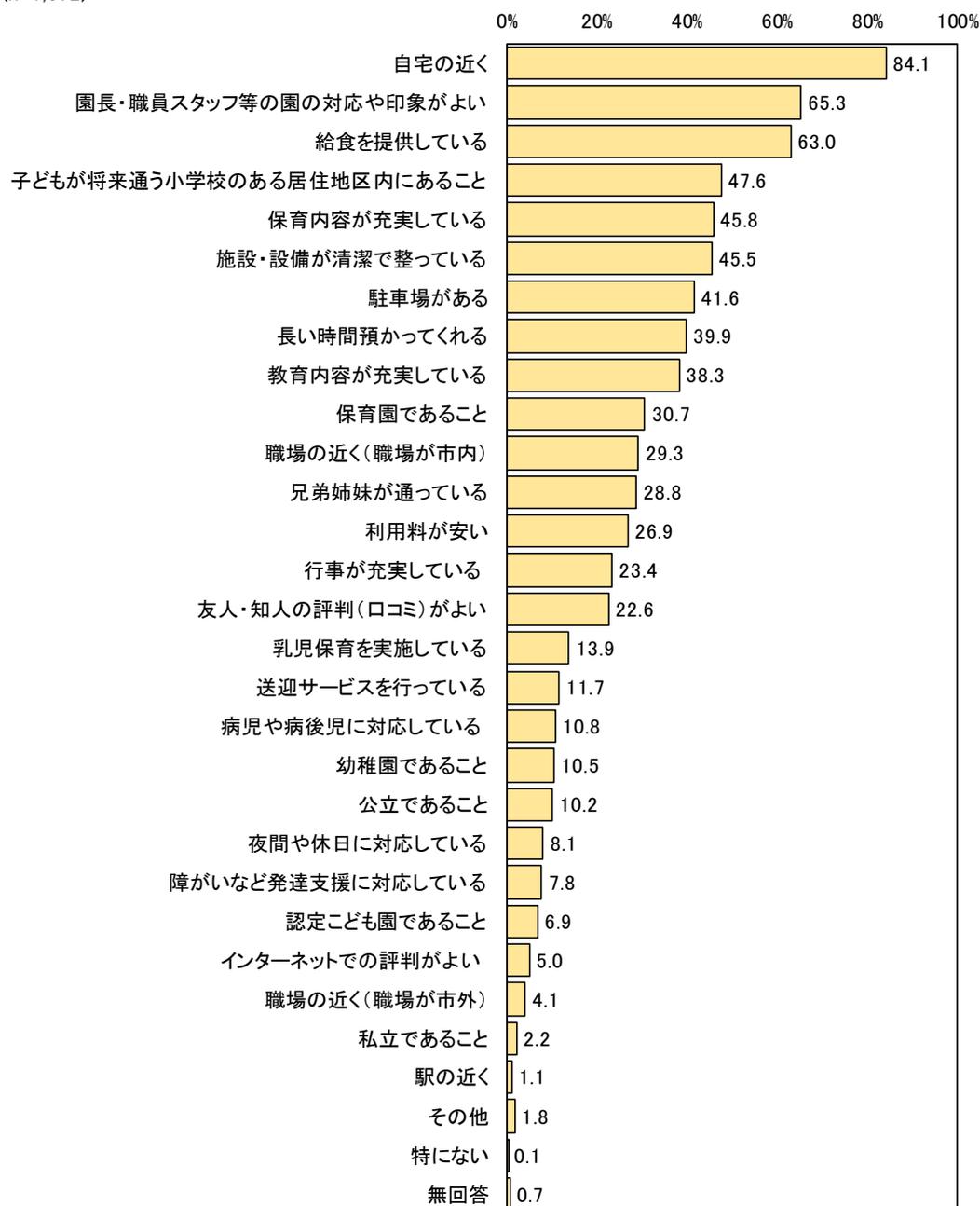


(10) 平日の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点では、「自宅の近く」が84.1%で最も多く、次いで「園長・職員スタッフ等の園の対応や印象がよい」が65.3%、「給食を提供している」が63.0%となっています。

(n=1,672)



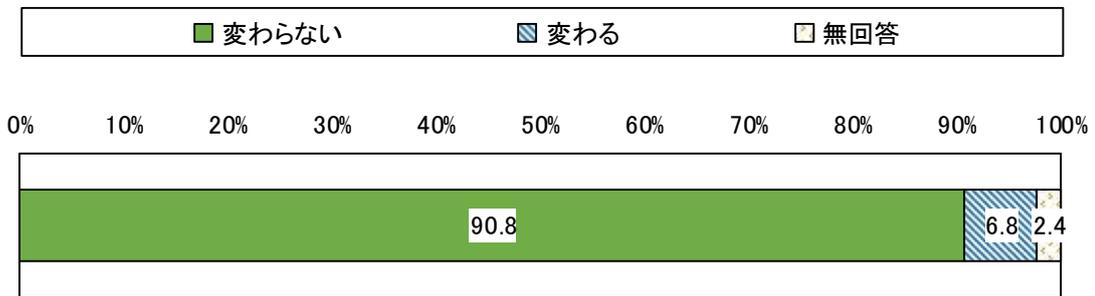
(11) 幼児教育、保育が無償化になった場合の平日の教育・保育の事業の利用意向の変化

問16 2019年の10月から、3歳から5歳までの子どもの保育園・幼稚園・認定こども園の基本的な利用料は無償(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料、0歳から2歳児の利用料は住民税非課税世帯を対象に無償化)になる予定です。幼児教育、保育の無償化になったら、平日の教育・保育の事業の利用意向(問14で回答した内容)は変わりますか。(1つに○)

幼児教育、保育が無償化になった場合の平日の教育・保育の事業の利用意向の変化については、「変わらない」が90.8%、「変わる」が6.8%となっています。

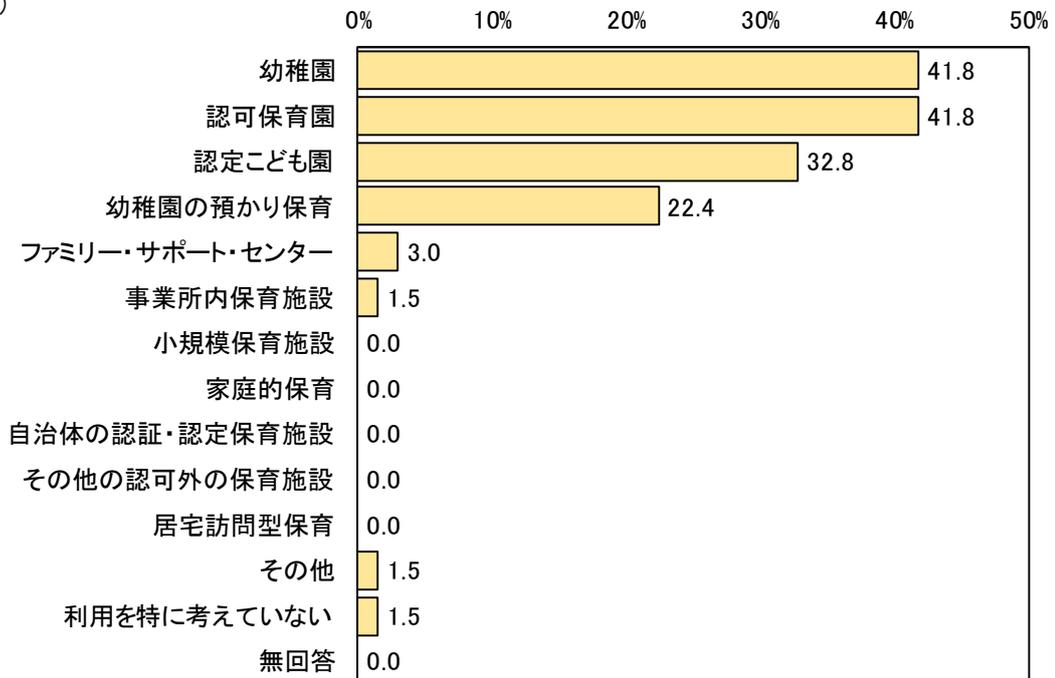
また、変わると回答した114人の利用意向は、「幼稚園」、「認可保育園」がともに41.8%と最も多く、次いで「認定こども園」が32.8%、「幼稚園の預かり保育」が22.4%となっています。

(n=1,672)



無償化になった場合の利用意向の変化

(n=114)



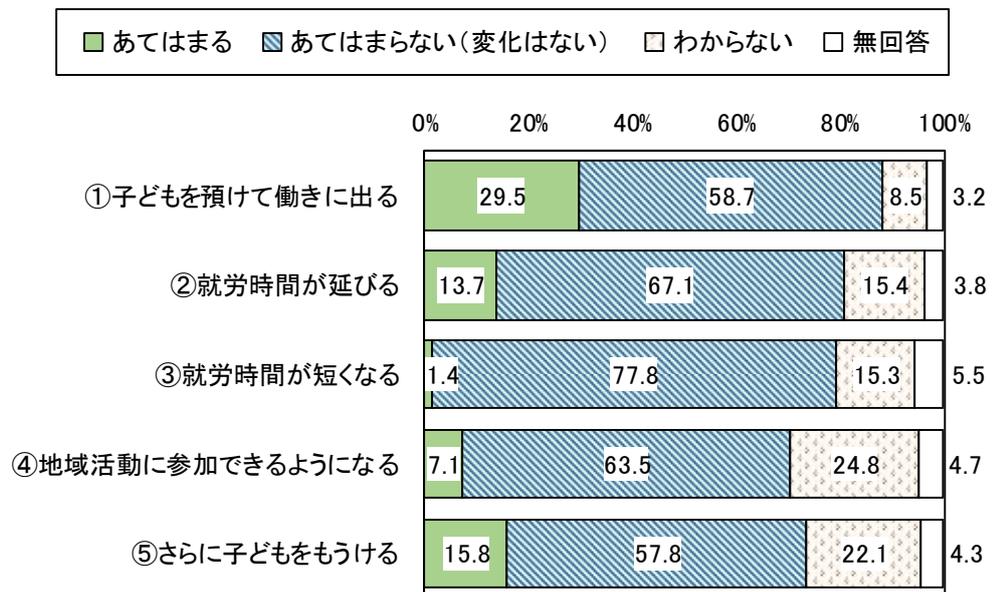
(12) 幼児教育、保育の無償化で、家庭で起こりうると思うこと

問17 幼児教育、保育の無償化(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料無償化)がなされることで、あなたの家庭で起こりうると思うことを回答してください。(それぞれ1つに○)

幼児教育、保育の無償化がなされることで、家庭で起こりうると思うことでは、「あてはまる」と回答した割合は「①子どもを預けて働きに出る」が29.5%で最も多く、次いで「⑤さらに子どもをもうける」が15.8%、「②就労時間が延びる」が13.7%となっています。

一方、「あてはまらない(変化はない)」と回答した割合は「③就労時間が短くなる」が77.8%で最も多く、「②就労時間が延びる」が67.1%、「④地域活動に参加できるようになる」が63.5%となっています。

(n=1,672)



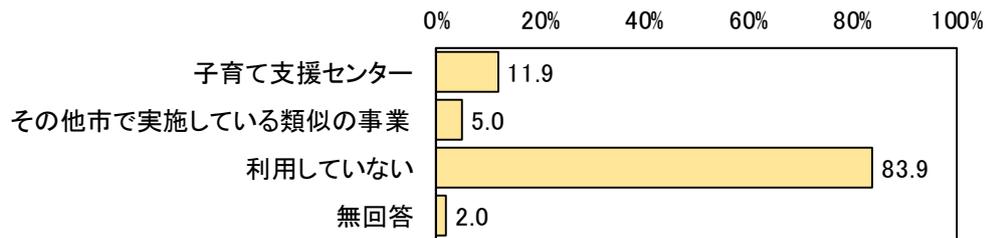
6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援センターの利用状況

問18 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターなど(地域子育て支援拠点事業)を利用していますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「子育て支援センター」が 11.9%、「その他市で実施している類似の事業」が 5.0%となっています。

(n=1,672)

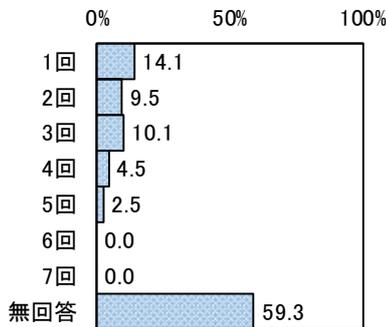


利用している人の利用回数は、次の通りとなっています。

【地域子育て支援拠点事業】

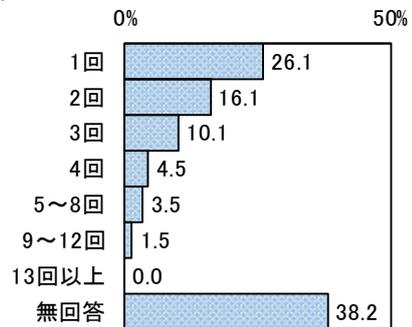
・ 1週あたりの利用回数

(n=199)



・ 1か月あたりの利用回数

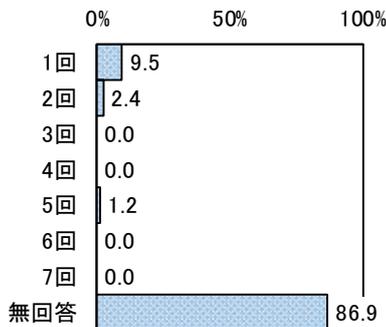
(n=199)



【その他当該自治体で実施している類似の事業】

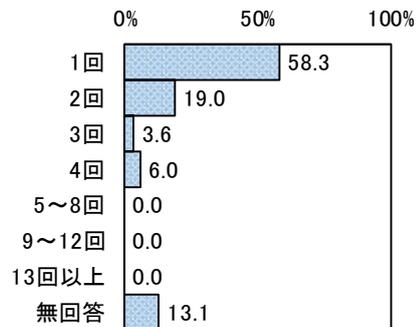
・ 1週あたりの利用回数

(n=84)



・ 1か月あたりの利用回数

(n=84)

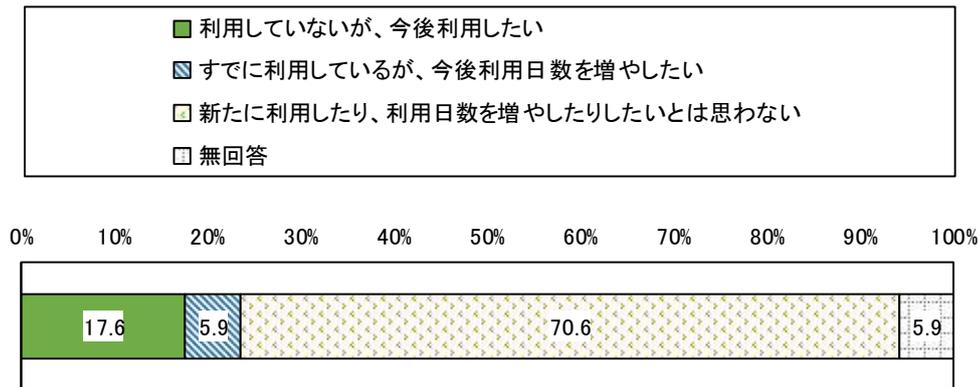


(2) 地域子育て支援センターの利用希望

問19 問18のような子育て支援センターなど(地域子育て支援拠点事業)を今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。(1つに○、数字を記入)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が70.6%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.9%となっています。

(n=1,672)

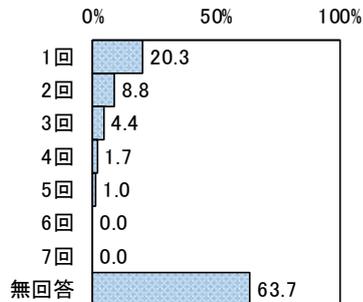


今後の希望する利用回数は、次の通りとなっています。

【利用していないが、今後利用したい】

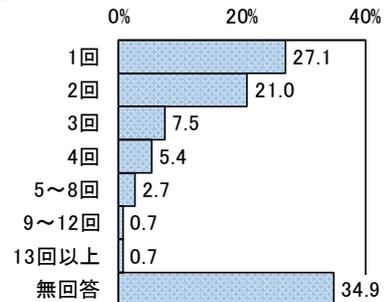
・ 1週あたりの利用回数

(n=295)



・ 1か月あたりの利用回数

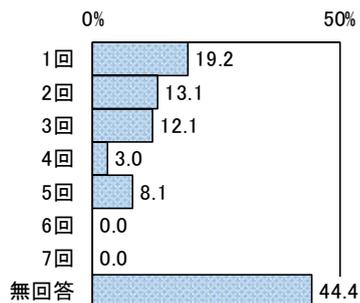
(n=295)



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

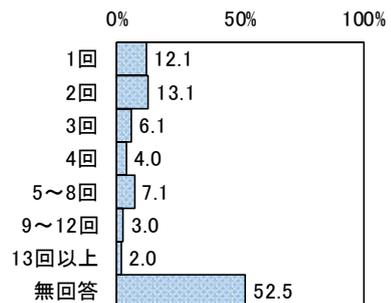
・ 1週あたりの利用回数

(n=99)



・ 1か月あたりの利用回数

(n=99)

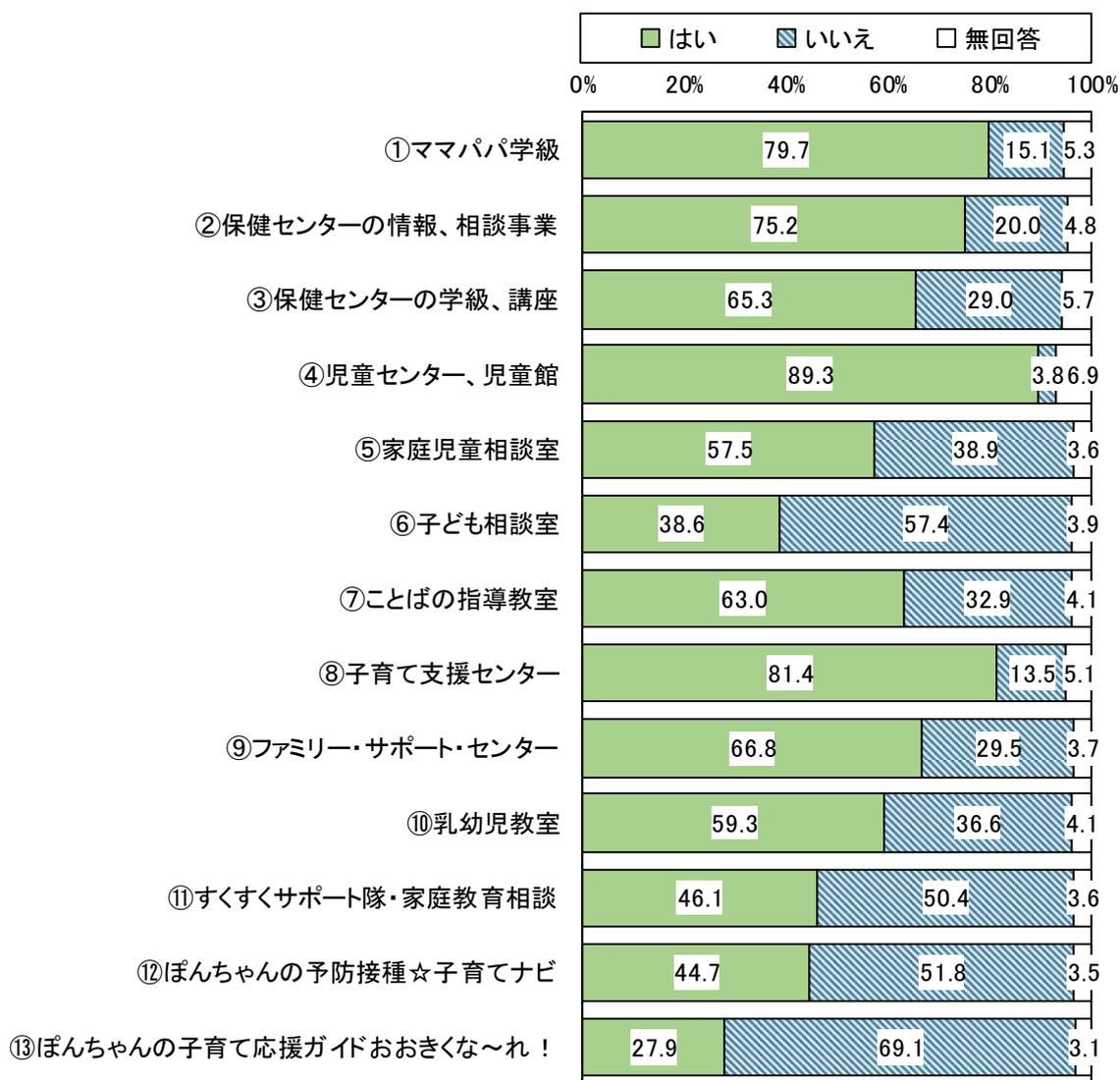


(3) 各種事業の認知度

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の認知度（知っているもの）について、「はい」が多い順に、「④児童センター、児童館」(89.3%)、「⑧子育て支援センター」(81.4%)、「①ママパパ学級」(79.7%)となっています。一方、「いいえ」が多い順では、「⑬ぽんちゃんの子育て応援ガイドおおきくな～れ！」(69.1%)、「⑥子ども相談室」(57.4%)、「⑫ぽんちゃんの子育てナビ」(51.8%)となっています。

(n=1,672)



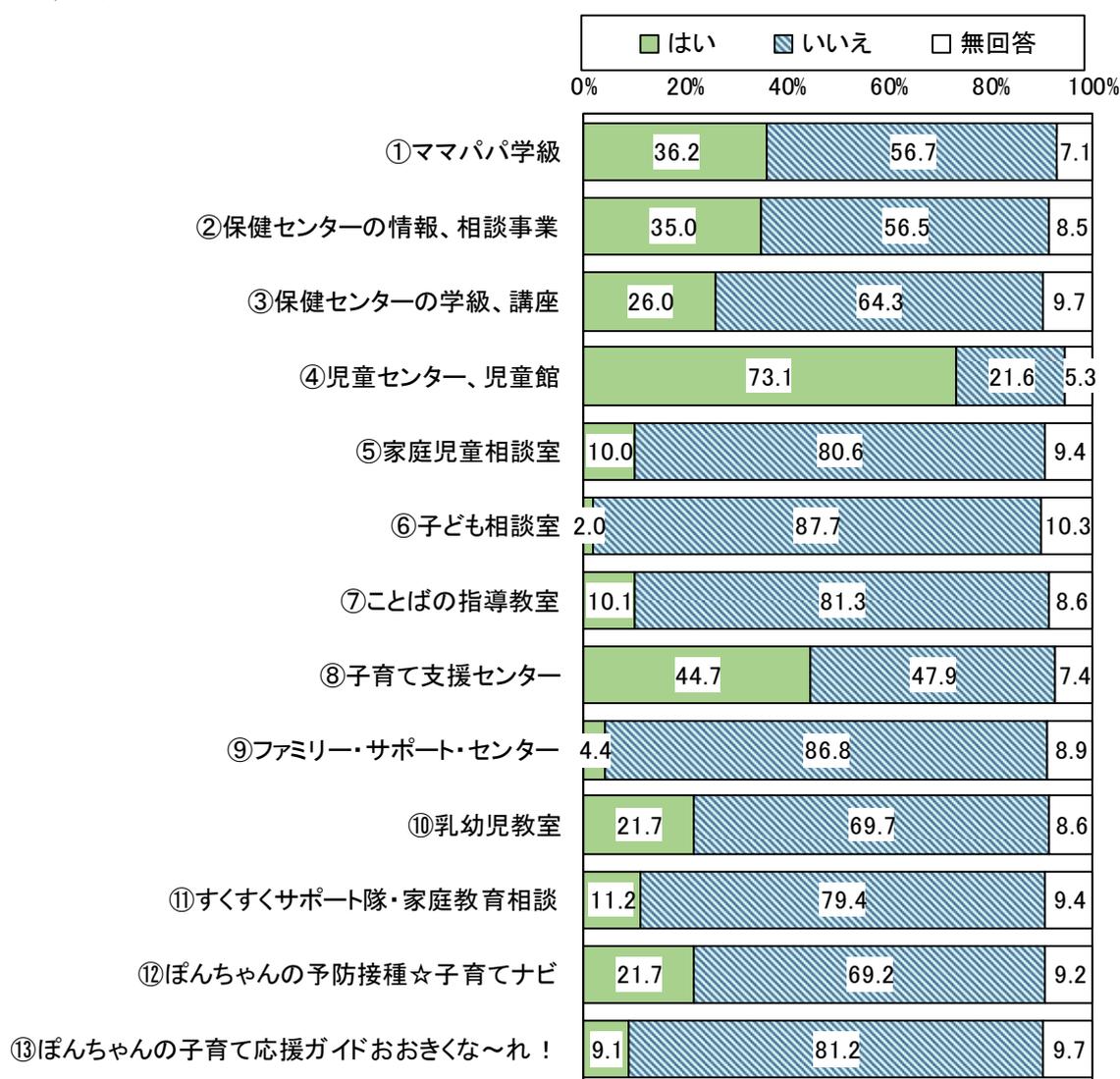
(4) 各種事業の利用状況

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「④児童センター、児童館」（73.1%）、「⑧子育て支援センター」（44.7%）、「①ママパパ学級」（36.2%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、⑥子ども相談室（87.7%）、「⑨ファミリー・サポート・センター」（86.8%）、「⑦ことばの指導教室」（81.3%）となっています。

(n=1,672)



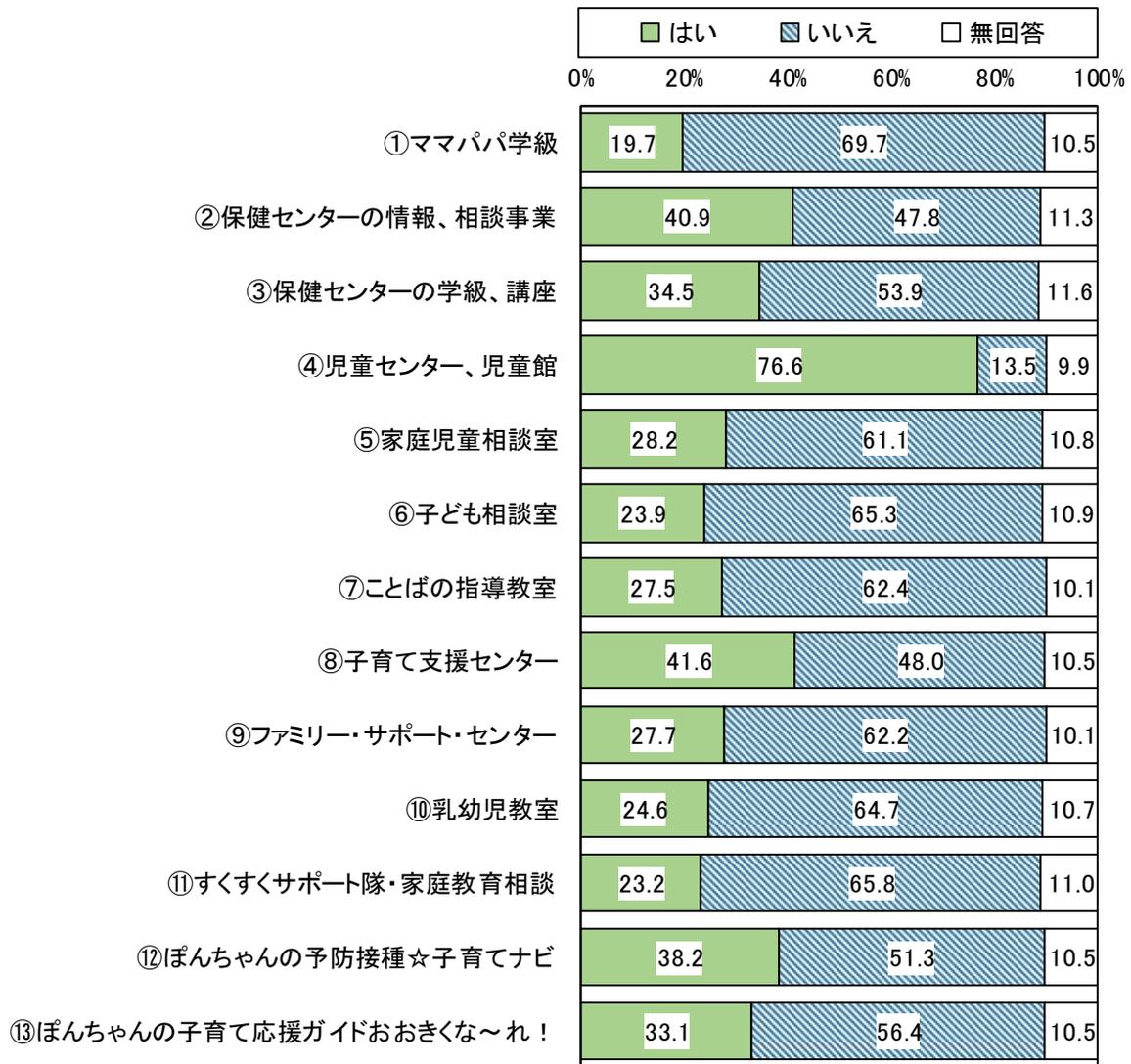
(5) 各種事業の利用意向

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うもの）について、「はい」が多い順に、「④児童センター、児童館」(76.6%)、「⑧子育て支援センター」(41.6%)、「②保健センターの情報、相談事業」(40.9%)となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「①ママパパ学級」(69.7%)、「⑪すくすくサポート隊・家庭教育相談」(65.8%)、「⑥子ども相談室」(65.3%)となっています。

(n=1,672)



7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

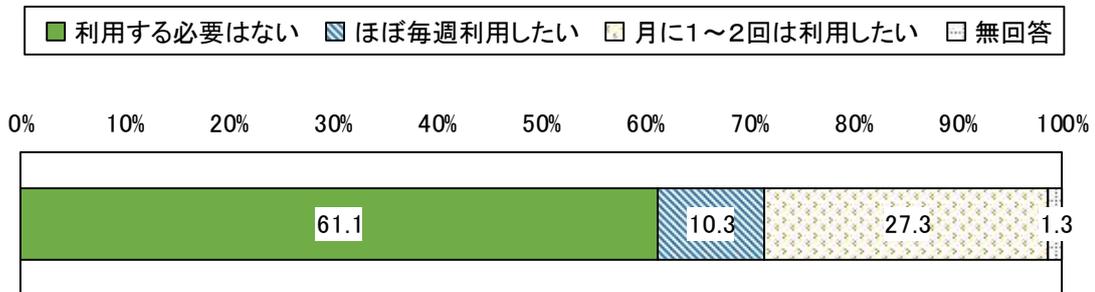
(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、数字を記入）

定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が61.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.3%、「ほぼ毎週利用したい」が10.3%となっています。

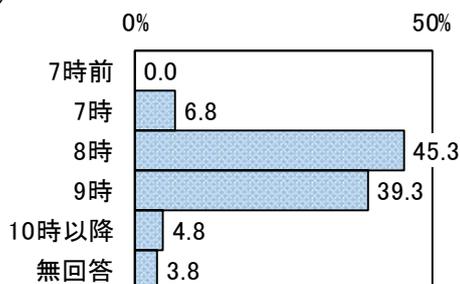
希望する利用開始時刻は、「8時」が45.3%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が25.4%で最も多くなっています。

(n=1,672)



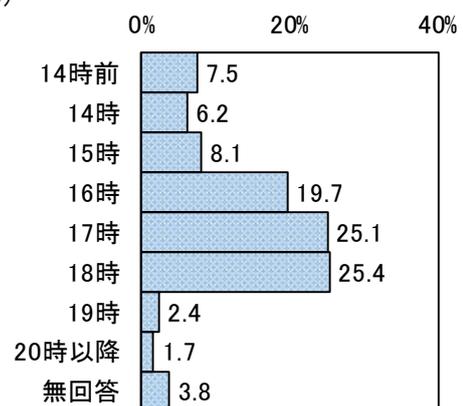
・ 利用開始時刻

(n=629)



・ 利用終了時刻

(n=629)



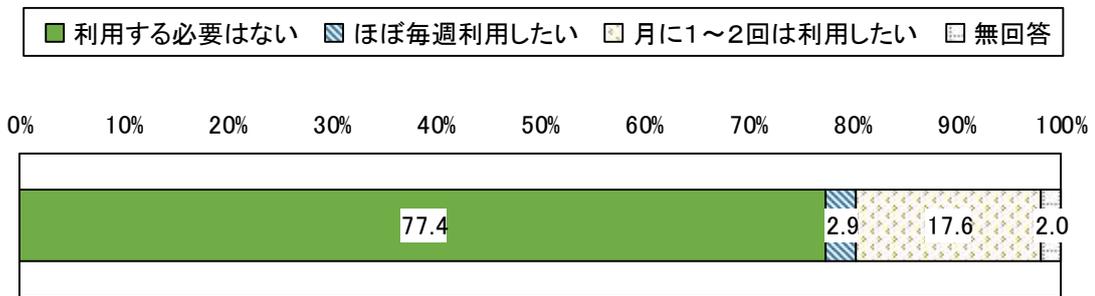
(2) 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用は除きます)はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(それぞれ1つに○、数字を記入)

定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が77.4%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.6%、「ほぼ毎週利用したい」が2.9%となっています。

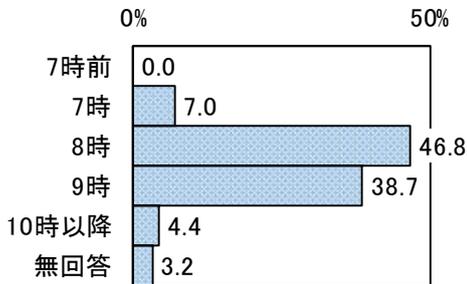
希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「8時」が46.8%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が29.7%で最も多くなっています。

(n=1,672)



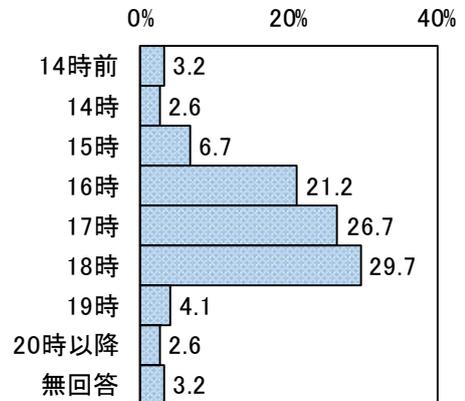
・ 利用開始時刻

(n=344)



・ 利用終了時刻

(n=344)



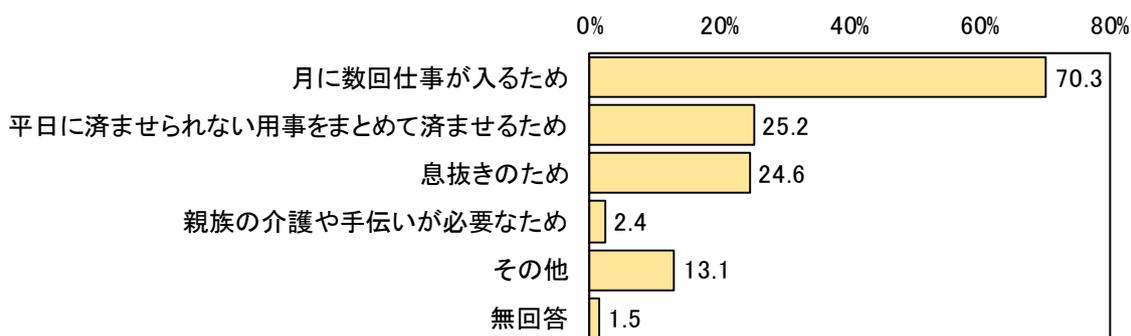
(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

問21の(1)土曜日、(2)日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

問21-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が70.3%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が25.2%、「息抜きのため」が24.6%となっています。

(n=548)



(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

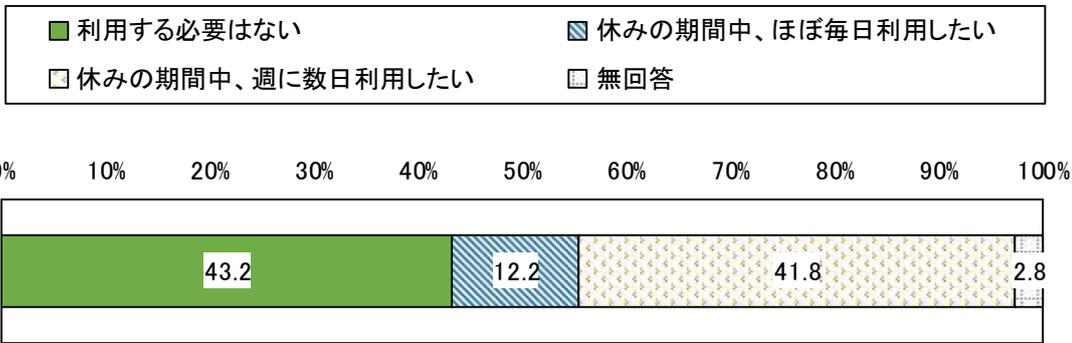
「幼稚園」を利用されている方のみ

問22 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(1つに○、数字を記入)

幼稚園を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「利用する必要はない」が43.2%で最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が41.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が12.2%となっています。

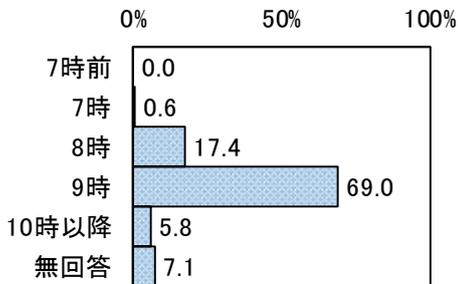
希望する長期休暇期間の利用開始時刻は、「9時」が69.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「14時」が21.9%で最も多くなっています。

(n=287)



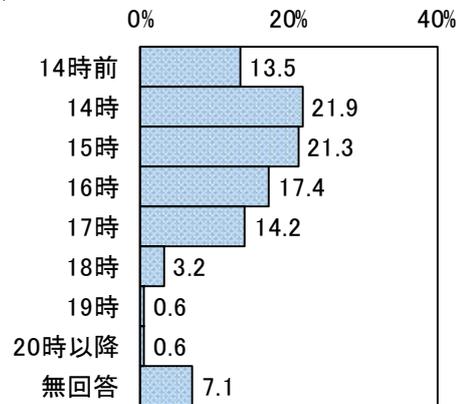
・ 利用開始時刻

(n=155)



・ 利用終了時刻

(n=155)



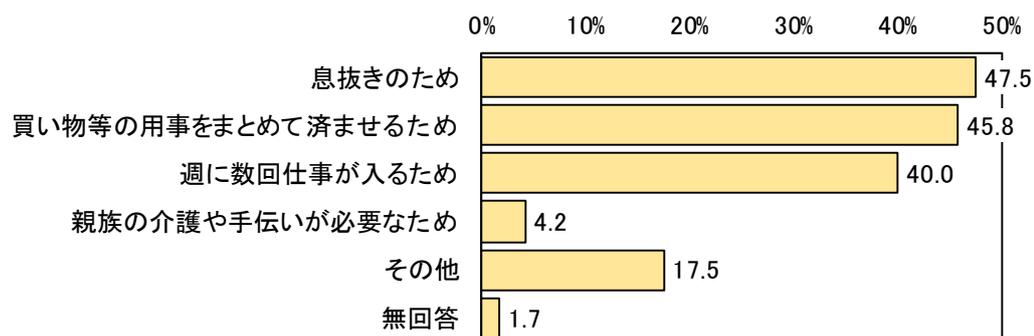
(5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由

問22で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

問22-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

長期休暇期間に、毎日ではなく、たまに利用したい理由は「息抜きのため」が47.5%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が45.8%、「週に数回仕事が入るため」が40.0%となっています。

(n=120)



8 お子様の病気の際の対応について【幼稚園や保育園などの事業を利用者のみ】

(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

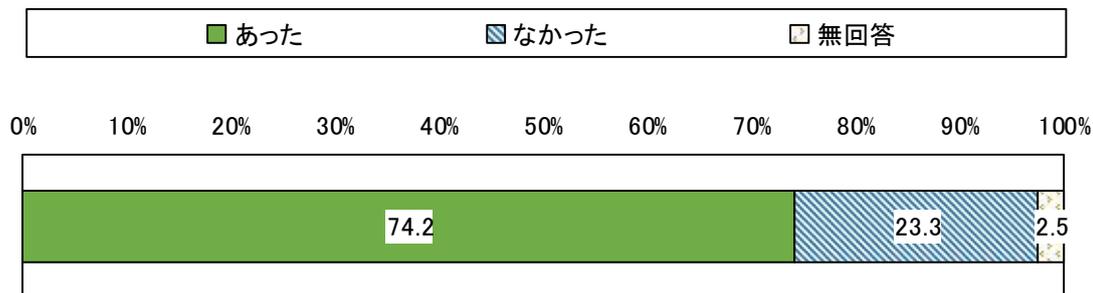
問13で平日の定期的な幼稚園や保育園などの事業を「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

問23 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

(1つに○)

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が74.2%、「なかった」が23.3%となっています。

(n=1,268)



(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

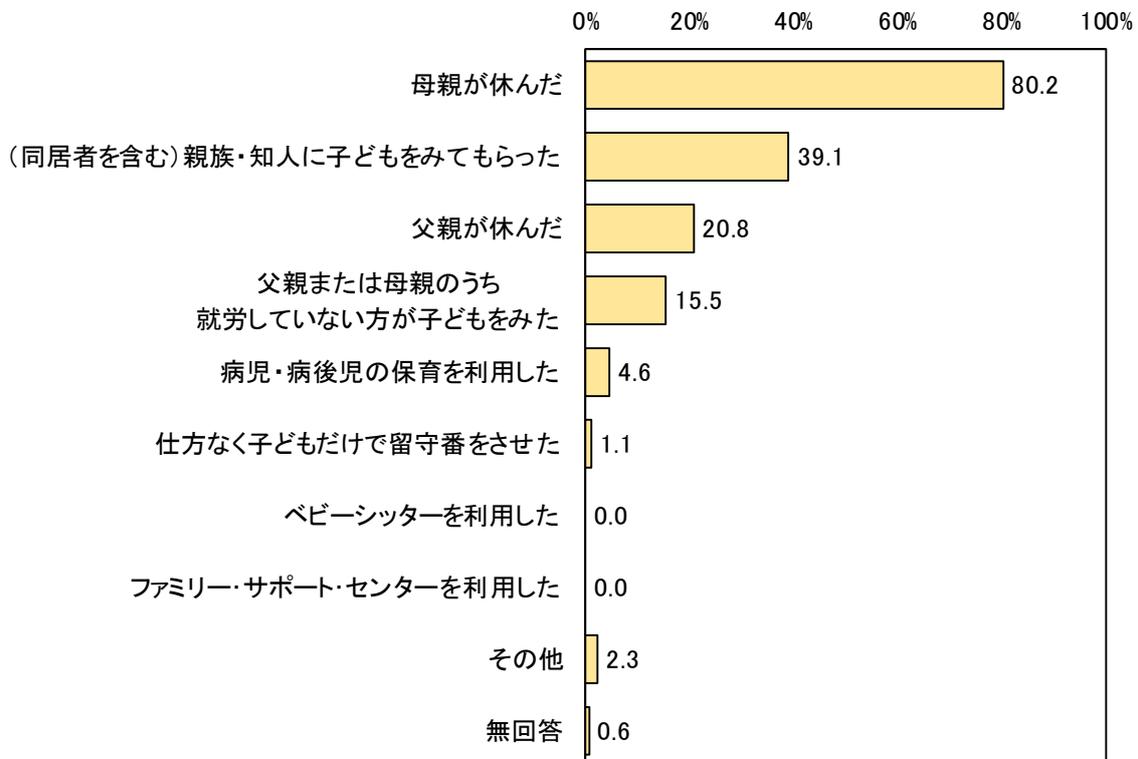
問23で「1. あった」に○をつけた方のみ

問23-1 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が80.2%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が39.1%、「父親が休んだ」が20.8%となっています。

上位4項目の1年間の対処日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=941)



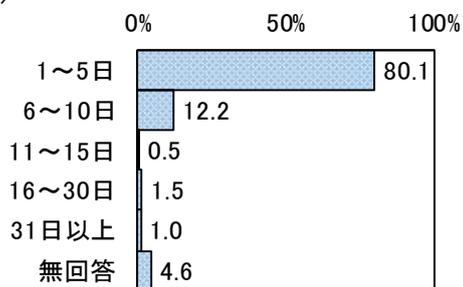
第2章 就学前児童保護者

1年間の対処日数は、次の通りとなっています。

【1年間の対処日数】

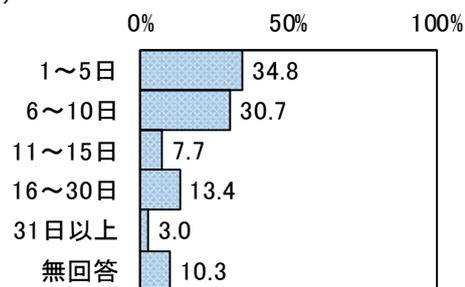
・父親が休んだ

(n=196)



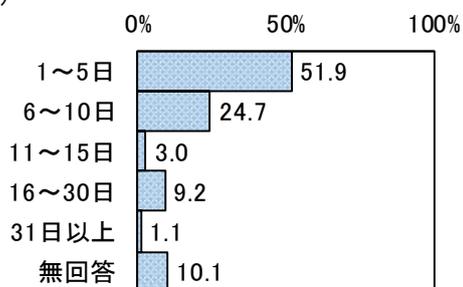
・母親が休んだ

(n=755)



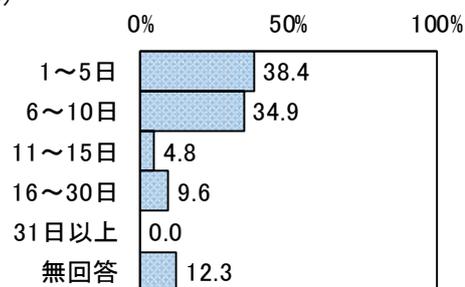
・親族・知人にみてもらった

(n=368)



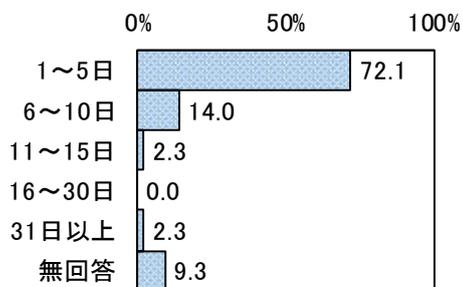
・父母のうち就労していない方が子どもをみた

(n=146)



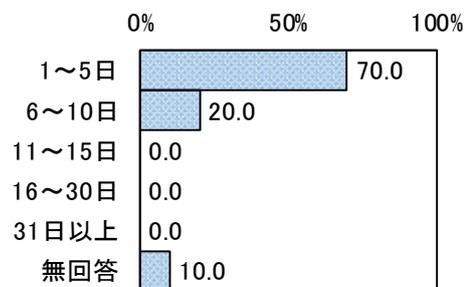
・病児・病後児の保育を利用した

(n=43)



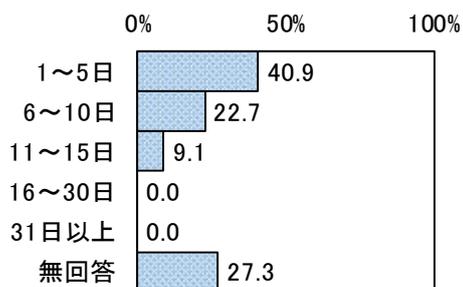
・仕方なく子どもだけで留守番をさせた

(n=10)



・その他の対処

(n=22)



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

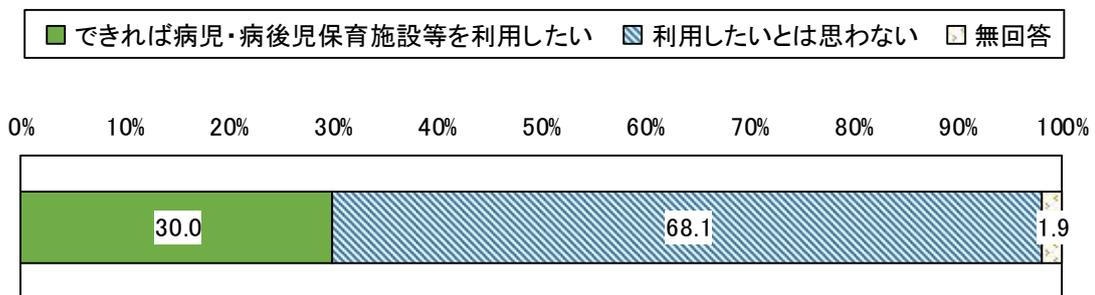
問23-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ

問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が68.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が30.0%となっています。

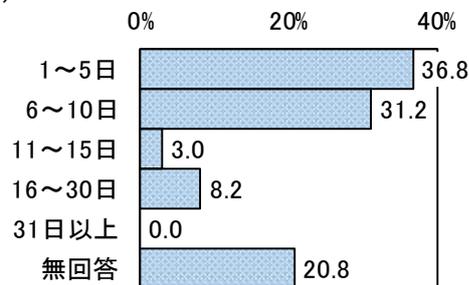
希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は「1～5日」が36.8%で最も多くなっています。

(n=770)



・ 1年間の利用日数

(n=231)

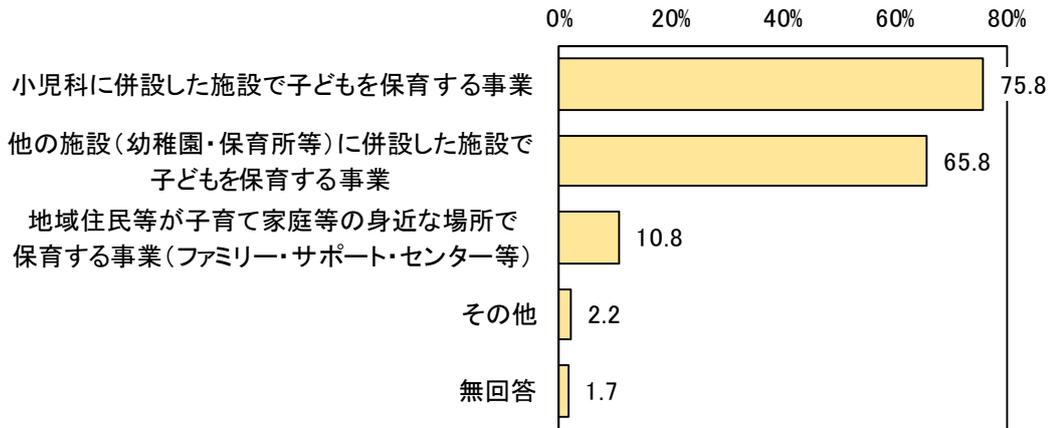


(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
 問23-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 (あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が75.8%で最も多く、次いで「他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)」が10.8%となっています。

(n=231)

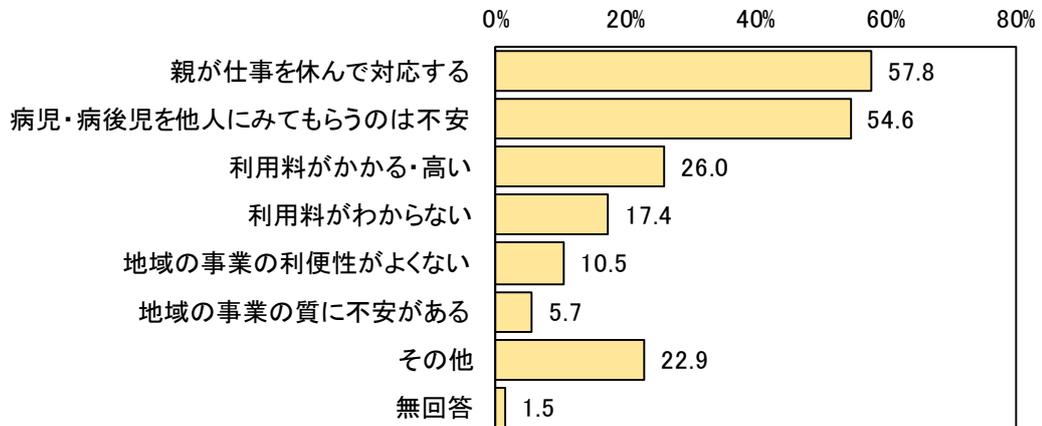


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問23-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
 問23-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が57.8%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が54.6%、「利用料がかかる・高い」が26.0%となっています。

(n=524)



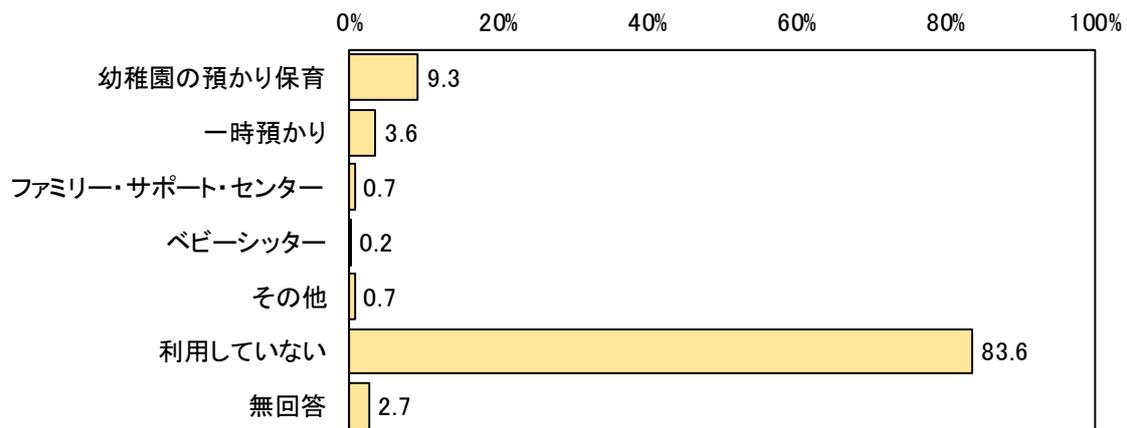
9 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 利用している不特定の教育・保育の事業

問24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

利用している不特定の教育・保育の事業は、「利用していない」が83.6%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が9.3%、「一時預かり」が3.6%となっています。

(n=1,672)



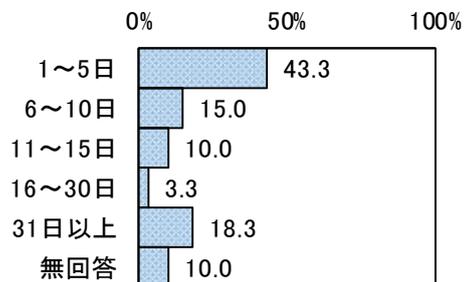
第2章 就学前児童保護者

1年間の利用日数は、次の通りとなっています。

【1年間の利用日数】

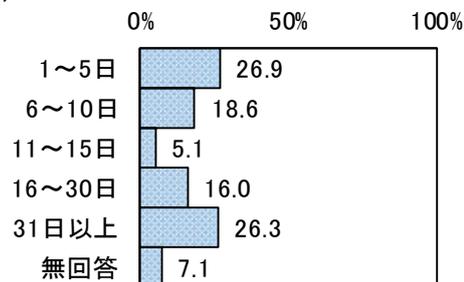
・一時預かり保育

(n=60)



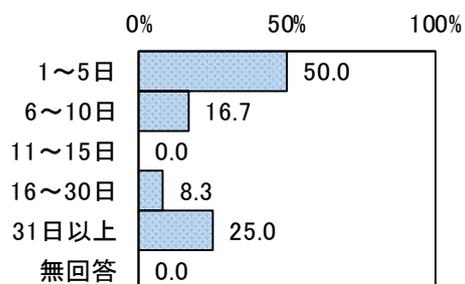
・幼稚園の預かり保育

(n=156)



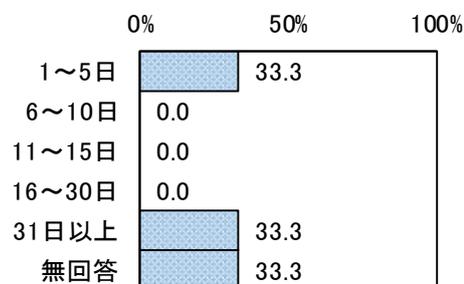
・ファミリー・サポート・センター

(n=12)



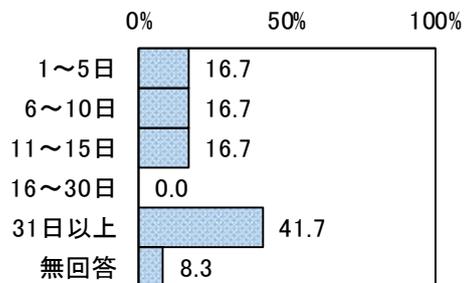
・ベビーシッター

(n=3)



・その他の事業

(n=12)



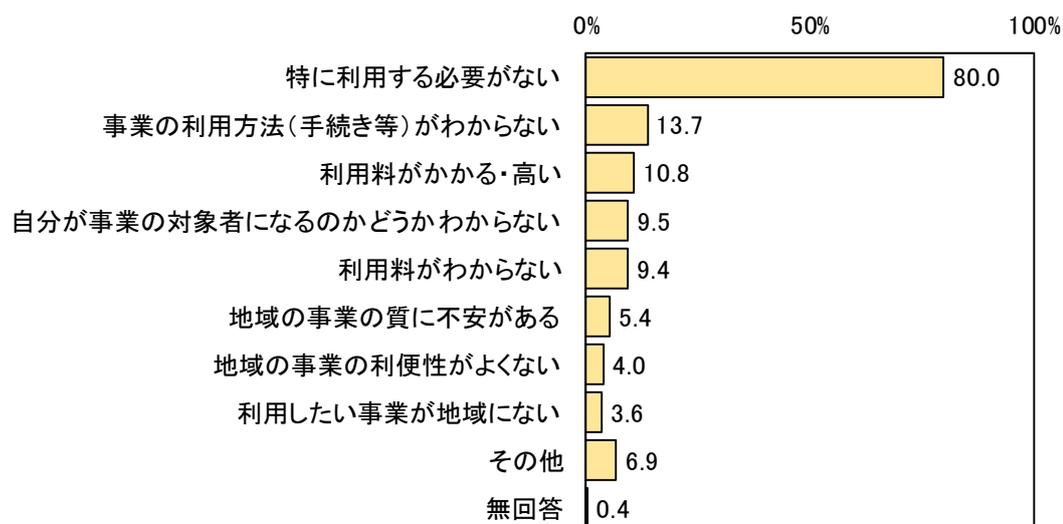
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問24で「6. 利用していない」に○をつけた方のみ

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が80.0%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が13.7%、「利用料がかかる・高い」が10.8%となっています。

(n=1,398)



(3) 私用等の目的での事業の利用希望

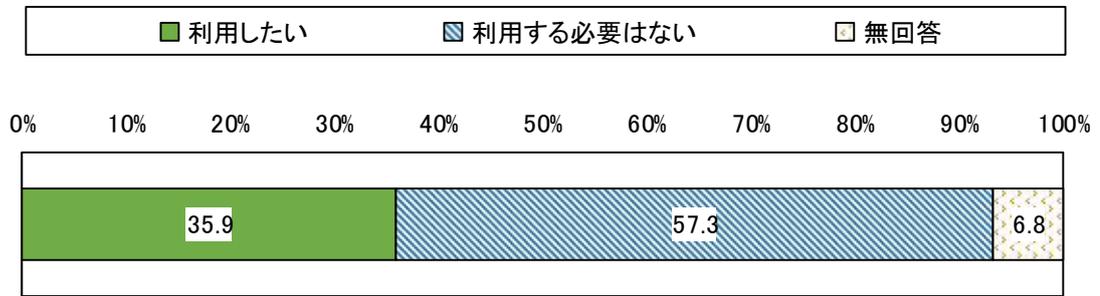
問25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

私用等の目的での事業の利用希望は、「利用する必要はない」が57.3%、「利用したい」が35.9%となっています。

事業の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が64.1%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が63.1%、「不特定の就労」が31.8%となっています。

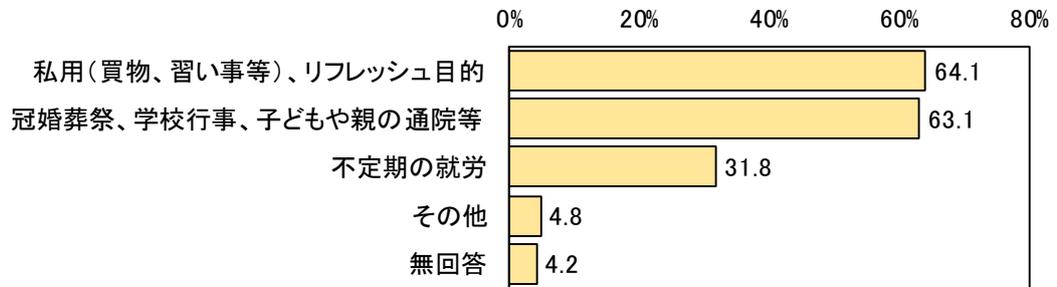
利用したい場合の1年間の合計日数は、「16～30日」が16.1%で最も多くなっています。

(n=1,672)



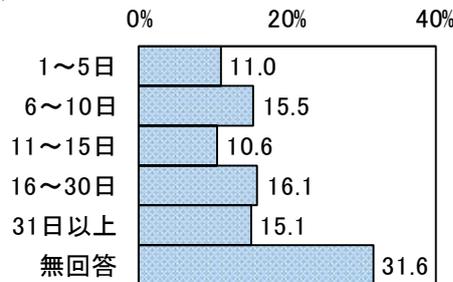
・事業の利用目的

(n=601)



・利用したい場合の1年間の合計日数

(n=601)

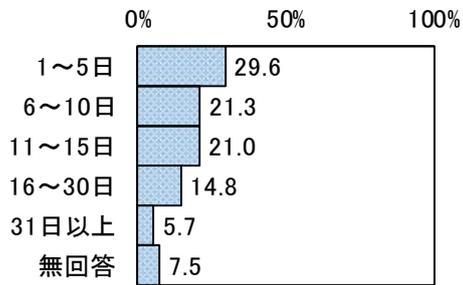


1年間に必要な日数は、次の通りとなっています。

【1年間に必要な日数】

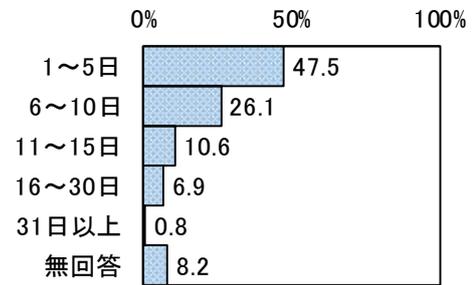
・私用、リフレッシュ目的

(n=385)



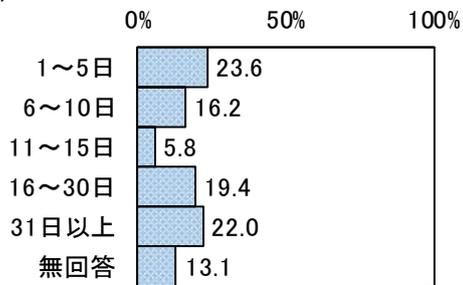
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=379)



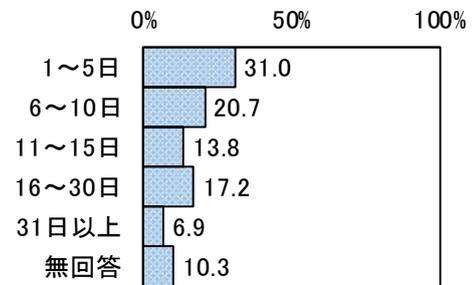
・不定期の就労

(n=191)



・その他の目的

(n=29)



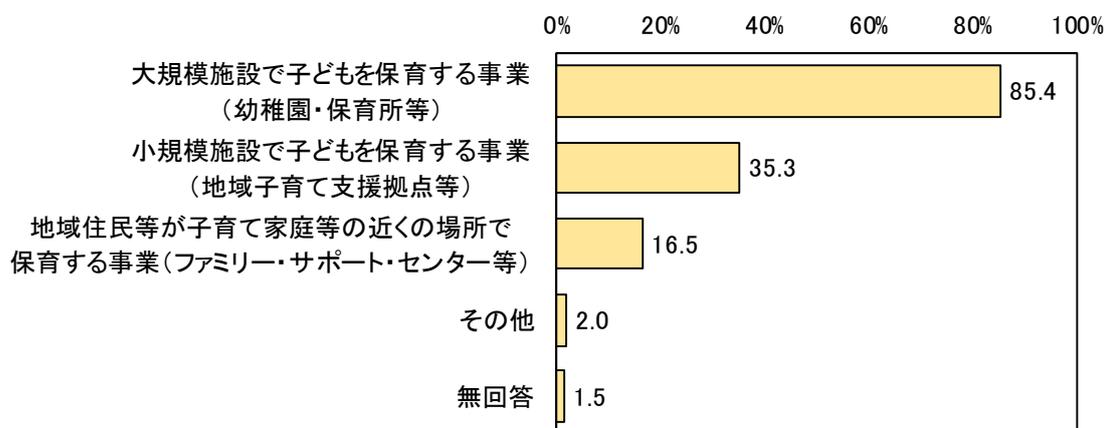
(4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態

問25で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問25-1 問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。
(あてはまるものすべてに○)

私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」が85.4%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）」が35.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が16.5%となっています。

(n=601)



(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

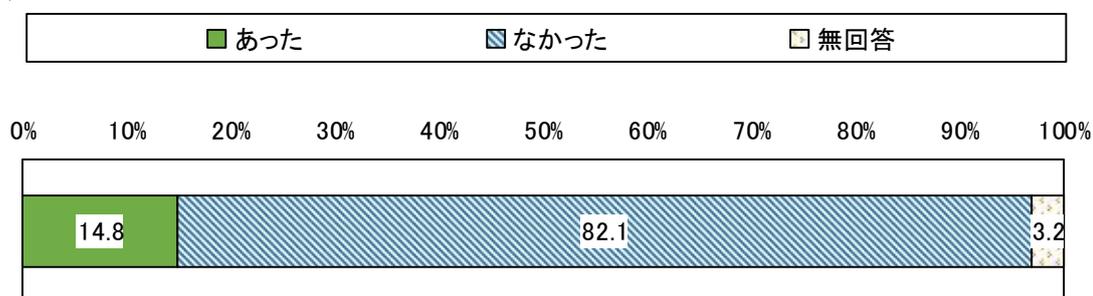
問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「なかった」が82.1%、「あった」が14.8%となっています。

対処方法は、「親族・知人にみてもらった(同居者を含む)」が84.6%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が18.2%となっています。

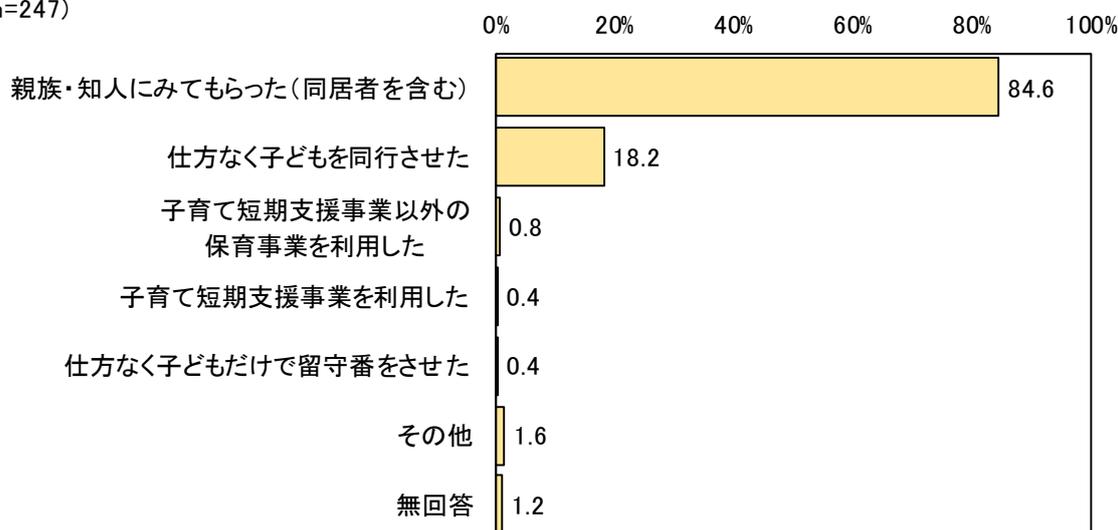
1年間の対処泊数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」、「仕方なく子どもを同行させた」では、ともに「1～5泊」が最も多くなっています。

(n=1,672)



・ 対処方法

(n=247)



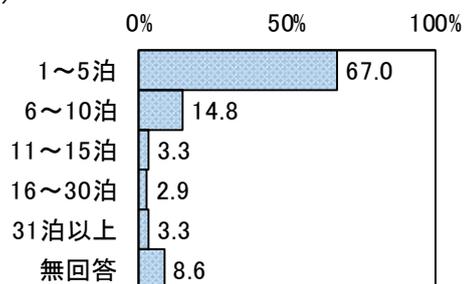
第2章 就学前児童保護者

1年間の対処泊数は、次の通りとなっています。

【1年間の対処泊数】

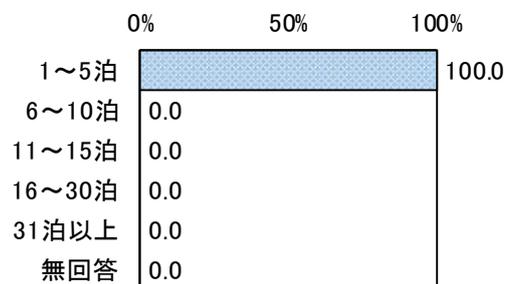
・ 親族・知人にみてもらった

(n=209)



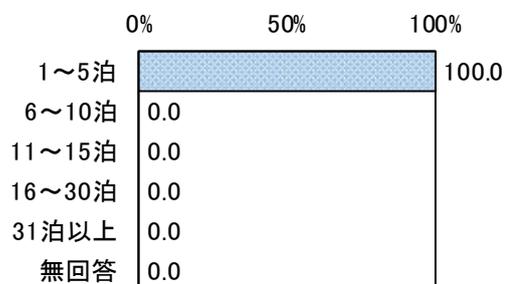
・ 子育て短期支援事業を利用した

(n=1)



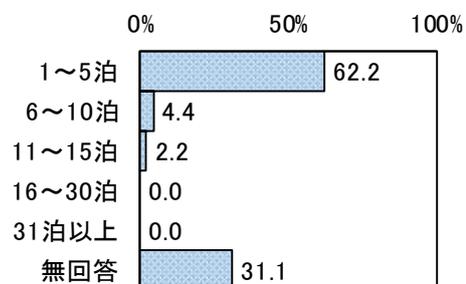
・ 子育て短期支援事業以外の保育事業を利用した

(n=2)



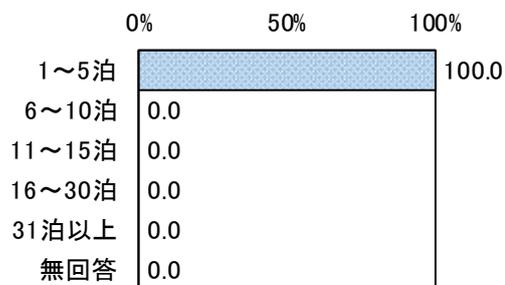
・ 子どもを同行させた

(n=45)



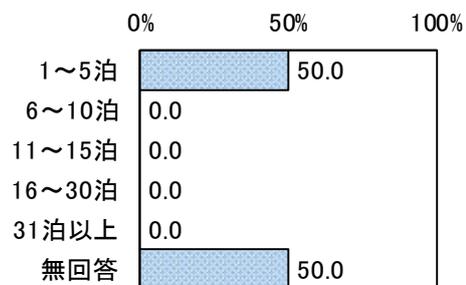
・ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

(n=1)



・ その他の対処

(n=4)



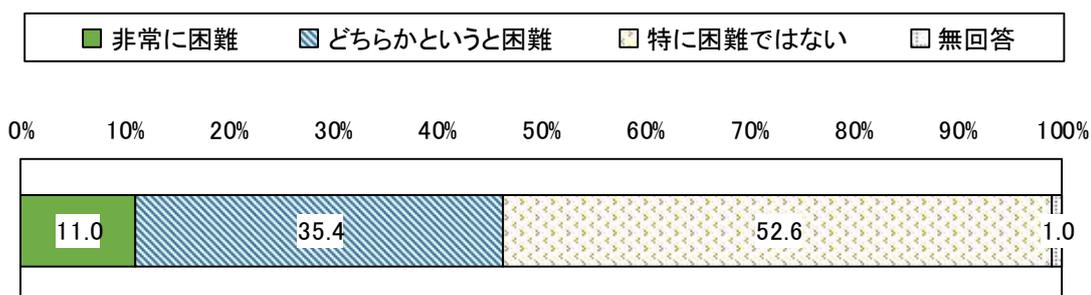
(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

問26で「ア. 親族・知人にみてもらった(同居者を含む)」に○をつけた方のみ

問26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」が52.6%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」が35.4%、「非常に困難」が11.0%となっています。

(n=209)



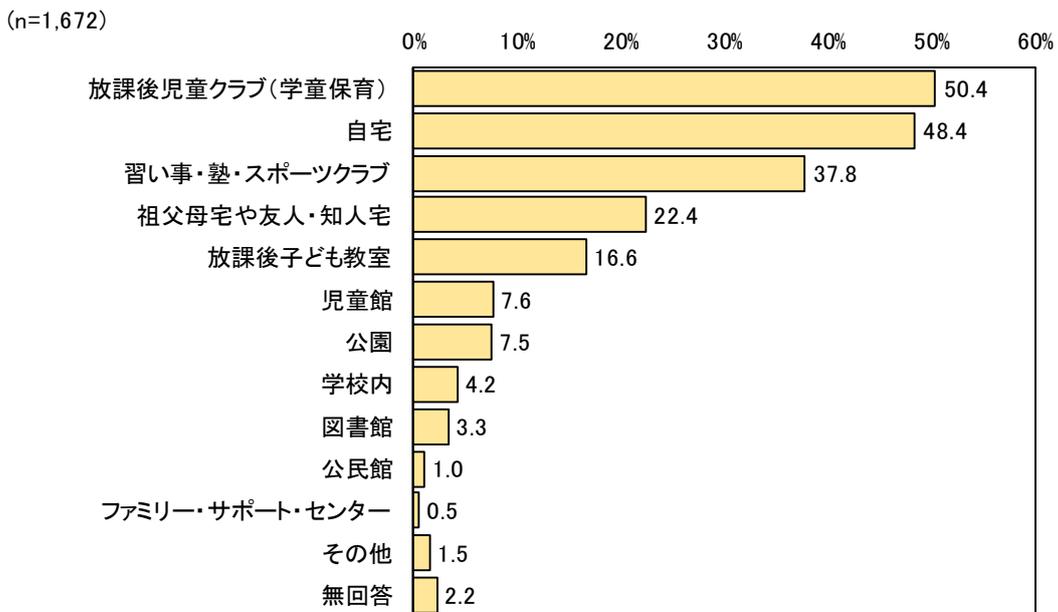
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

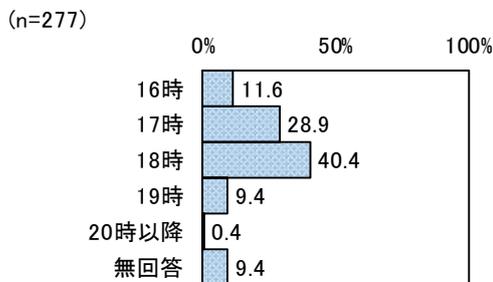
問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も[]内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。また、合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ(学童保育)」が50.4%で最も多く、次いで「自宅」が48.4%、「習い事・塾・スポーツクラブ」が37.8%となっています。

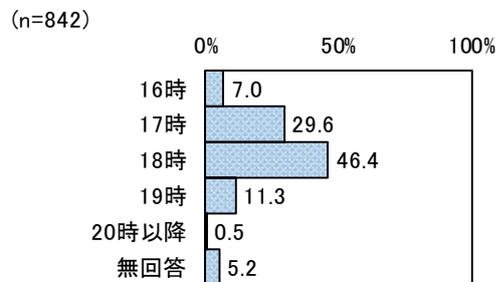
希望する利用終了時刻は、「放課後子ども教室」では「18時」が40.4%、「放課後児童クラブ」では「18時」が46.4%と最も多くなっています。



・放課後子ども教室の利用終了時刻



・放課後児童クラブの利用終了時刻

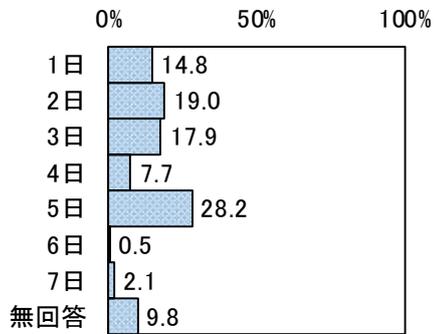


1週あたりの利用日数は、次の通りとなっています。

【1週あたりの利用日数】

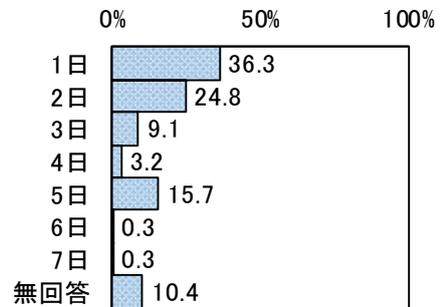
・ 自宅

(n=809)



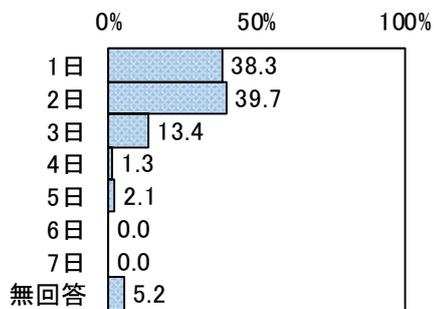
・ 祖父母宅や友人・知人宅

(n=375)



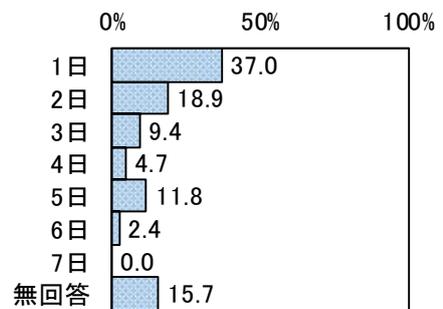
・ 習い事・塾・スポーツクラブ

(n=632)



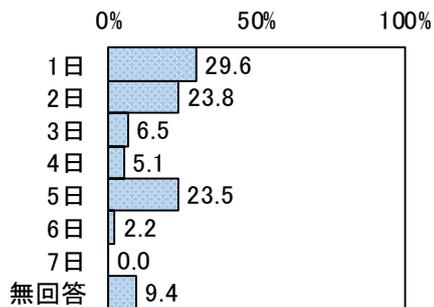
・ 児童館

(n=127)



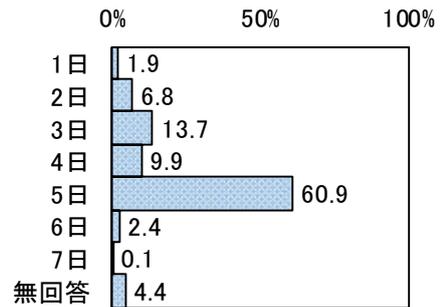
・ 放課後子ども教室

(n=277)



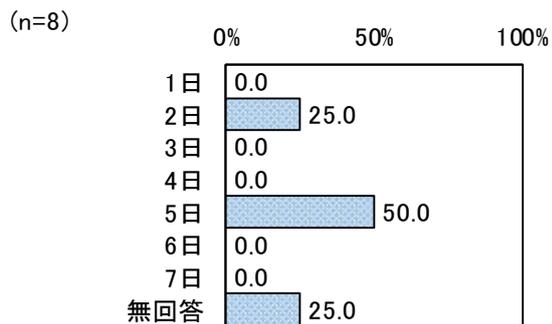
・ 放課後児童クラブ (学童保育)

(n=842)

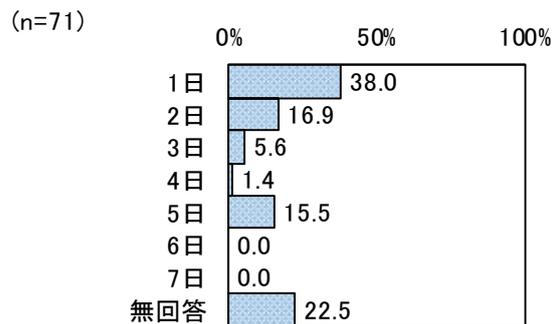


第2章 就学前児童保護者

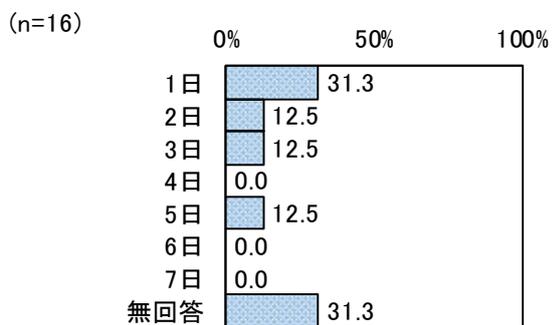
・ファミリー・サポート・センター



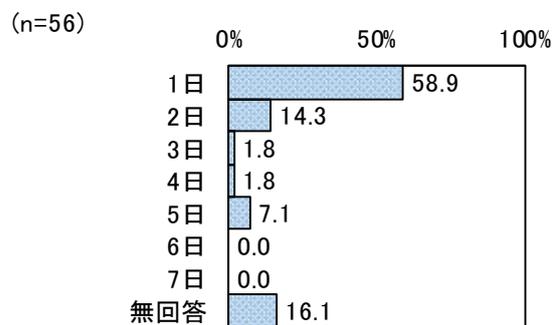
・学校内



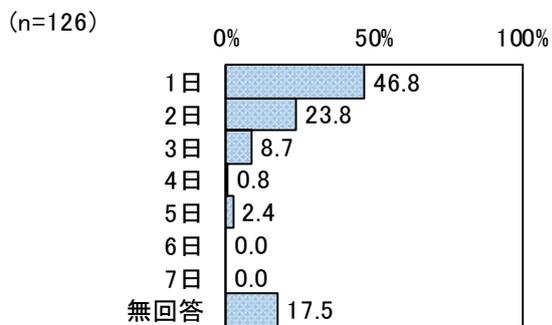
・公民館



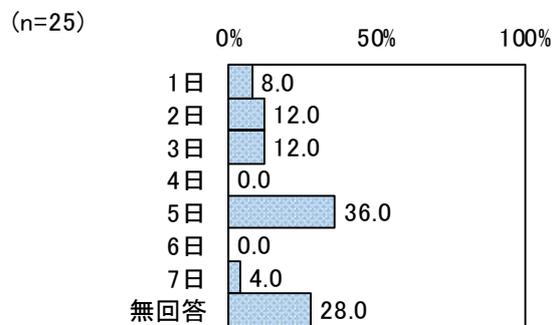
・図書館



・公園



・その他

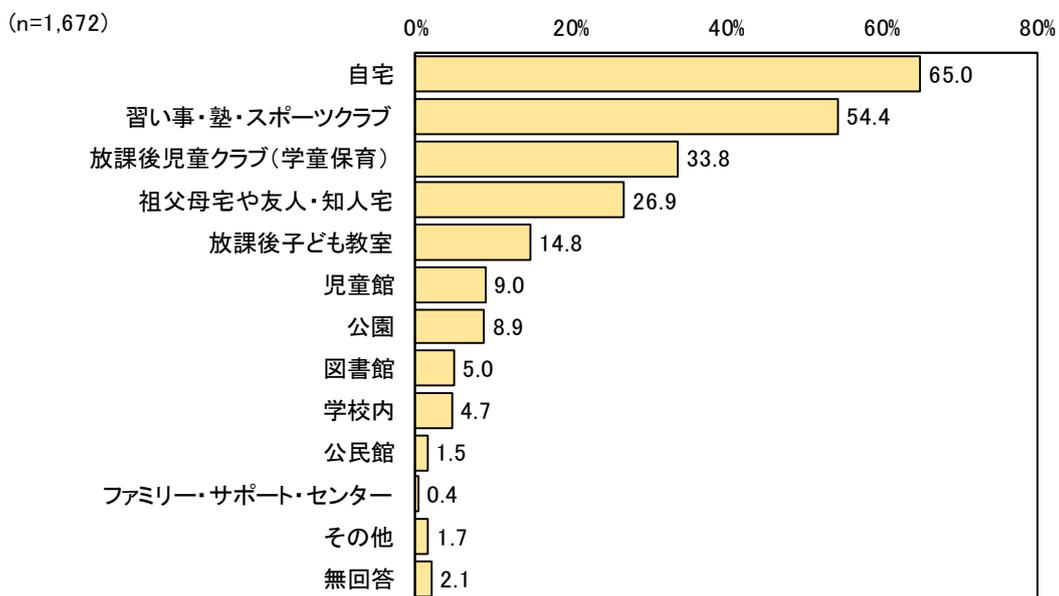


(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

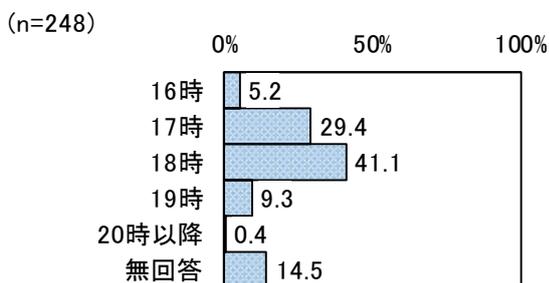
問28 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになる方も、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が65.0%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が54.4%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が33.8%となっています。

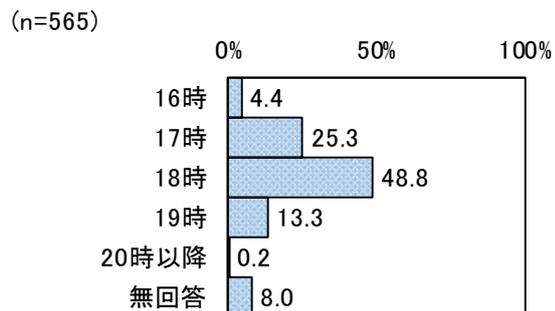
希望する利用終了時刻は、「放課後子ども教室」では「18時」が41.1%、「放課後児童クラブ」では「18時」が48.8%と最も多くなっています。



・ 放課後子ども教室の利用終了時刻



・ 放課後児童クラブの利用終了時刻

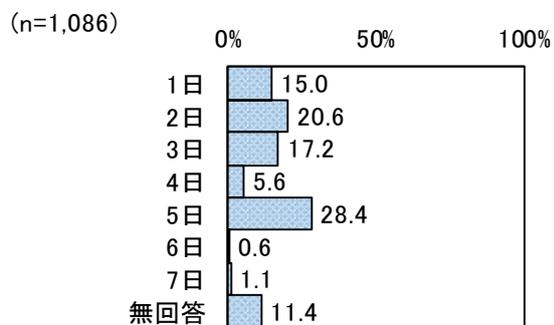


第2章 就学前児童保護者

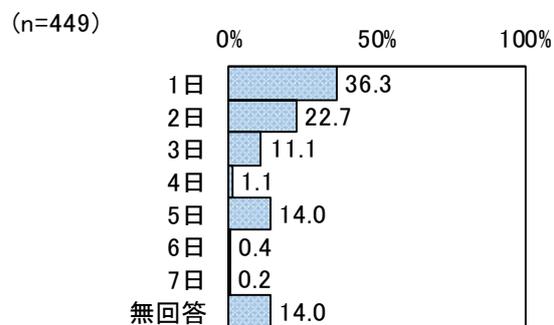
1週あたりの利用日数は、次の通りとなっています。

【1週あたりの利用日数】

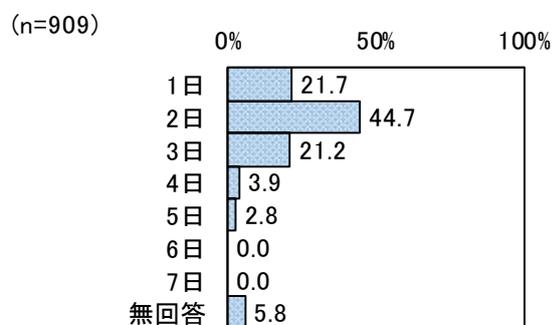
・ 自宅



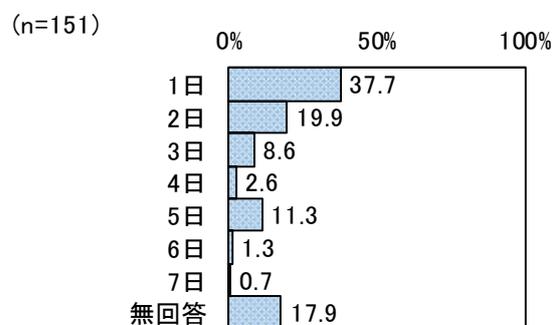
・ 祖父母宅や友人・知人宅



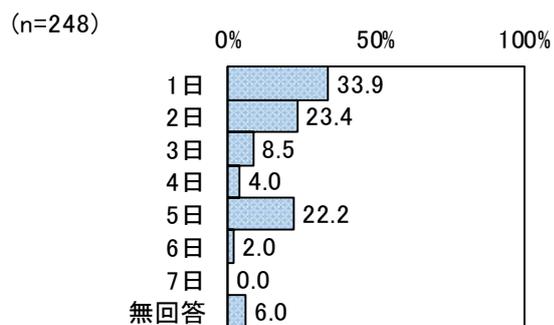
・ 習い事・塾・スポーツクラブ



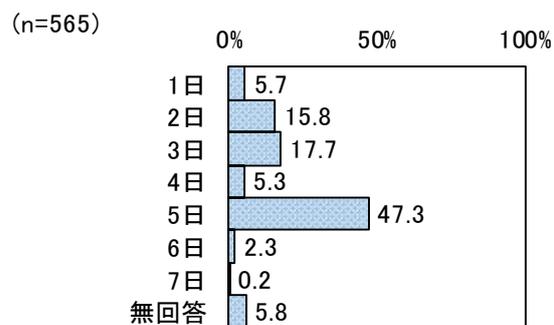
・ 児童館



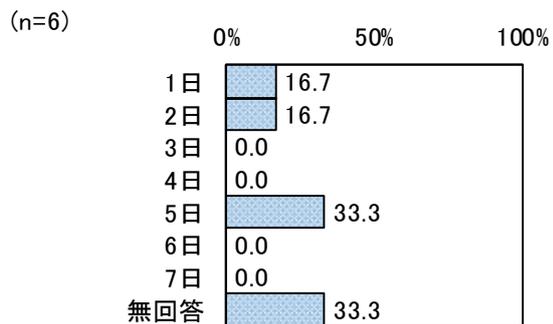
・ 放課後子ども教室



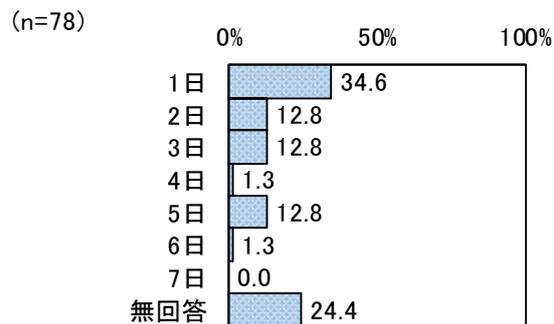
・ 放課後児童クラブ（学童保育）



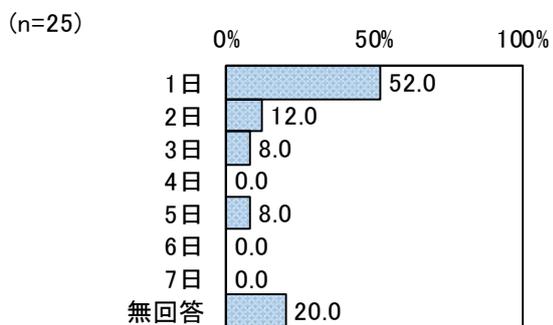
・ファミリー・サポート・センター



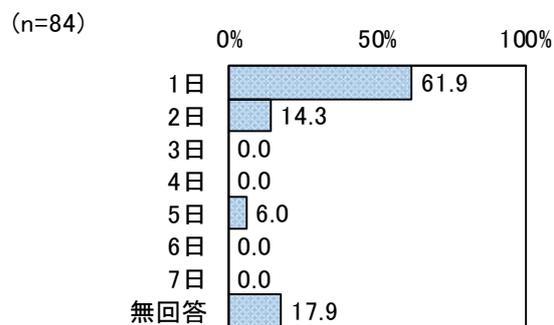
・学校内



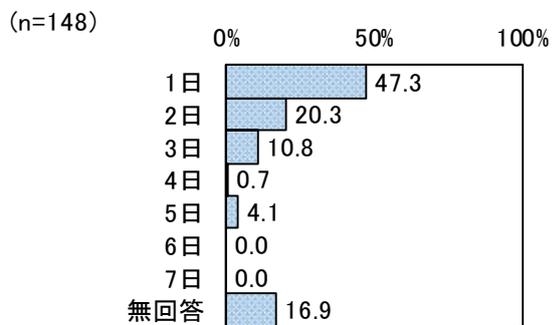
・公民館



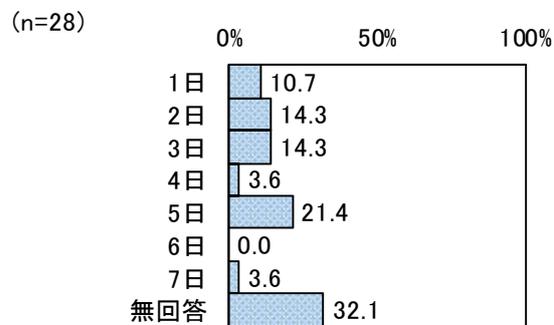
・図書館



・公園



・その他



(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

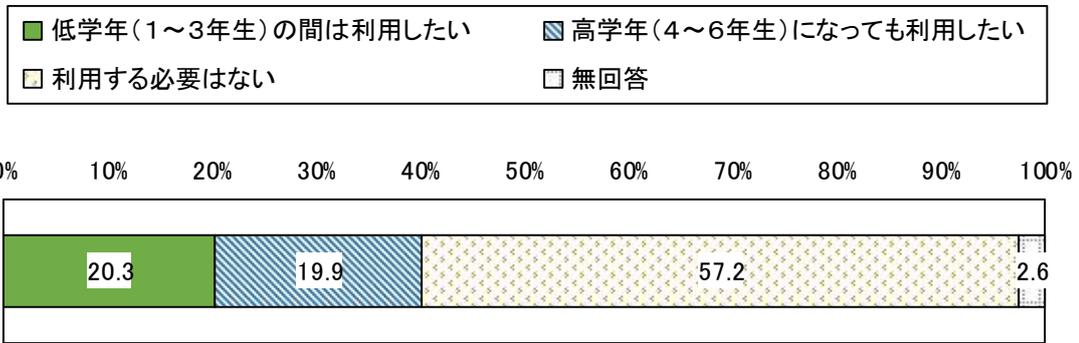
問27または問28で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ

問29 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が57.2%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が20.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が19.9%となっています。

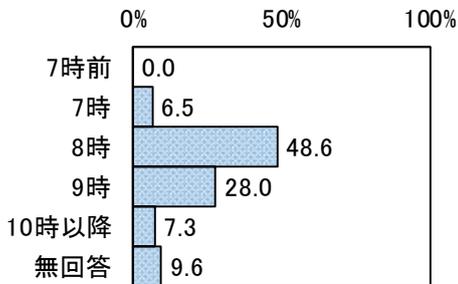
希望する利用開始時刻は「8時」が48.6%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が41.0%で最も多くなっています。

(n=880)



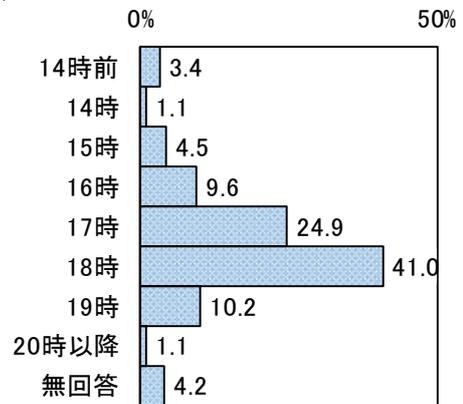
・ 利用開始時刻

(n=354)



・ 利用終了時刻

(n=354)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

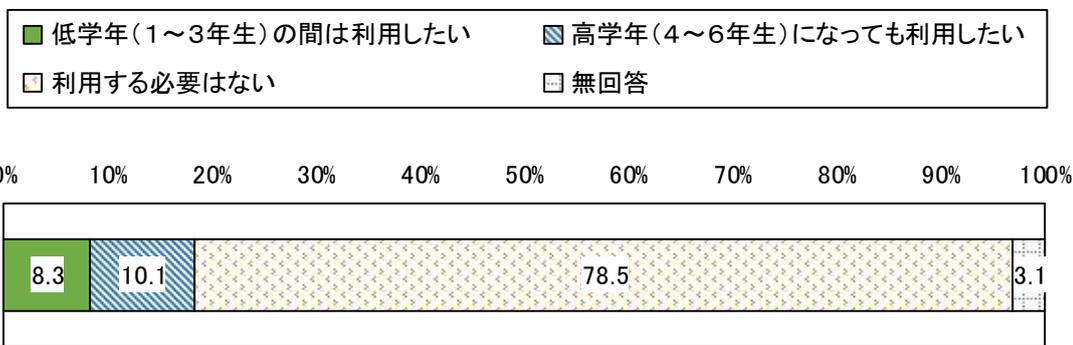
問27または問28で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ

問29 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が78.5%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が10.1%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が8.3%となっています。

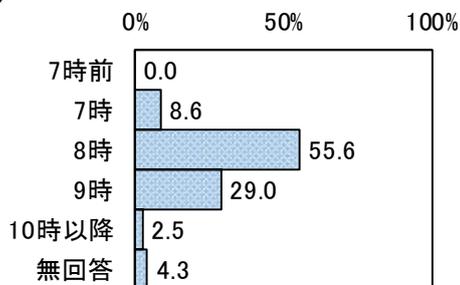
希望する利用開始時刻は「8時」が55.6%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が43.8%で最も多くなっています。

(n=880)



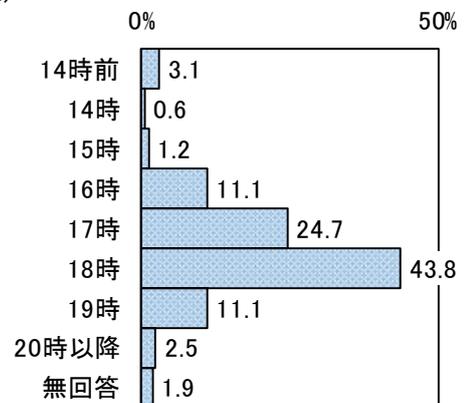
・ 利用開始時刻

(n=162)



・ 利用終了時刻

(n=162)



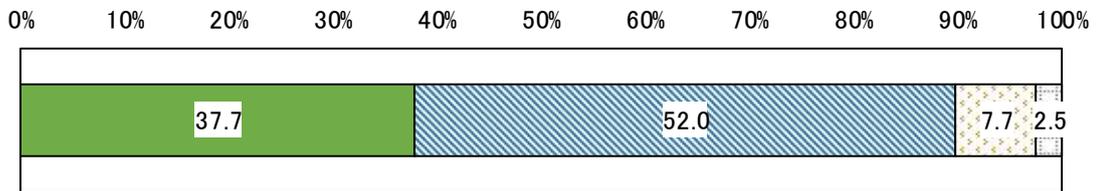
(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が52.0%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が37.7%、「利用する必要はない」が7.7%となっています。

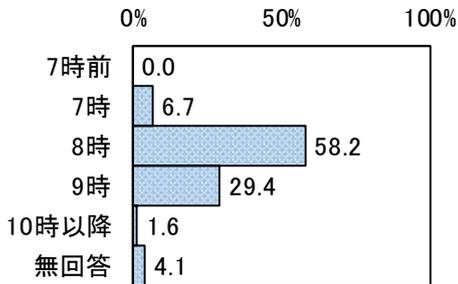
希望する利用開始時刻は「8時」が58.2%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が43.9%で最も多くなっています。

(n=880)



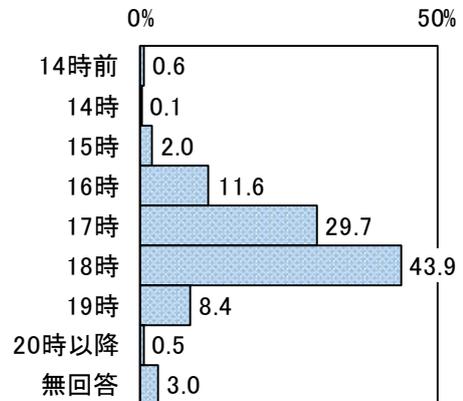
・ 利用開始時刻

(n=790)



・ 利用終了時刻

(n=790)



11 職場の両立支援制度について

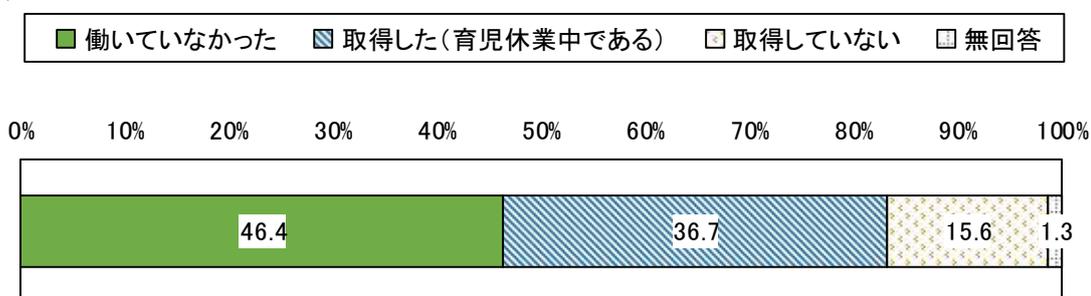
(1) 母親の育児休業の取得状況

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ1つに○、取得していない理由を記入)

母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が46.4%で最も多く、次いで「取得した(育児休業中である)」が36.7%、「取得していない」が15.6%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が34.5%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が25.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.3%となっています。

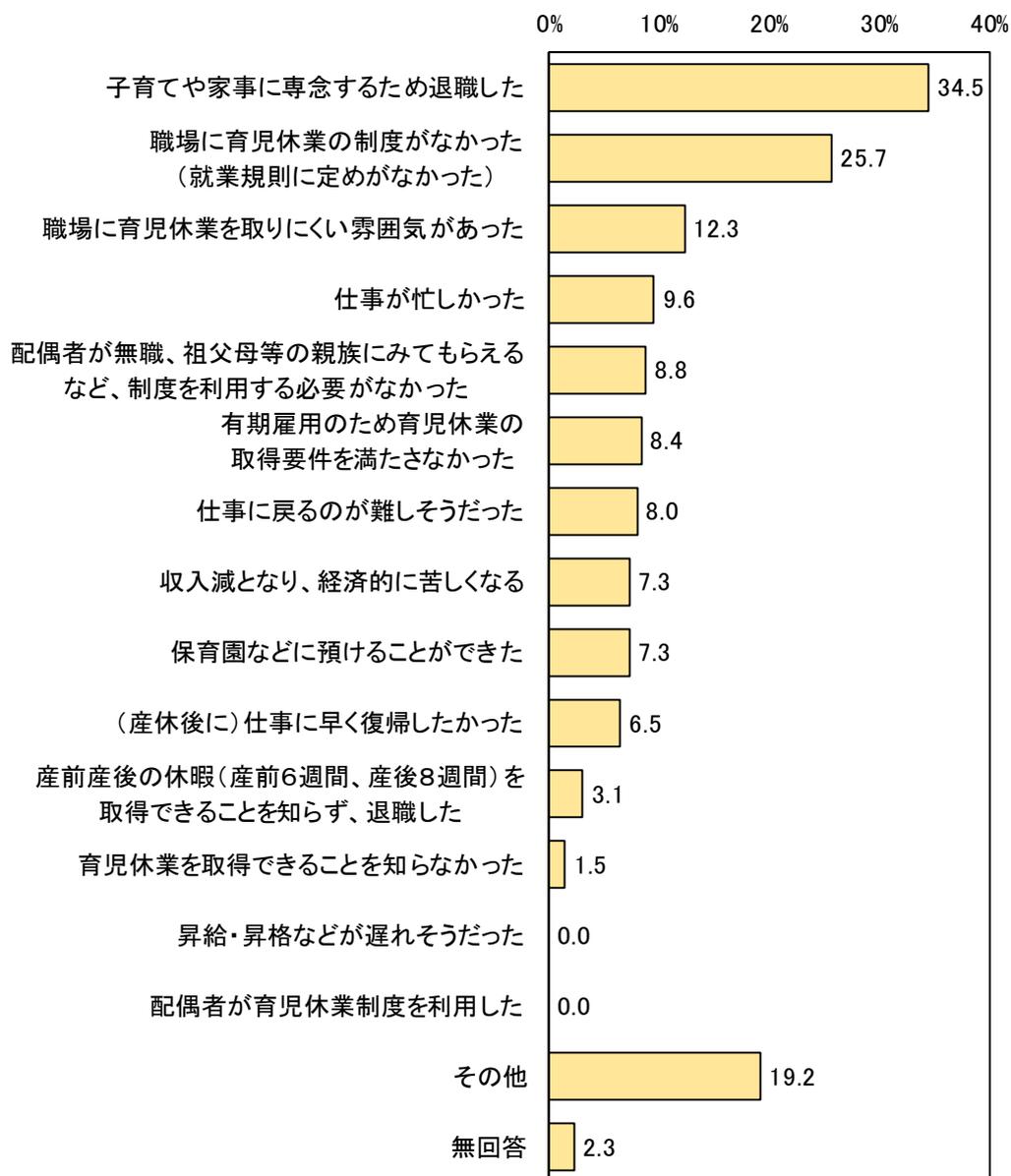
(n=1,672)



第2章 就学前児童保護者

・母親が育児休業を取得していない理由

(n=261)



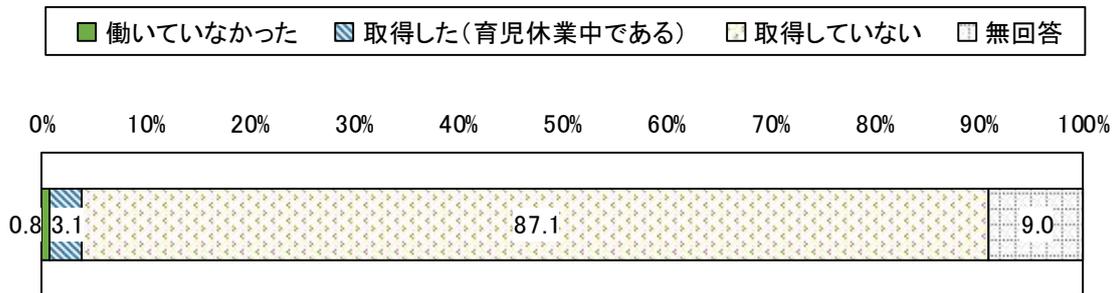
(2) 父親の育児休業の取得状況

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ1つに○、取得していない理由を記入)

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が87.1%で最も多く、次いで「取得した(育児休業中である)」が3.1%、「働いていなかった」が0.8%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が34.9%で最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が29.6%となっています。

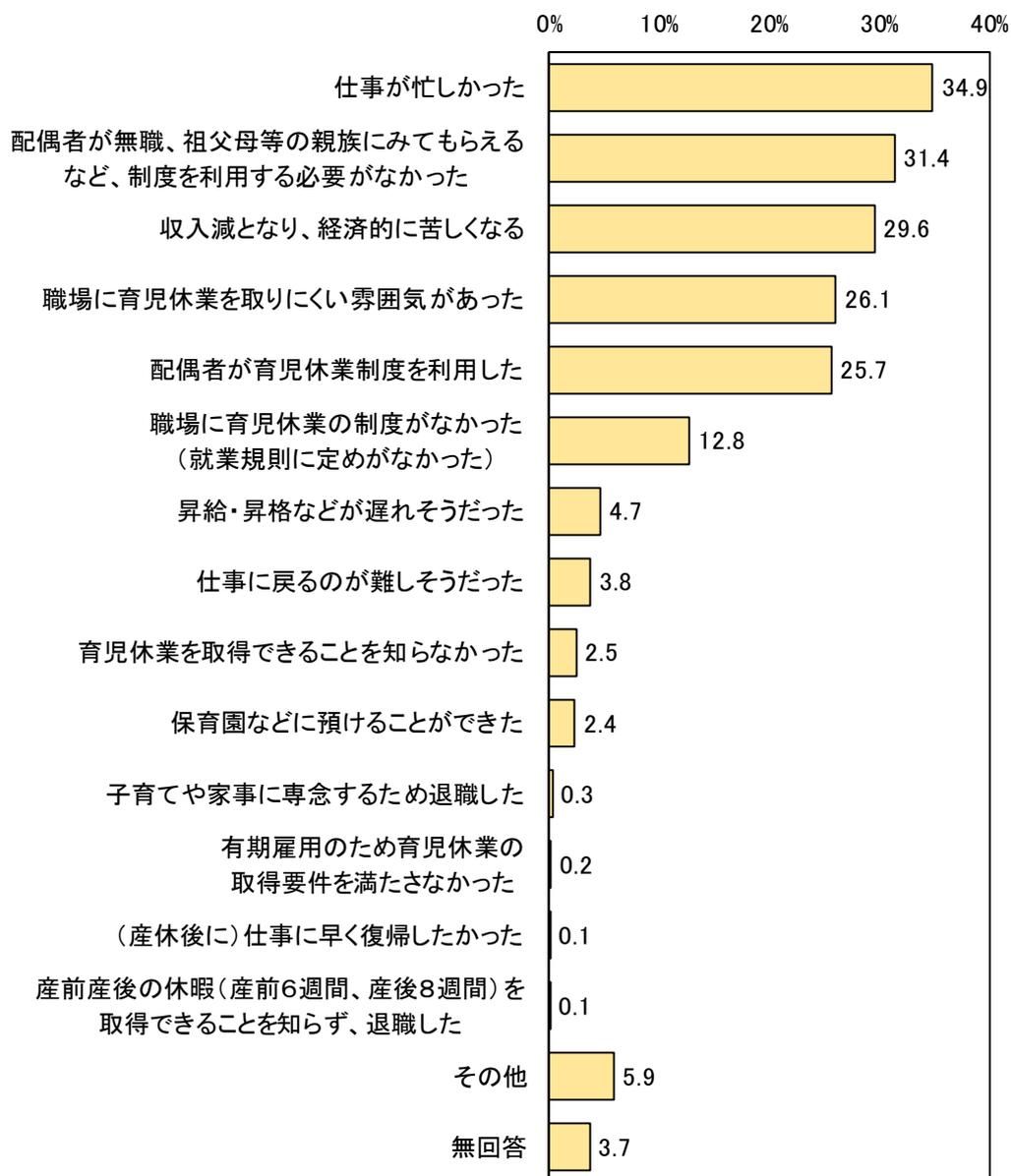
(n=1,672)



第2章 就学前児童保護者

・父親が育児休業を取得していない理由

(n=1,457)



(3) 育児休業取得後の状況

問31で「2. 取得した(育児休業中である)」に○をつけた方のみ(該当しない方 ⇒ 問32へ)

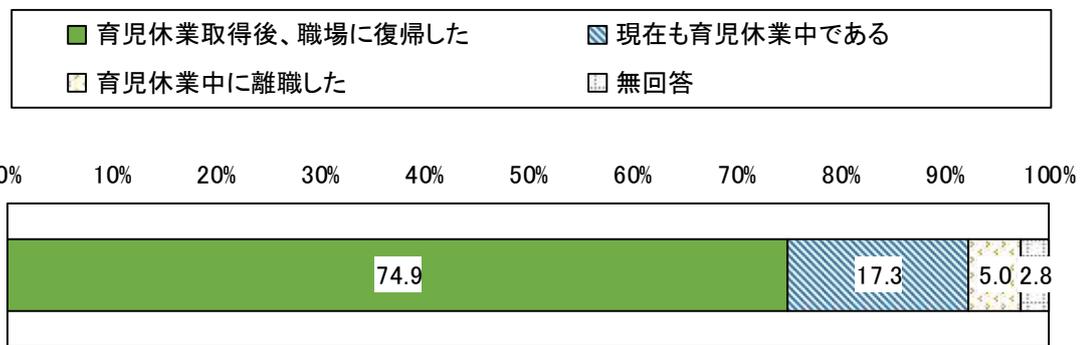
問31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

母親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.9%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が17.3%、「育児休業中に離職した」が5.0%となっています。

また、父親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.4%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が3.9%、「育児休業中に離職した」が2.0%となっています。

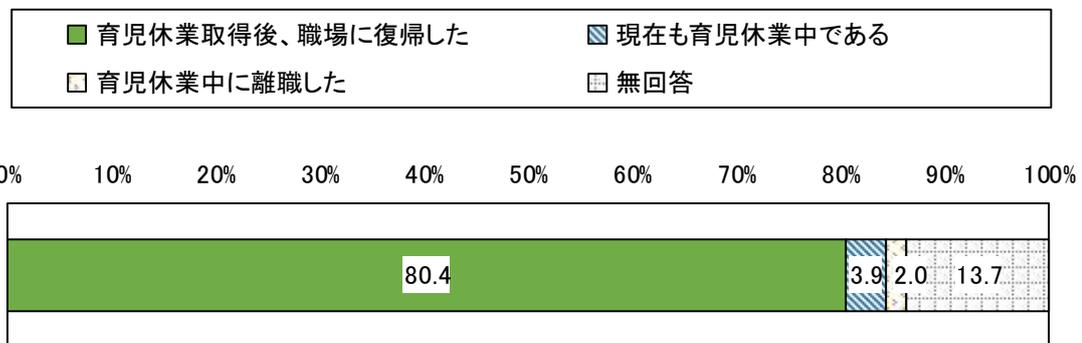
・母親の育児休業取得後の状況

(n=614)



・父親の育児休業取得後の状況

(n=51)



(4) 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期

問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問31-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様は何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

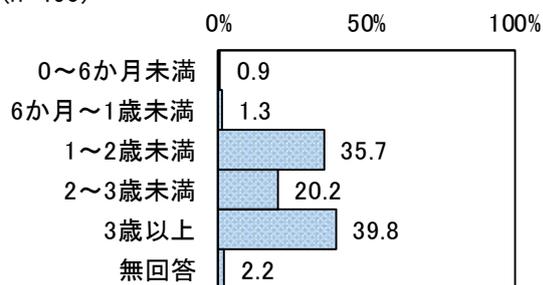
3歳まで休暇を取得できる場合、母親が希望する職場への復帰時期は、「3歳以上」が39.8%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が35.7%、「2～3歳未満」が20.2%となっています。

一方、父親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が24.4%で最も多く、次いで「0～6か月未満」が22.0%、「6か月～1歳未満」が12.2%、「3歳以上」が9.8%となっています。

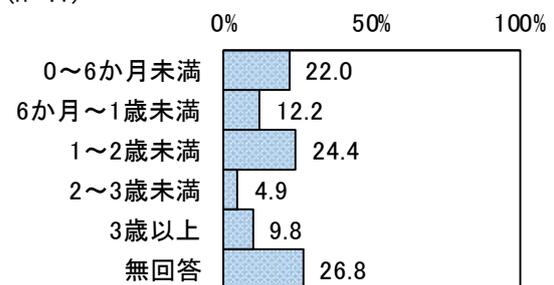
・母親の希望の復帰時期

・父親の希望の復帰時期

(n=460)



(n=41)



(5) 育児休業から職場に復帰する時期

問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問31-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ数字を記入)

母親が職場に復帰した時期は、「1～2歳未満」が62.0%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が25.2%、「0～6か月未満」が7.4%となっています。

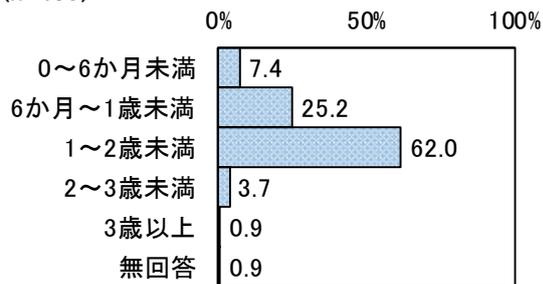
一方、母親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が56.1%で最も多く、次いで「3歳以上」が16.1%、「2～3歳未満」が12.6%となっています。

また、父親が職場に復帰した時期は、「0～6か月未満」が43.9%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が9.8%となっています。

父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6か月未満」が34.1%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が24.4%、「6か月～1歳未満」が12.2%となっています。

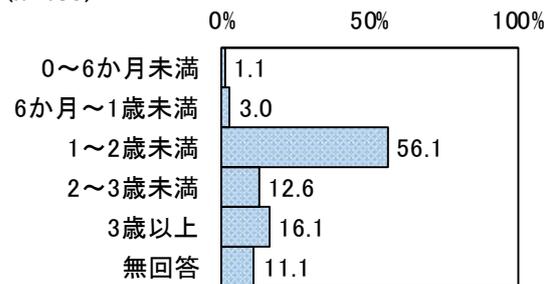
・ 母親の実際の復帰時期

(n=460)



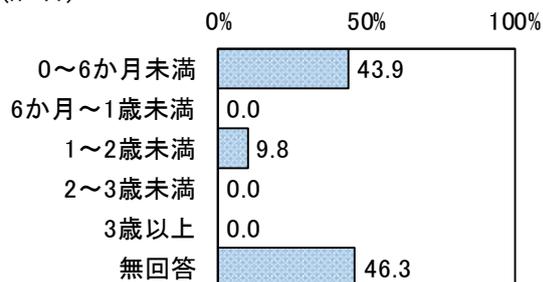
・ 母親の希望の復帰時期

(n=460)



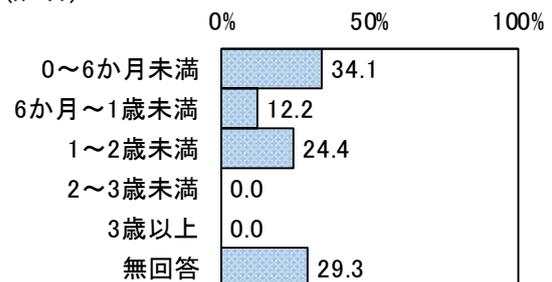
・ 父親の実際の復帰時期

(n=41)



・ 父親の希望の復帰時期

(n=41)



(6) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由

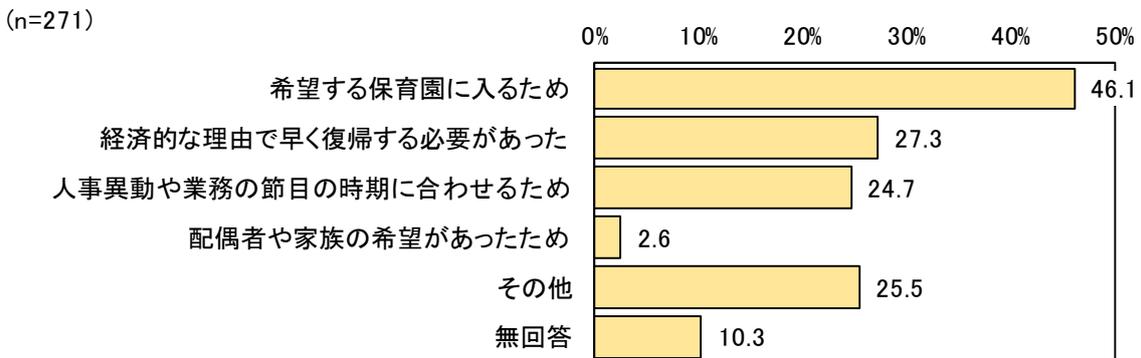
問31-3で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ

問31-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

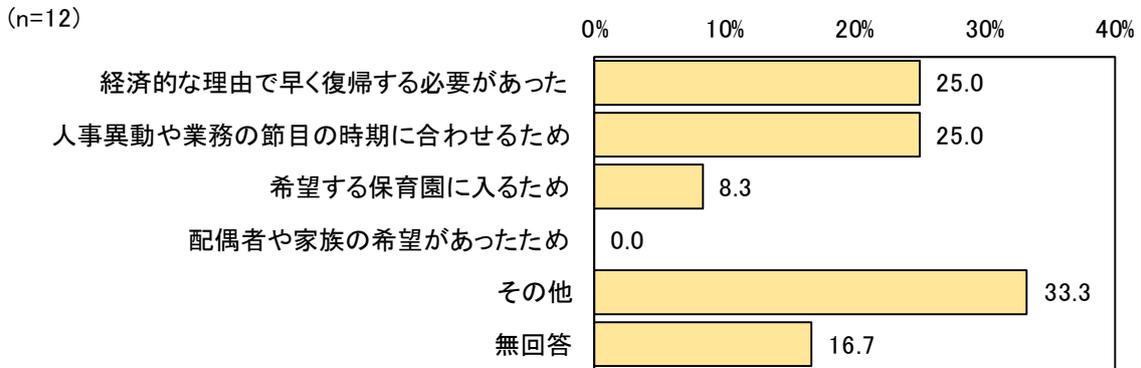
母親が希望より早く復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」が46.1%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が27.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が24.7%となっています。

一方、父親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに25.0%で最も多く、次いで「希望する保育園に入園するため」が8.3%となっています。

・ 母親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



・ 父親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



(7) 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由

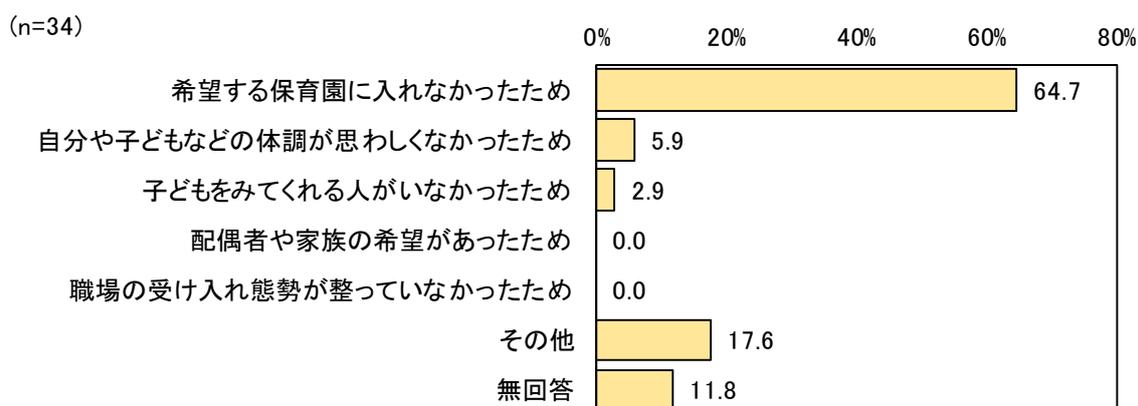
問31-3で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ

問31-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

母親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が64.7%で最も多く、次いで「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が5.9%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が2.9%となっています。

父親が希望より遅く復帰した理由への回答は「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が1人となっています。

- ・母親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由（遅く復帰した家庭のみの集計）



(8) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向

問31-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ

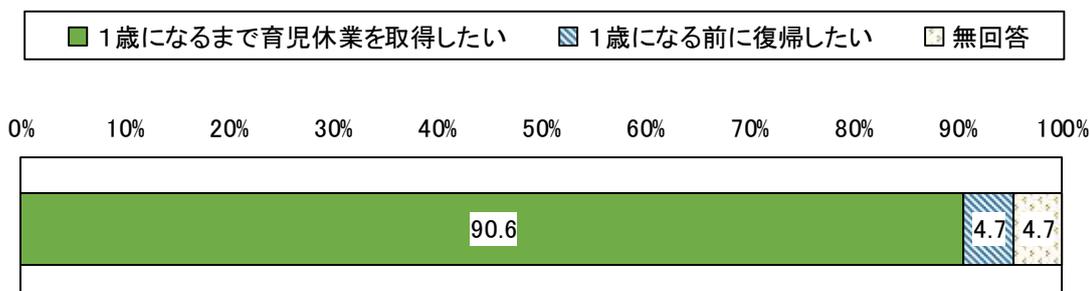
問31-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる子育て支援があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つに○）

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.6%、「1歳になる前に復帰したい」が4.7%となっています。

一方、父親の意向は、「1歳になる前に復帰したい」が1人となっています。

- ・子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向

(n=106)



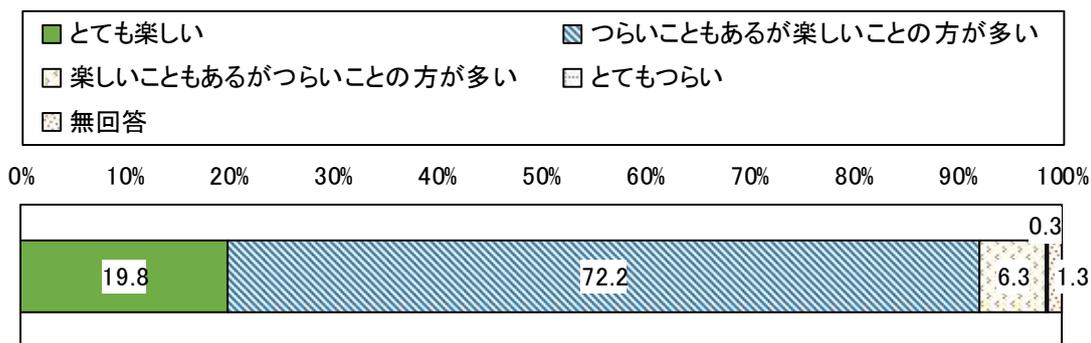
12 子育て支援施策全般について

(1) 子育ての楽しさ

問32 あなたは、子育てが楽しいですか。(1つに○)

子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が72.2%で最も多く、次いで「とても楽しい」が19.8%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が6.3%となっています。

(n=1,672)



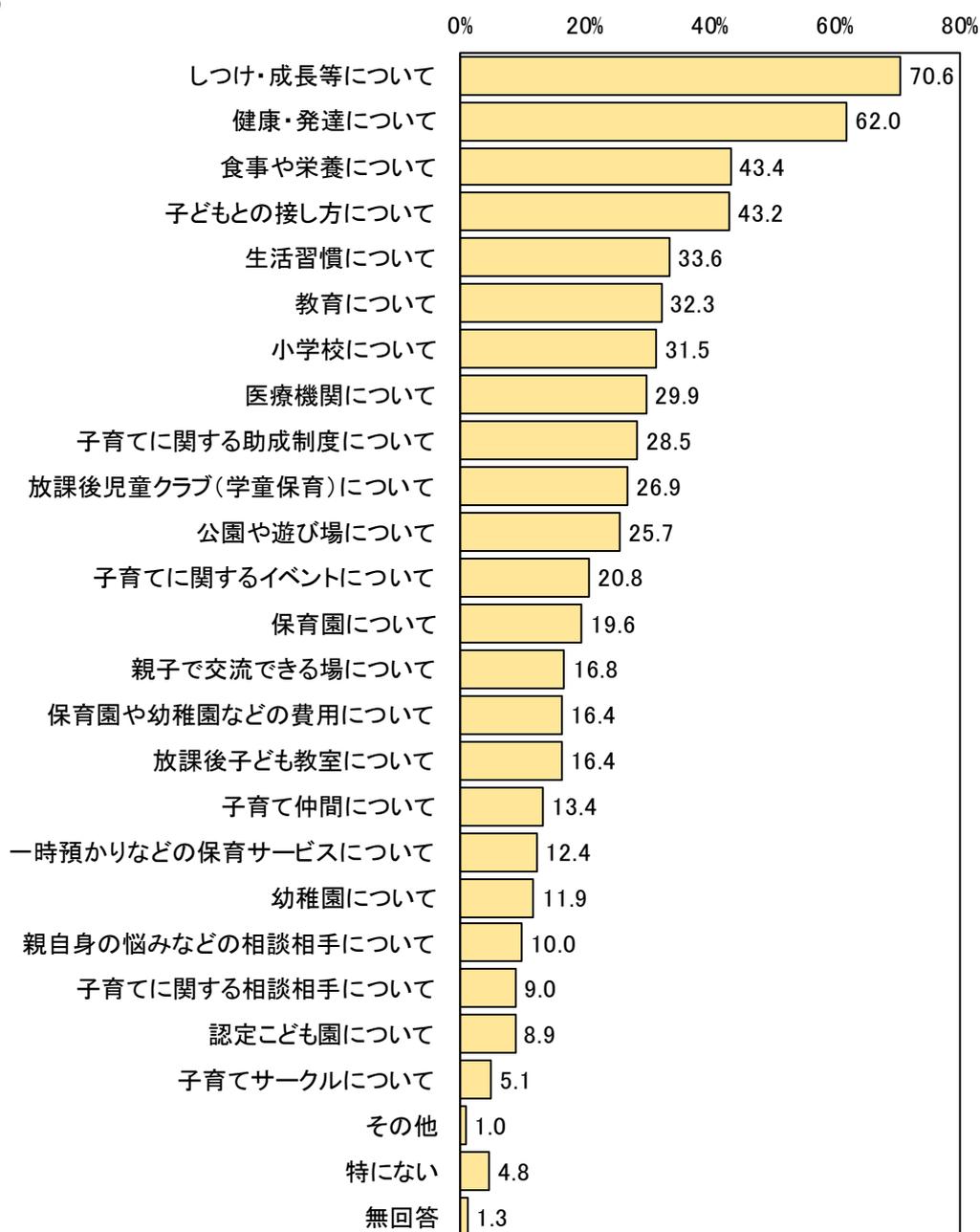
(2) 子育てに関する悩み・気になること

問33 子育てに関して知りたいこと、または気になることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩み、気になることは、「しつけ・成長等について」が70.6%で最も多く、次いで「健康・発達について」が62.0%、「食事や栄養について」が43.4%となっています。

(n=1,672)

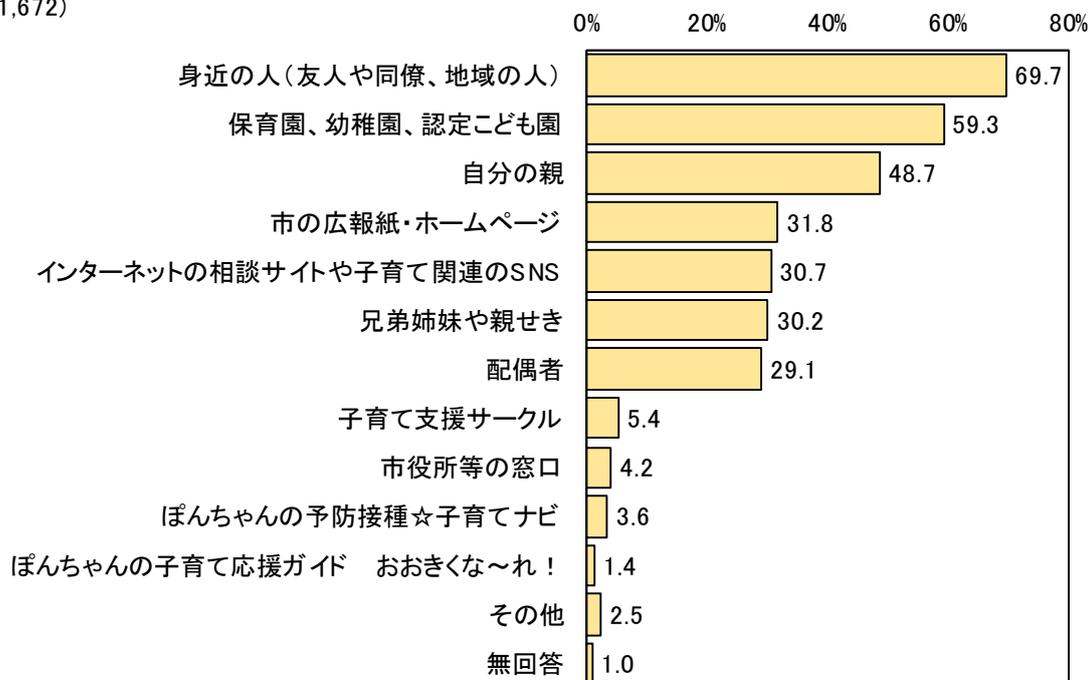


(3) 子育てや暮らしに関する情報の入手方法

問34 あなたは、子育てや暮らしに関する情報はどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てや暮らしに関する情報の入手方法は、「身近の人（友人や同僚、地域の人）」が 69.7%で最も多く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園」が 59.3%、「自分の親」が 48.7%となっています。

(n=1,672)

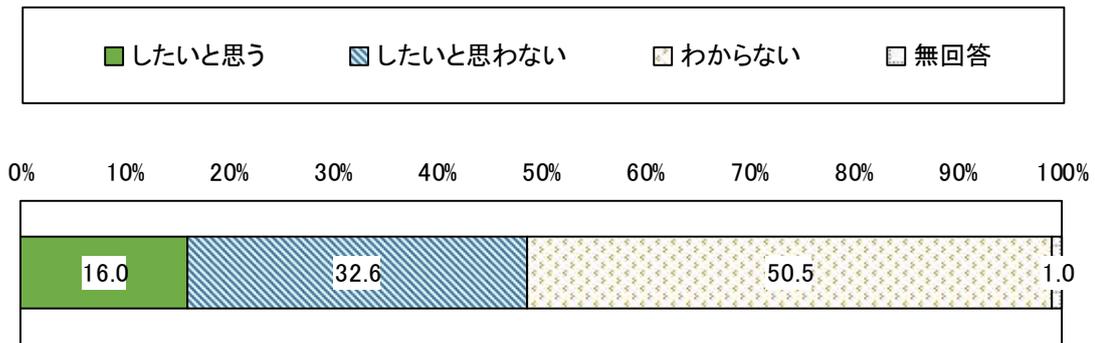


(4) 子育て支援のボランティア活動の参加意向

問35 あなたは、子育ての経験をいかして、子育ての手助け(支援)のボランティア活動をしてみたいと思いますか。(1つに○)

ボランティア活動への参加意向では、「したいと思う」が16.0%、「したいと思わない」が32.6%となっています。

(n=1,672)

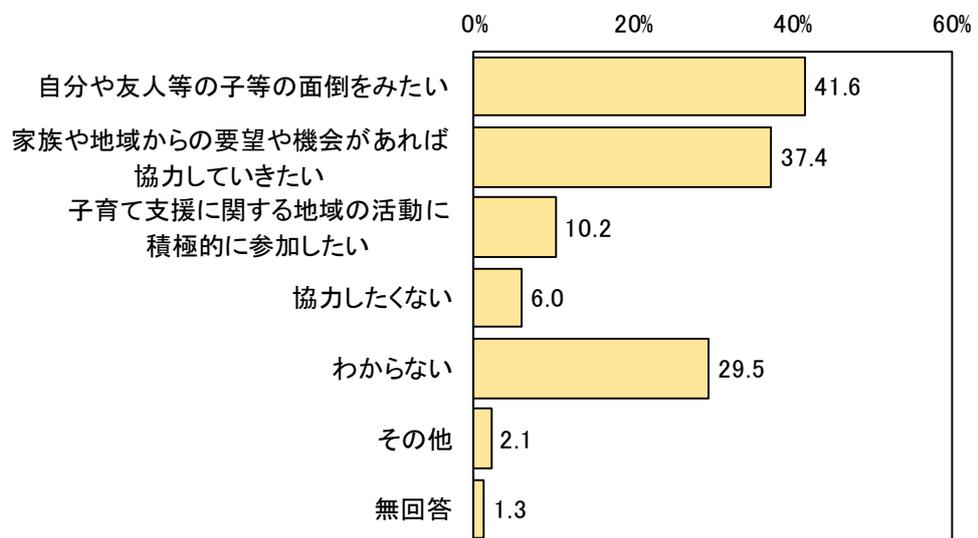


(5) 子育てで協力できること

問36 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てで協力できることは、「自分や友人等の子等の面倒をみたい」が41.6%で最も多く、次いで「家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい」が37.4%、「子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい」が10.2%となっています。

(n=1,672)



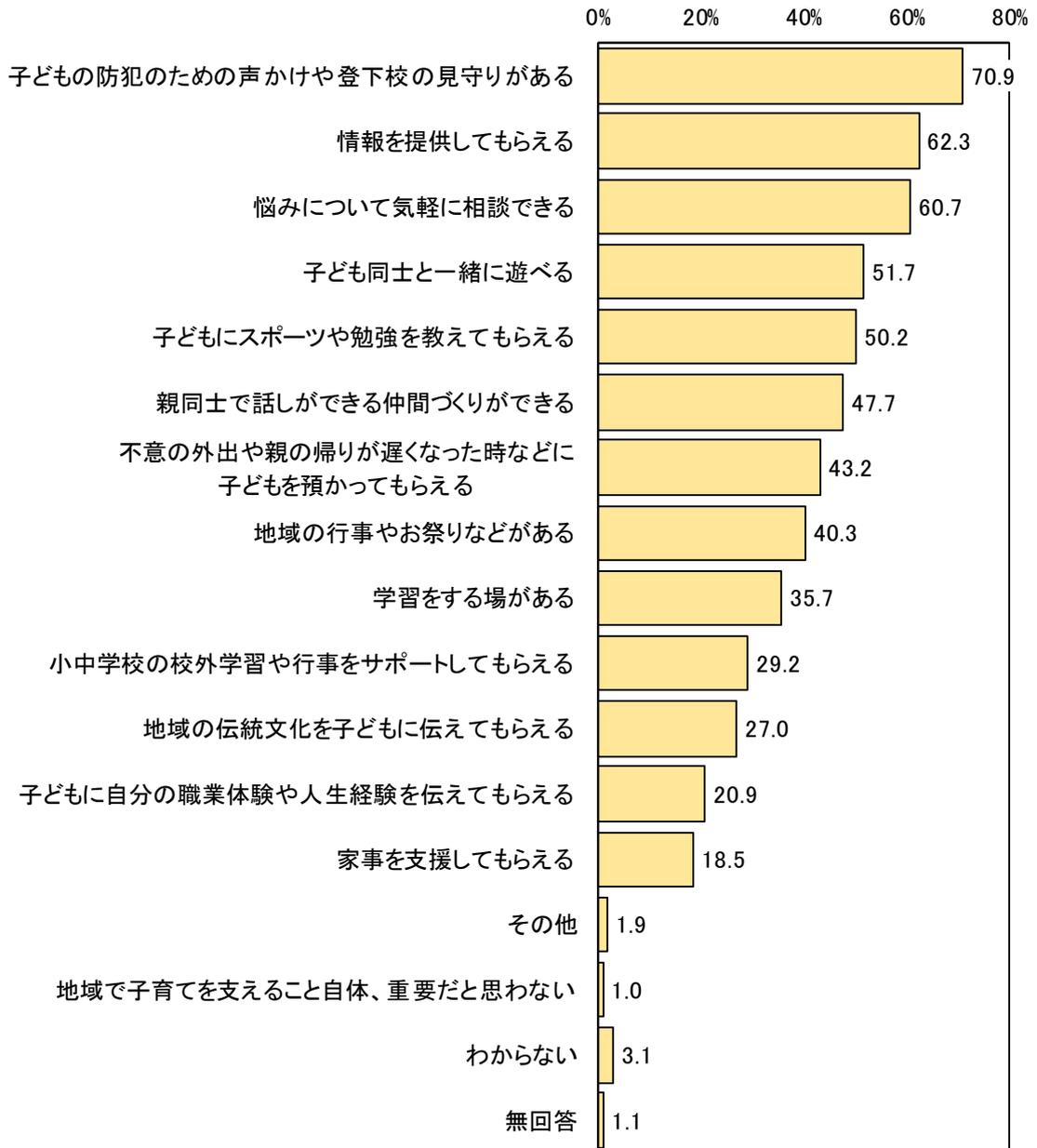
(6) 地域で子育てを支えるために重要なこと

問37 あなたは、地域で子育てを支えるために、どんなことが重要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で子育てを支えるために重要なことでは、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがある」が70.9%で最も多く、次いで「情報を提供してもらえる」が62.3%、「悩みについて気軽に相談できる」が60.7%となっています。

(n=1,672)



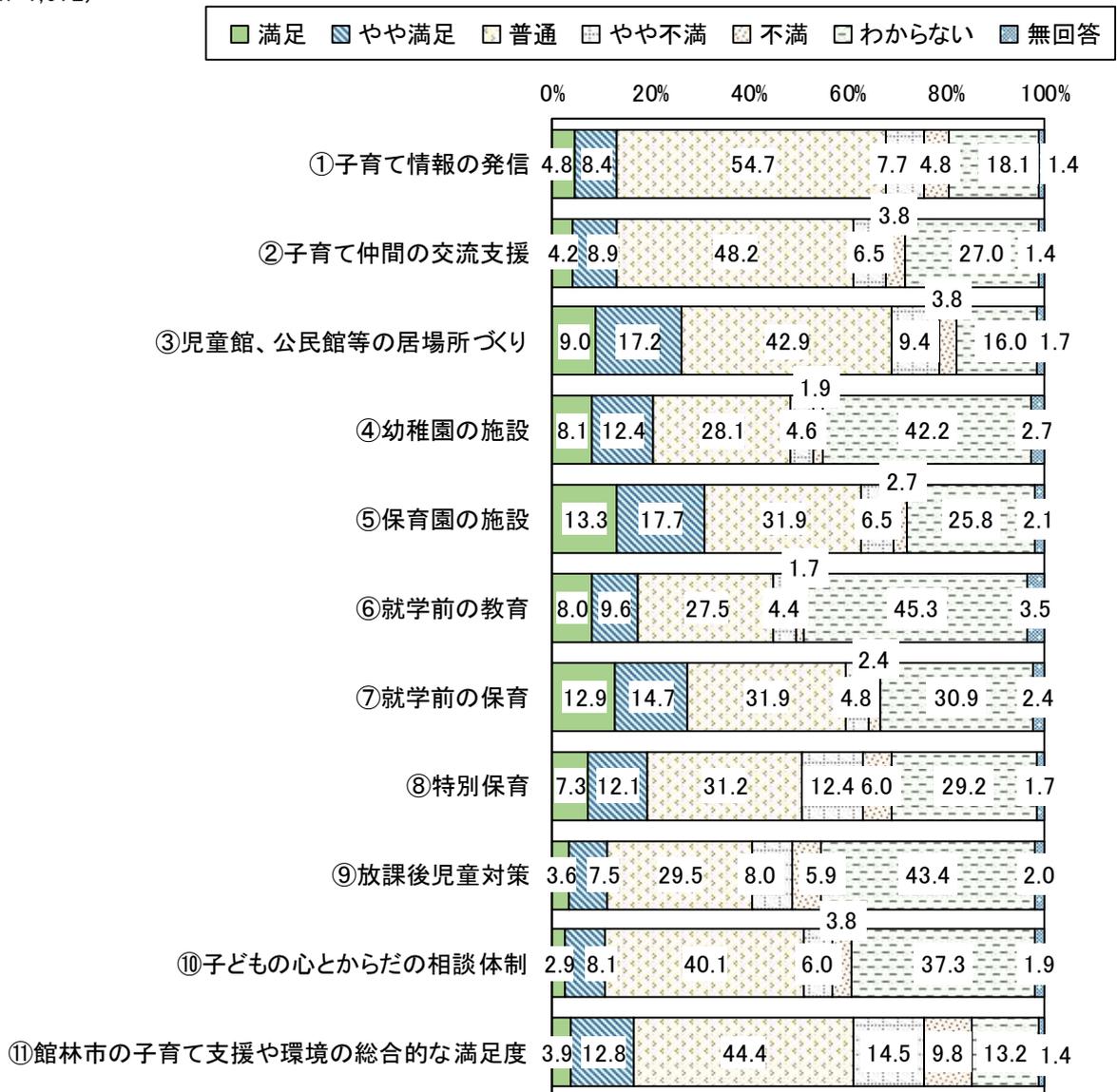
(7) 子育て環境の満足度

問38 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

子育て環境の満足度では、満足していると回答している割合（「満足」と「やや満足」の合計）が多いのは、「⑤保育園の施設」が31.0%と最も多く、次いで「⑦就学前の保育」が27.6%、「③児童館、公民館等の居場所づくり」が26.2%となっています。

一方、「⑪館林市の子育て支援や環境の総合的な満足度」は、不満と回答している割合（「不満」と「やや不満」の合計）が24.3%と最も多くなっています。

(n=1,672)



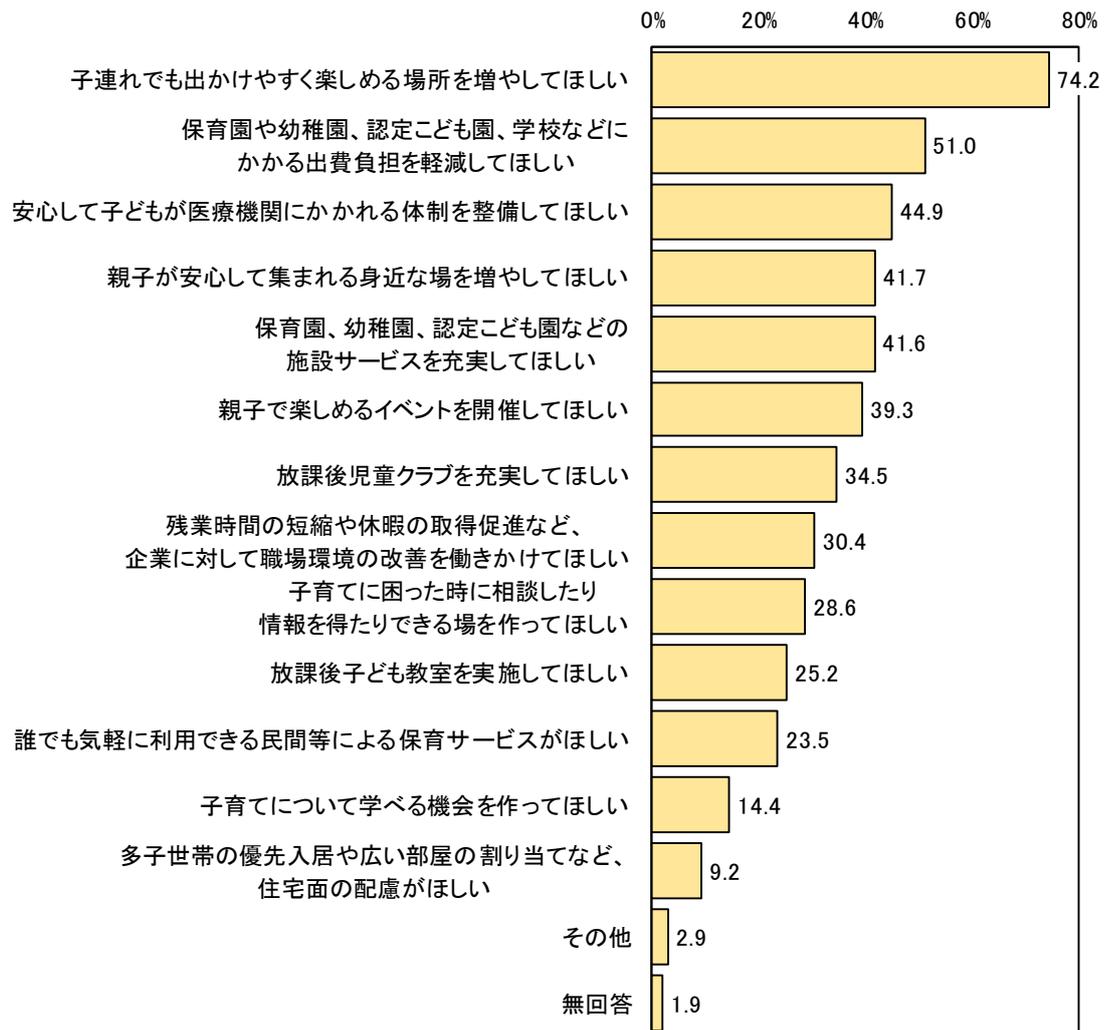
(8) 子育て支援環境充実のための必要な支援策

問39 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育て環境充実のために必要な支援策は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が74.2%で最も多く、次いで「保育園や幼稚園、認定こども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい」が51.0%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が44.9%となっています。

(n=1,672)



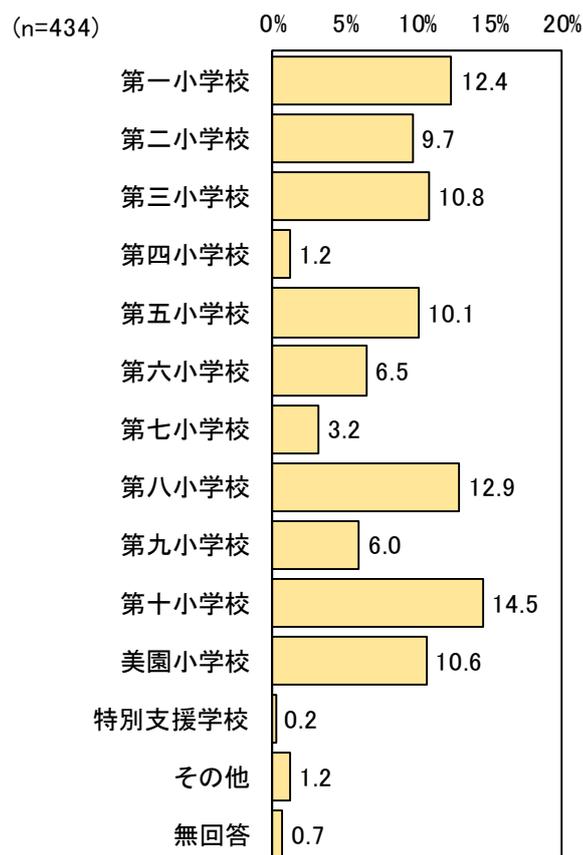
第3章 小学生児童保護者

1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

問1 宛名のお子さんが通っている小学校は次のうちどちらですか。(1つに○)

居住地域は、「第十小学校」が14.5%で最も多く、次いで「第八小学校」が12.9%、「第一小学校」が12.4%となっています。



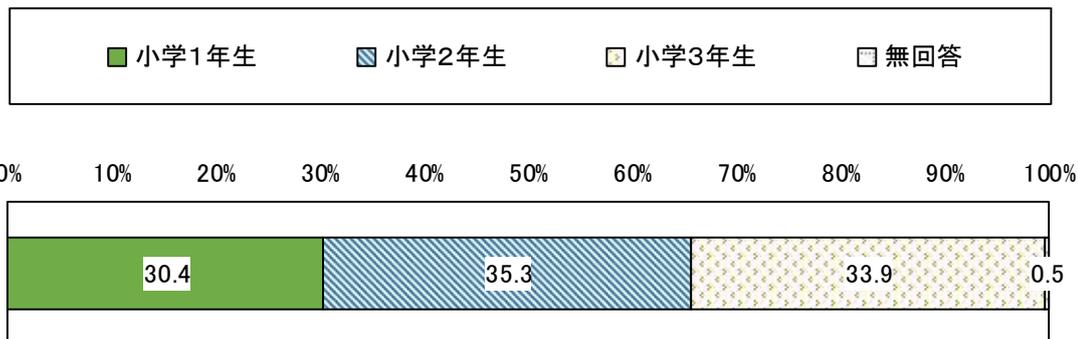
2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの学年

問2 宛名のお子さんの現在の学年を記入してください。

子どもの学年は、「小学2年生」が35.3%で最も多く、次いで「小学3年生」が33.9%、「小学1年生」が30.4%となっています。

(n=434)

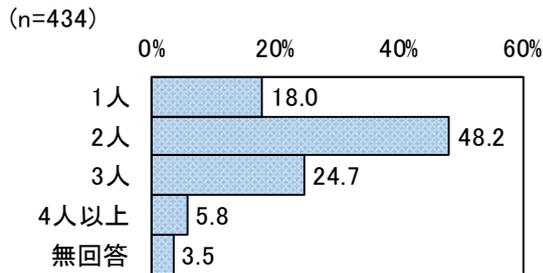


(2) 子どもの人数

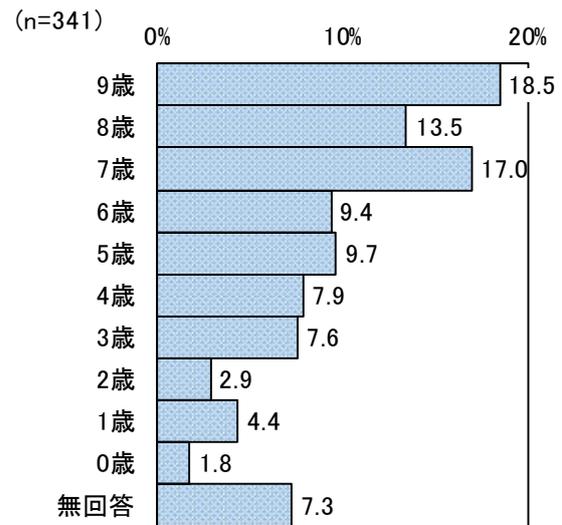
問3 宛名のお子さんのきょうだいは(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。
 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの人数は、「2人」が48.2%で最も多く、次いで「3人」が24.7%、「1人」が18.0%となっています。また、末子の年齢は、「9歳」が18.5%で最も多く、次いで「7歳」が17.0%、「8歳」が13.5%となっています。

・きょうだいの数



・末子の年齢

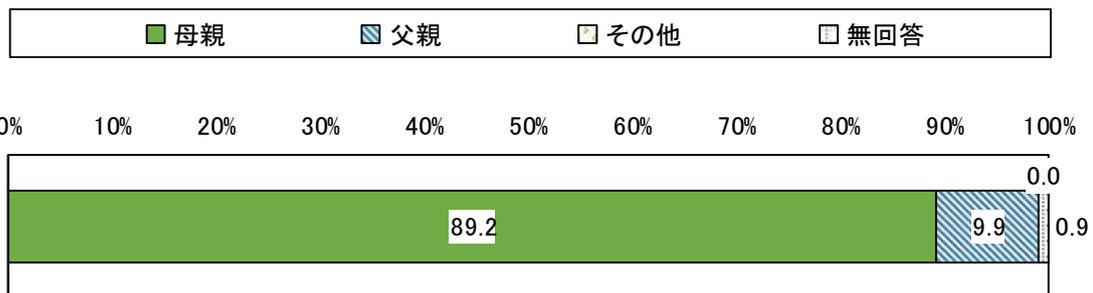


(3) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が89.2%、「父親」が9.9%となっています。

(n=434)

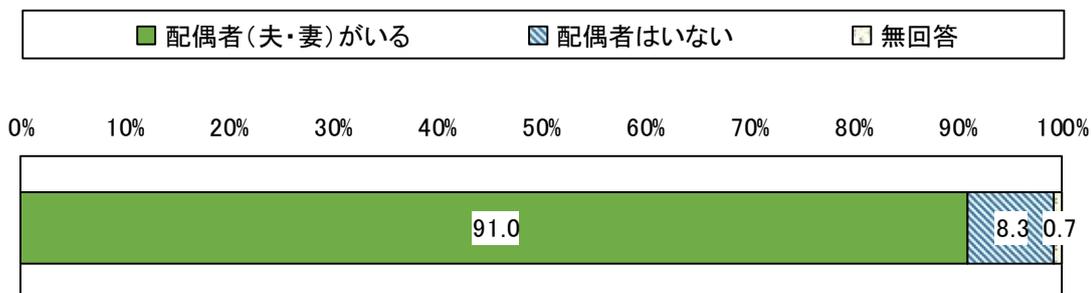


(4) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶(婚姻)関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者(夫・妻)がいる」が91.0%、「配偶者はいない」が8.3%となっています。

(n=434)



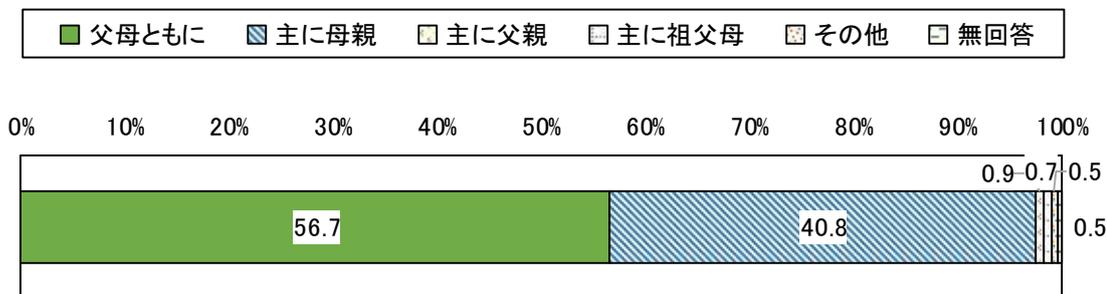
(5) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が56.7%で最も多く、次いで「主に母親」が40.8%、「主に父親」が0.9%となっています。

(n=434)



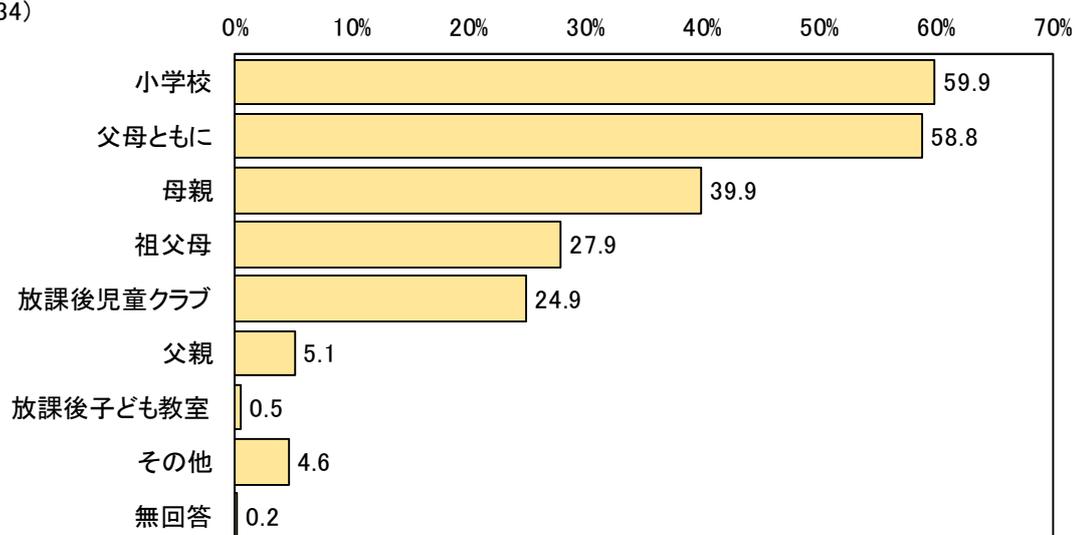
3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
 お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「小学校」が59.9%で最も多く、次いで「父母ともに」が58.8%、「母親」が39.9%となっています。

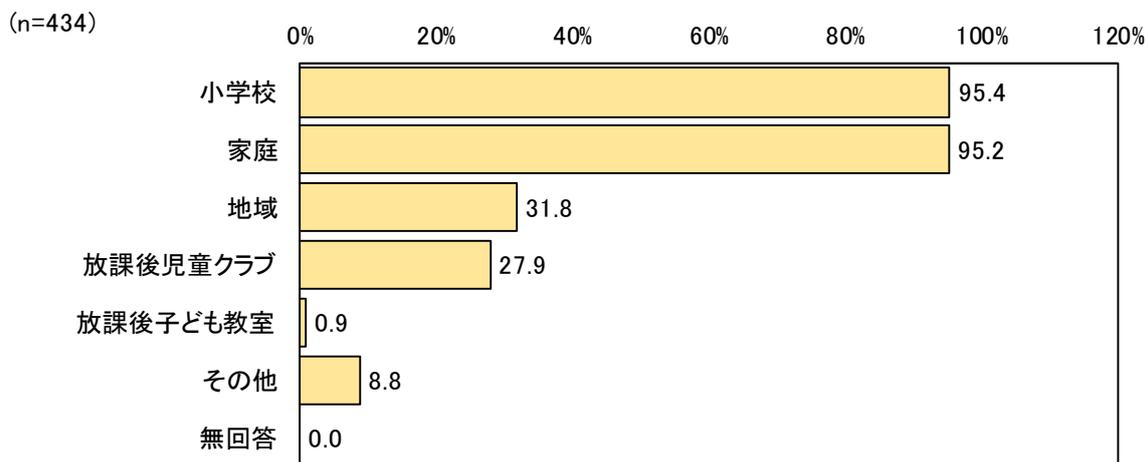
(n=434)



(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

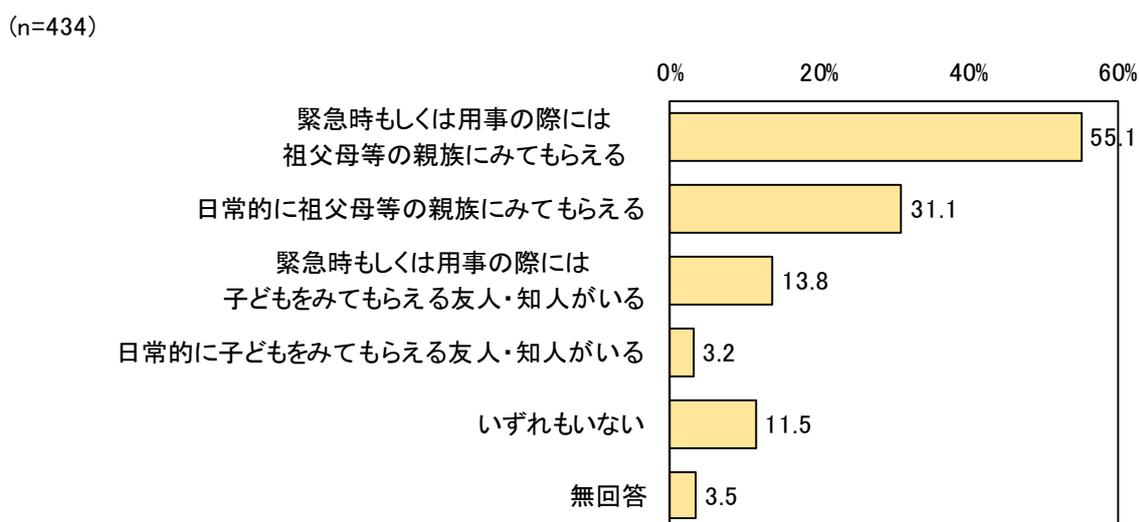
子育てに影響すると思われる環境は、「小学校」が95.4%で最も多く、次いで「家庭」が95.2%、「地域」が31.8%となっています。



(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.1%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が13.8%となっています。



(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

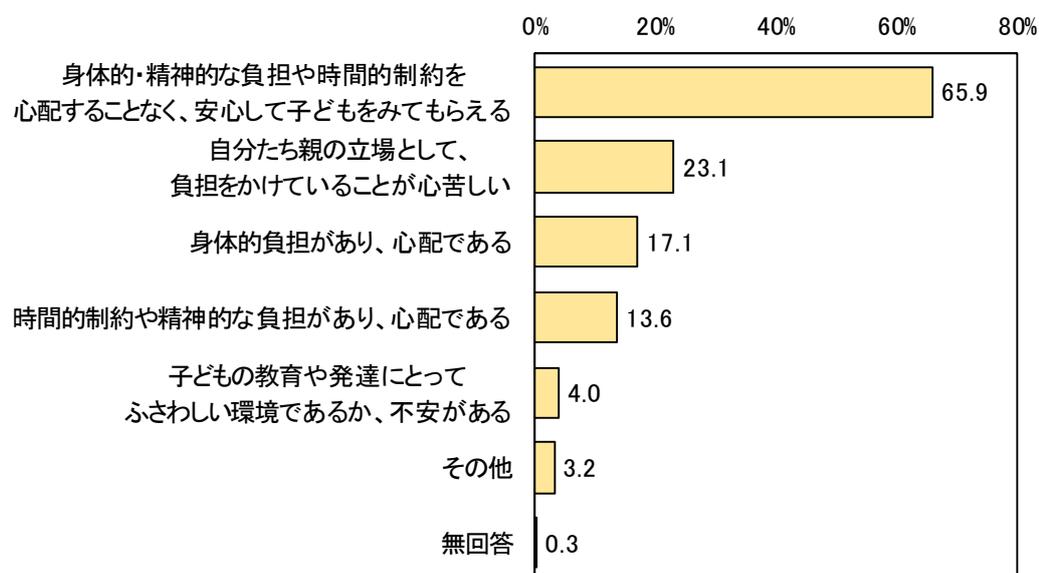
問9で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が65.9%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が23.1%、「身体的負担があり、心配である」が17.1%となっています。

(n=346)



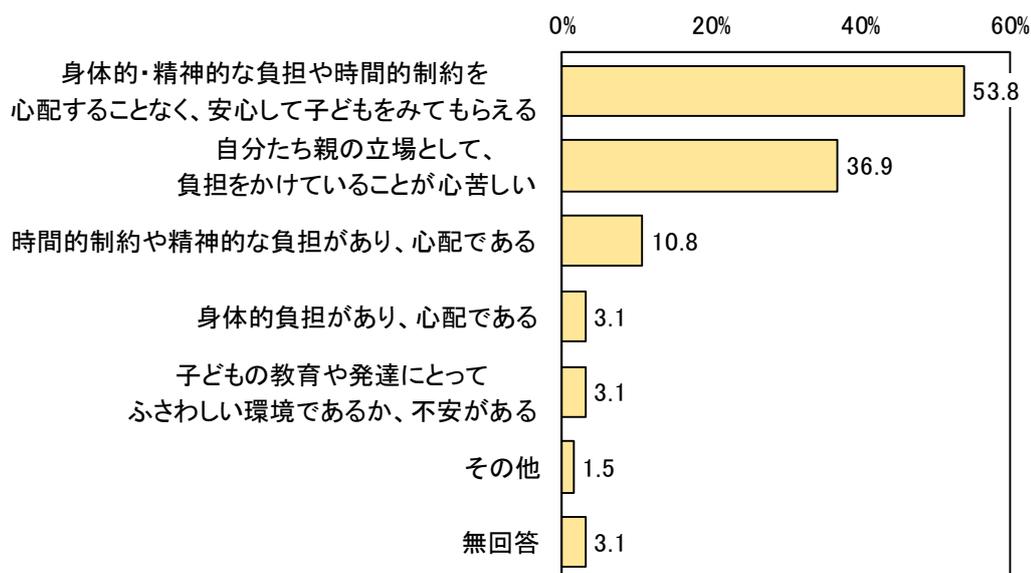
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 53.8%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 36.9%、「時間的制約や精神的な負担があり、心配である」が 10.8%となっています。

(n=65)

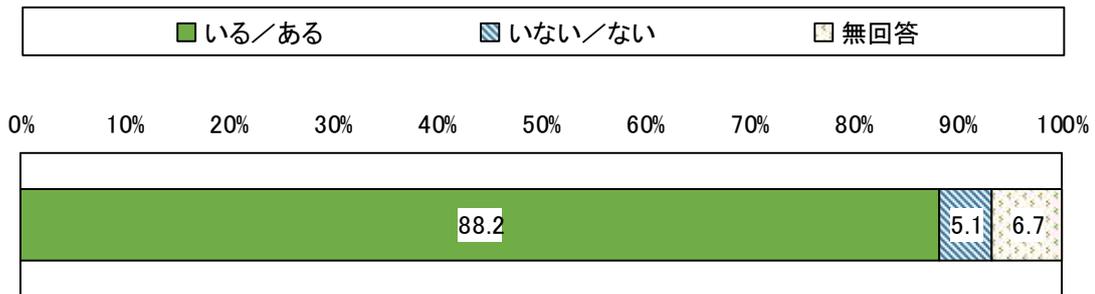


(6) 気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が88.2%、「いない／ない」が5.1%となっています。

(n=434)



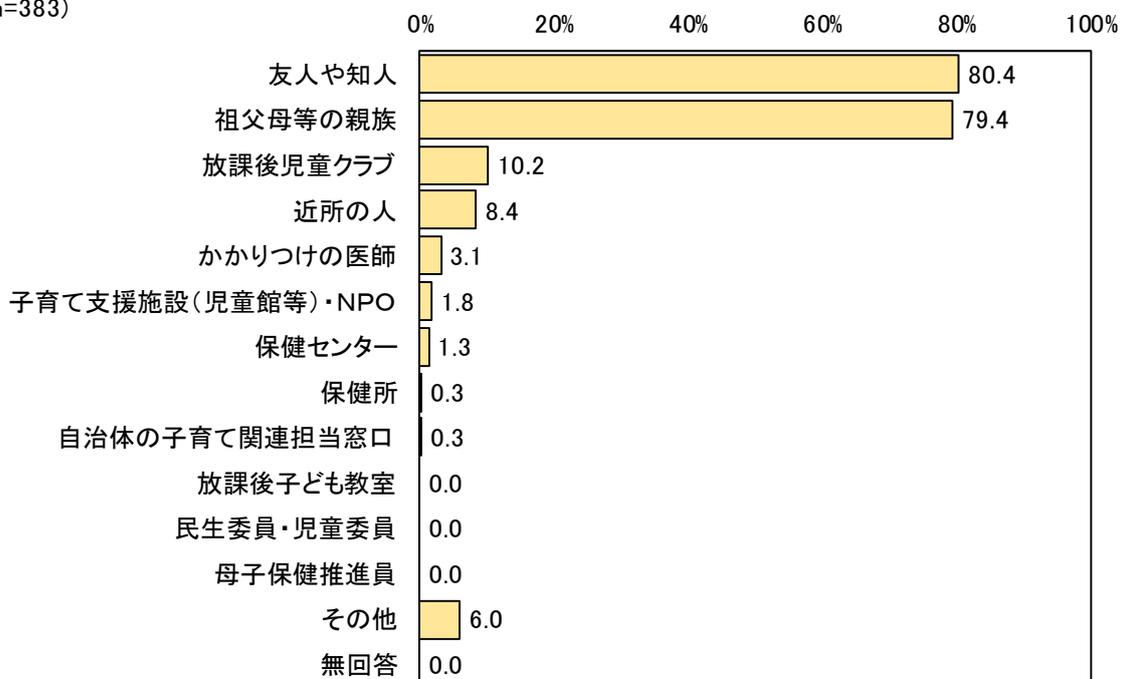
(7) 気軽に相談できる人・場所

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「友人や知人」が80.4%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が79.4%、「放課後児童クラブ」が10.2%となっています。

(n=383)



(8) 子育てに関して周囲に求めるサポート

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【主な意見】

- ・子どもを気軽に預けられる場所
- ・急用や親が体調不良、リフレッシュの際の一時預かり
- ・小児科、病院等の医療体制
- ・親同士、子ども同士が集まれる・交流できる場所
- ・子育てに関する相談の場所
- ・安心して遊べる公園、場所
- ・ファミリー・サポート・センター（利用しやすさ等）
- ・外国人向けの相談
- ・子育て支援の情報の提供
- ・親自身の悩みなどの相談
- ・発達障がいの子や人たちに対して差別のない暮らし、理解してもらえる環境
- ・学童保育や放課後児童デイサービス
- ・長期休暇中の学童保育
- ・学童保育以外に就労関係なく、学校で放課後や長期休みに預かる場所
- ・下校時の見守り
- ・スクールバス等の送迎
- ・学級閉鎖や振り替え休日の時に預かってもらえる場所
- ・スクールカウンセラー
- ・特にない

4 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

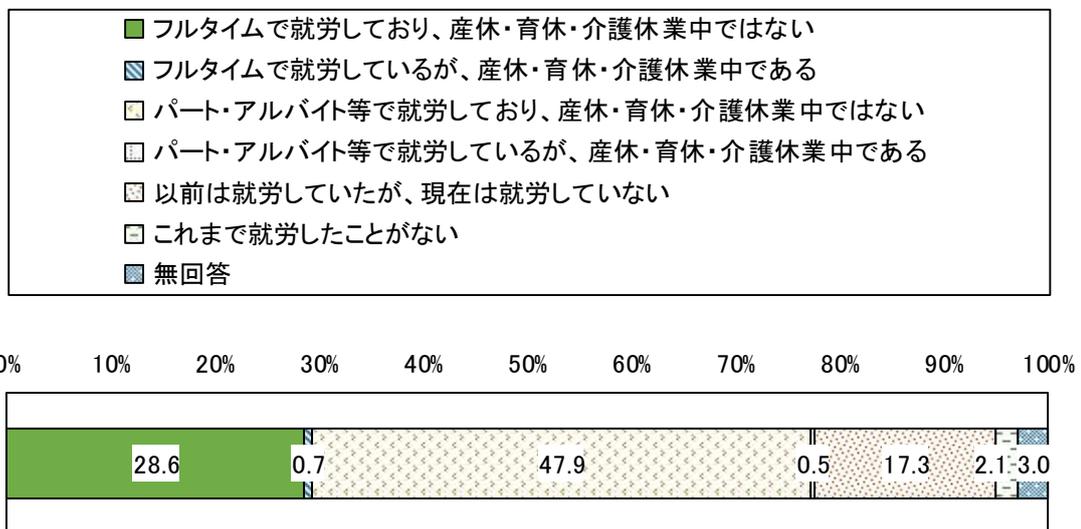
問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親(1つに○)【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.3%となっています。

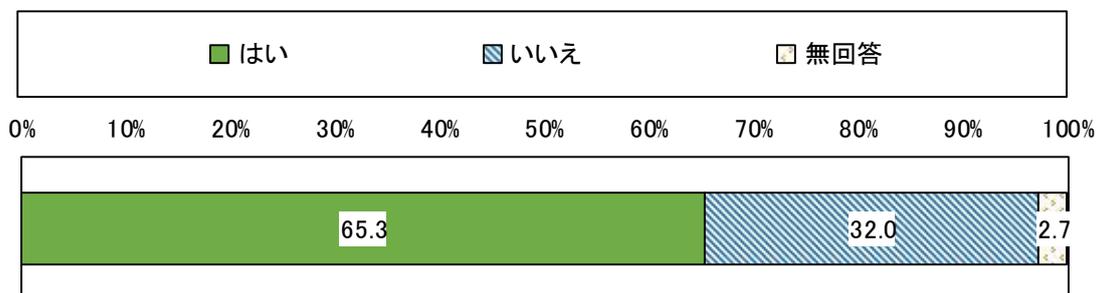
また、出産・育児を理由とした離職について、「はい」が65.3%、「いいえ」が32.0%となっています。

(n=434)



・ 離職した主な理由は、出産・育児ですか。

(n=75)



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

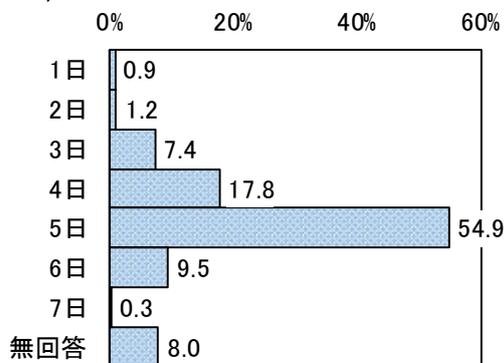
(1)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が54.9%で最も多く、次いで「4日」が17.8%、「6日」が9.5%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が25.2%で最も多く、次いで「5時間」が15.4%、「6時間」が13.4%となっています。

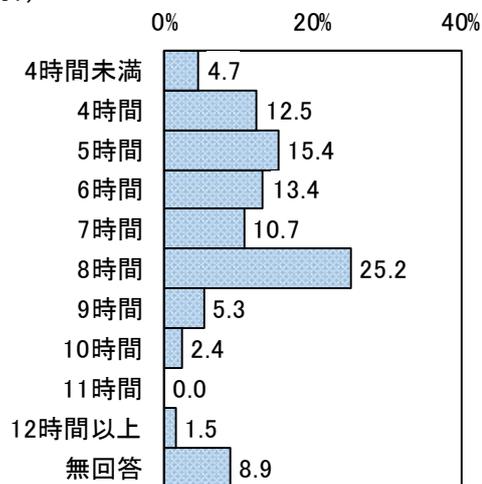
・ 1週あたりの就労日数

(n=337)



・ 1日あたりの就労時間

(n=337)



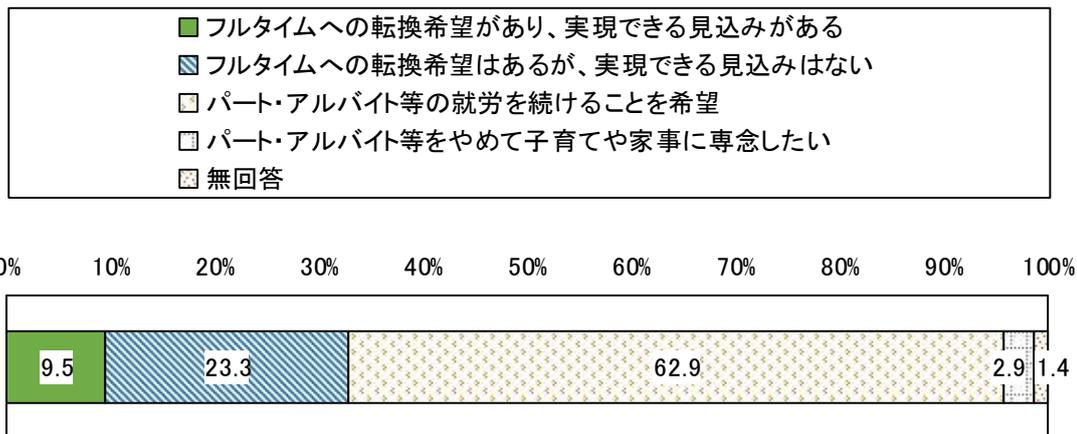
(3) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

(1)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

(1)ー2 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が62.9%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.5%となっています。

(n=210)



(4) 就労していない母親の就労希望

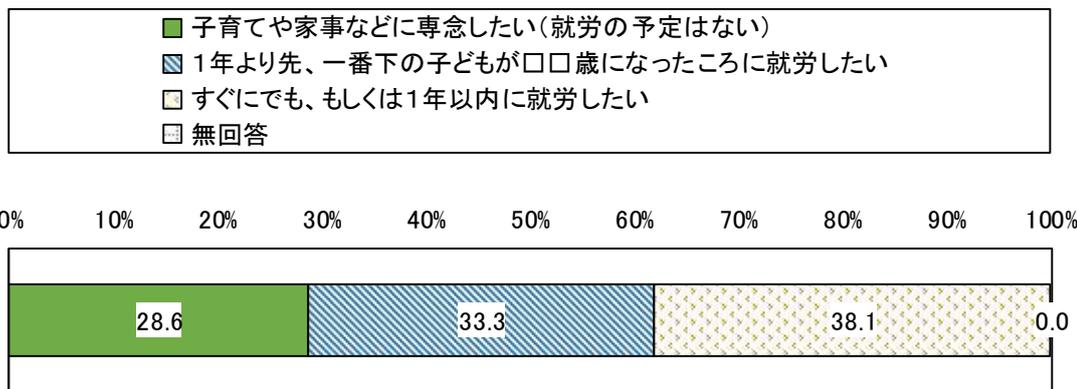
(1)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

(1)ー3 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.1%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が33.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.6%となっています。

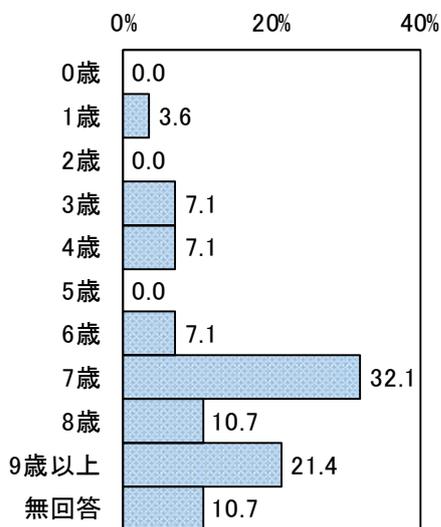
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「7歳」が32.1%で最も多く、次いで「9歳以上」が21.4%、「8歳」が10.7%となっています。

(n=84)



・ 母親の就労希望時の下の子どもの年齢

(n=28)



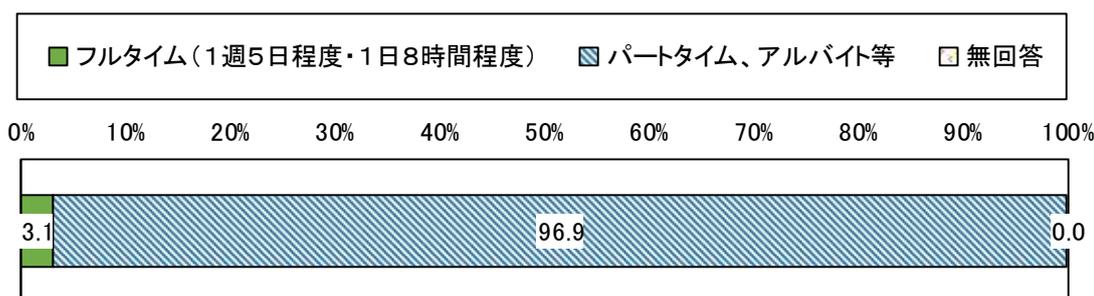
1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が96.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が3.1%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「4日」が48.4%で最も多く、次いで「3日」が32.3%、「5日」が19.4%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「5時間」が35.5%で最も多く、次いで「4時間」が32.3%、「6時間」が16.1%となっています。

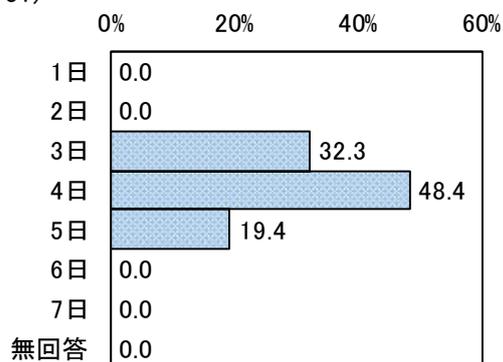
・希望する就労形態

(n=32)



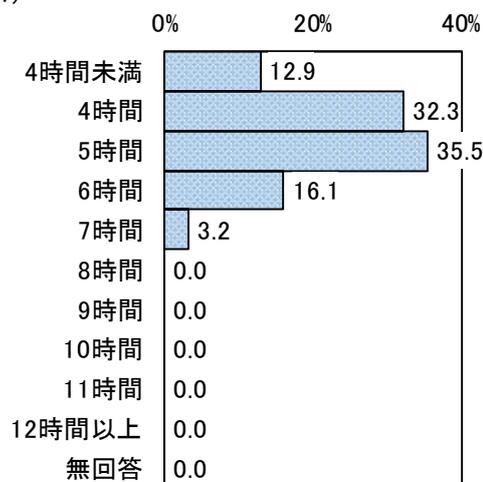
・希望する1週当たりの就労日数

(n=31)



・希望する1日当たりの就労時間

(n=31)



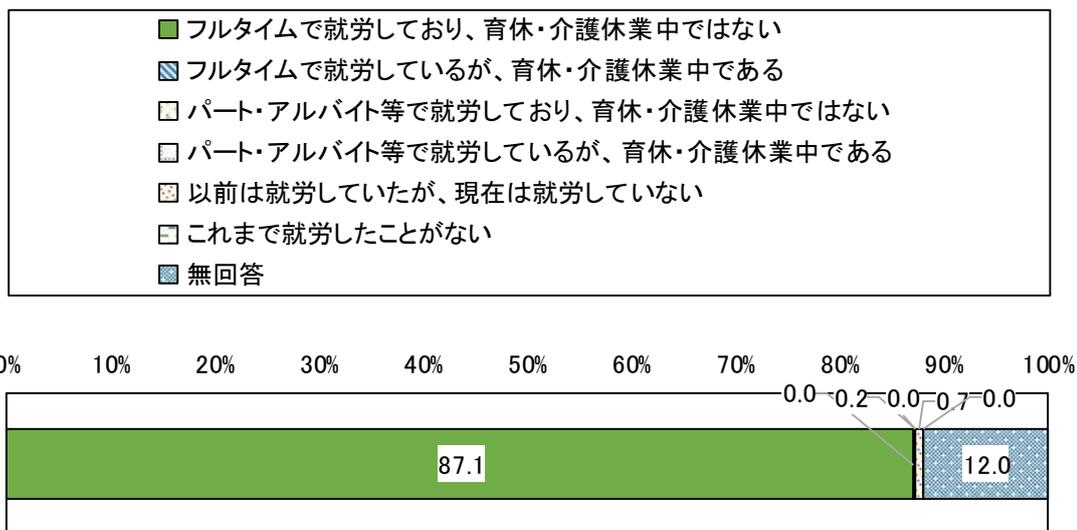
(5) 父親の就労状況

問12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
 (2)父親(1つに○)【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が87.1%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.2%となっています。

また、育児を理由とした離職について、「いいえ」が1人となっています。

(n=434)



(6) 就労している父親の就労日数・就労時間

(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

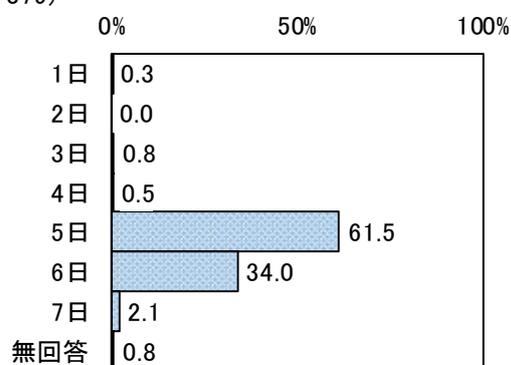
(2)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が61.5%で最も多く、次いで「6日」が34.0%、「7日」が2.1%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が34.3%で最も多く、次いで「10時間」が21.4%、「12時間以上」が17.9%となっています。

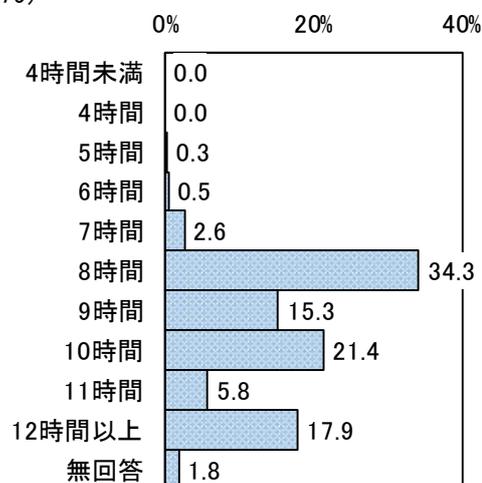
・ 1週あたりの就労日数

(n=379)



・ 1日あたりの就労時間

(n=379)



(7) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

(2)－2 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1人となっています。

(8) 就労していない父親の就労希望

(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

(2)－3 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7% (2人)で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が33.3% (1人)となっています。

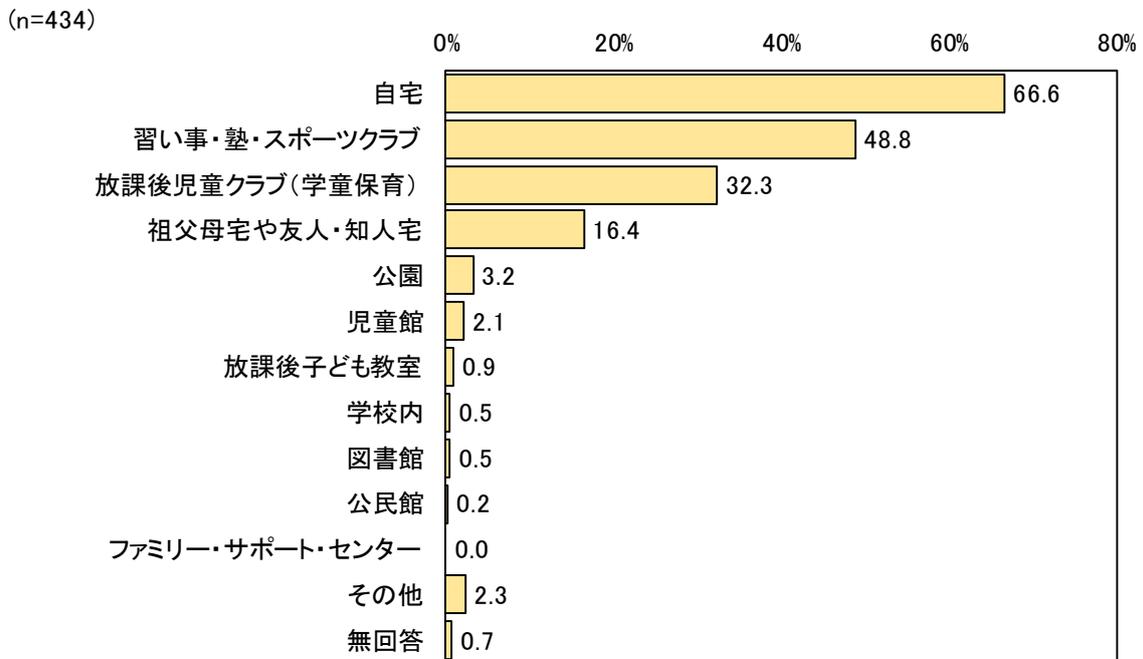
5 小学校の放課後の過ごし方について(低学年児童)

(1) 現在の放課後の過ごし方

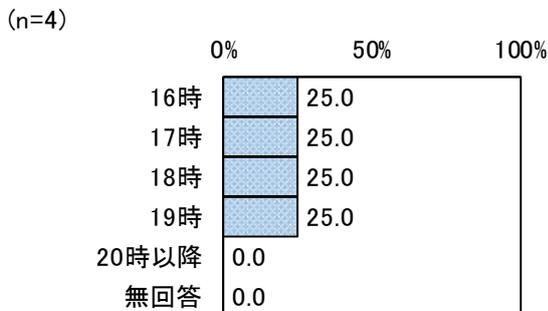
問13 お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の放課後の過ごし方として、放課後は現在どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も[]内にご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。また、合わせて週5日になるように利用日数を記入してください。

低学年児の現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が66.6%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が48.8%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が32.3%となっています。

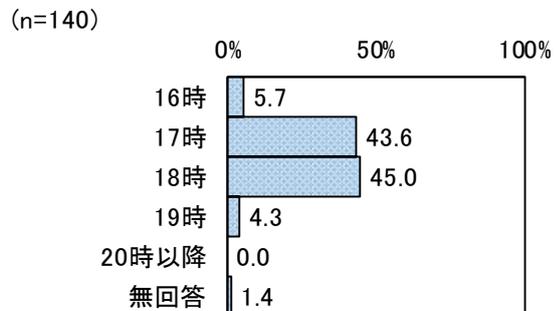
希望する利用終了時刻は、「放課後子ども教室」では「16時」、「17時」、「18時」、「19時」がともに25.0%、「放課後児童クラブ」では「18時」が45.0%と最も多くなっています。



・放課後子ども教室の利用終了時刻



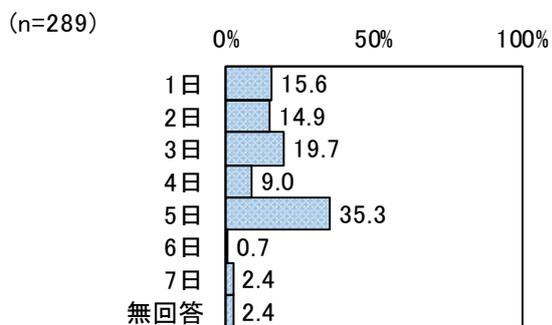
・放課後児童クラブの利用終了時刻



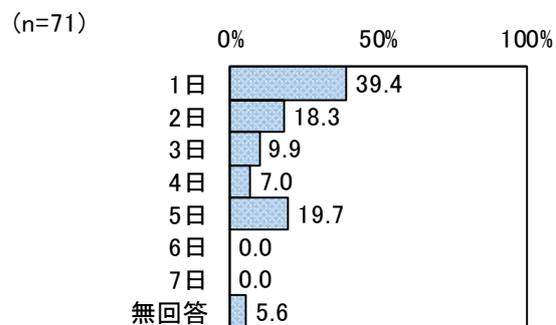
1週あたりの利用日数は、次の通りとなっています。

【1週あたりの利用日数】

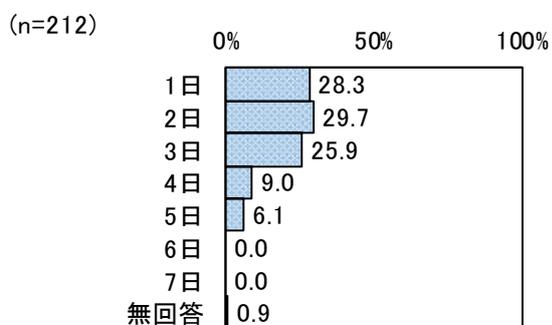
・ 自宅



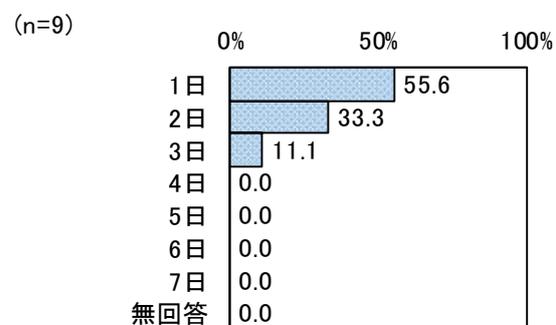
・ 祖父母宅や友人・知人宅



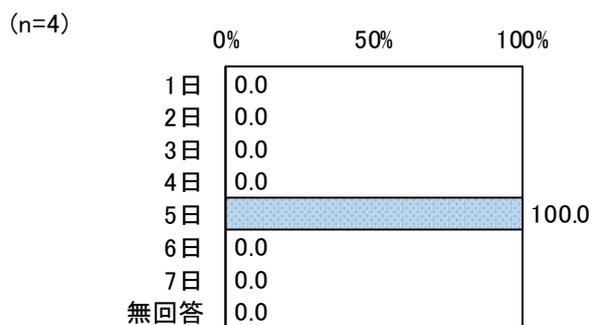
・ 習い事・塾・スポーツクラブ



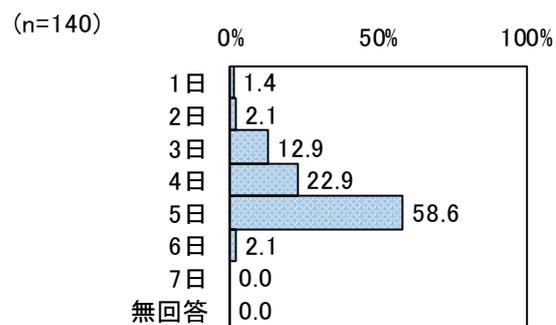
・ 児童館



・ 放課後子ども教室

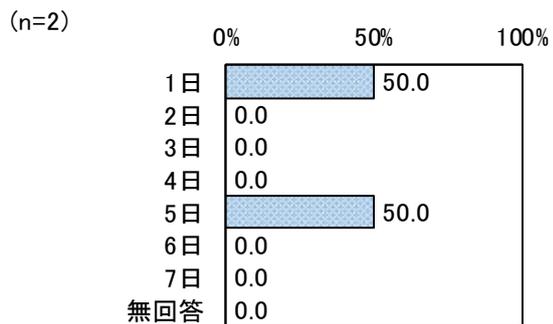


・ 放課後児童クラブ（学童保育）

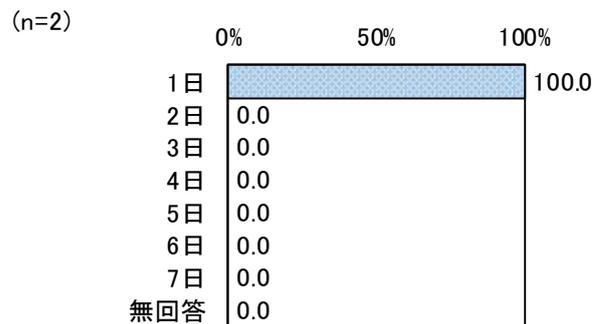


第3章 小学生児童保護者

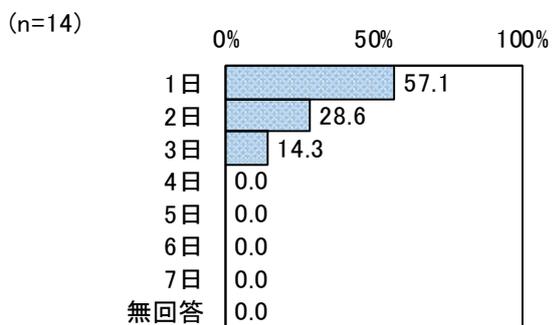
・ 学校内



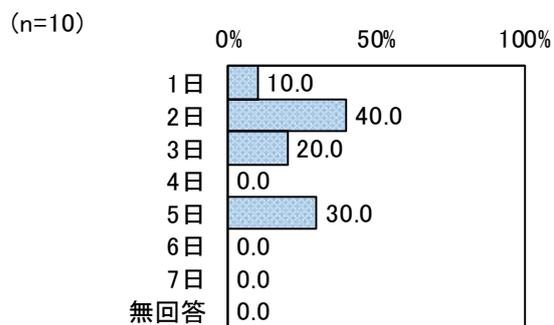
・ 図書館



・ 公園



・ その他



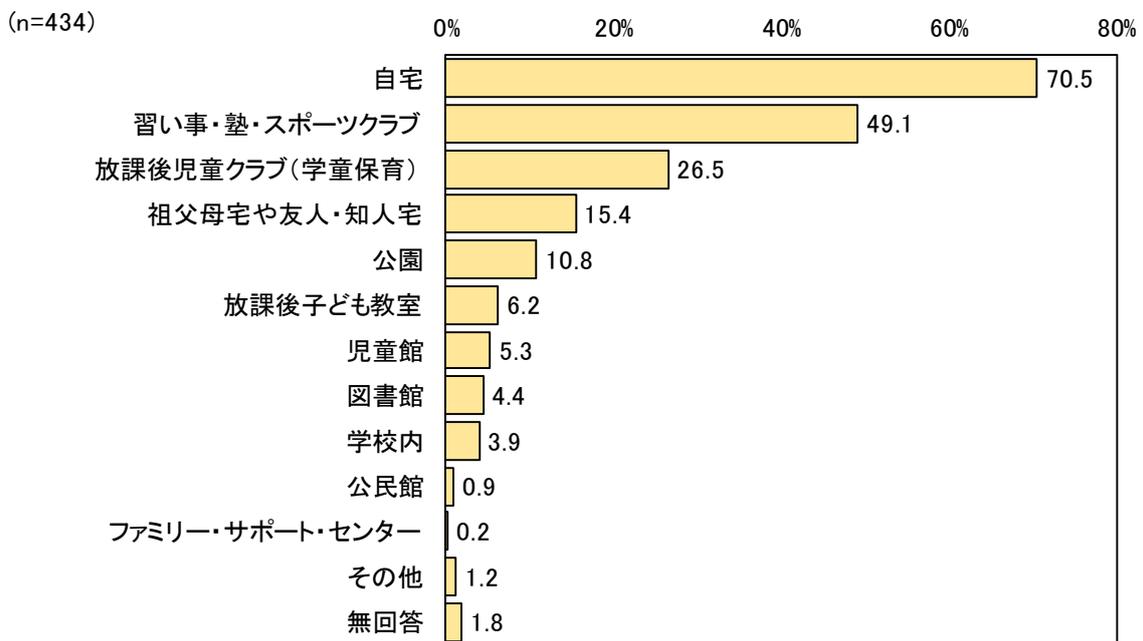
・ 公民館は回答者がいませんでした。

(2) 低学年時の放課後の過ごし方(希望の過ごし方)

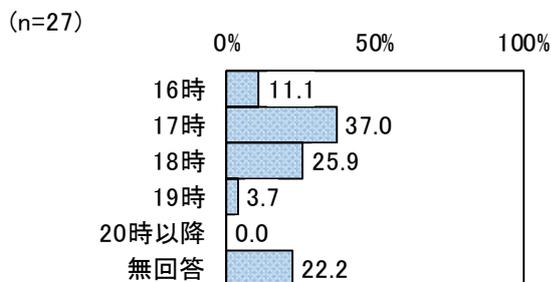
問14 お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の放課後の過ごし方として、放課後はどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、希望する時間も[]内にご記入ください。また、合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

低学年時の希望の放課後の過ごし方は、「自宅」が70.5%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が49.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が26.5%となっています。

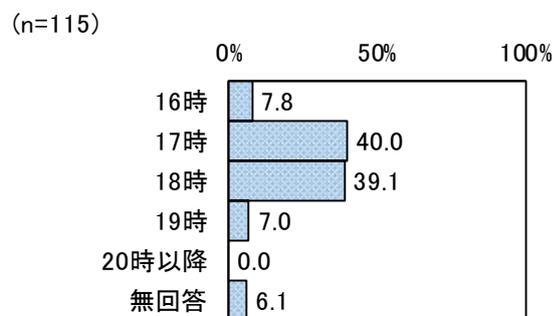
希望する利用終了時刻は、「放課後子ども教室」では「17時」が37.0%、「放課後児童クラブ」では「17時」が40.0%と最も多くなっています。



・放課後子ども教室の希望終了時刻



・放課後児童クラブの希望終了時刻

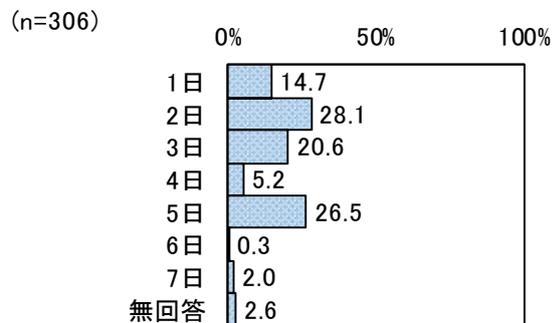


第3章 小学生児童保護者

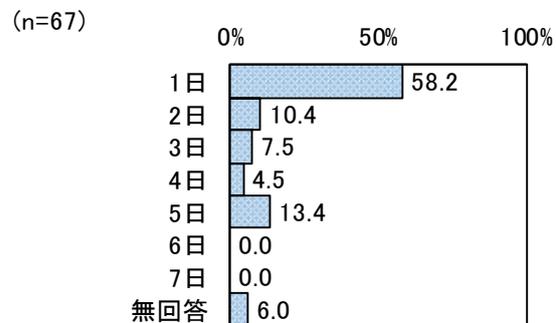
1週あたりの希望日数は、次の通りとなっています。

【1週あたりの希望日数】

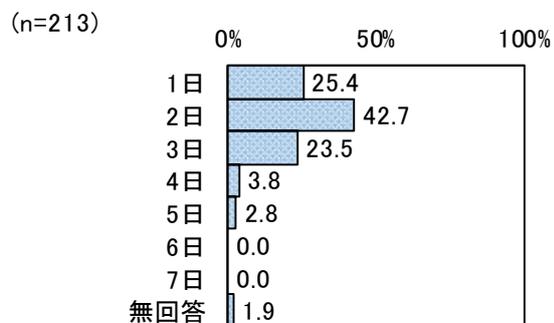
・ 自宅



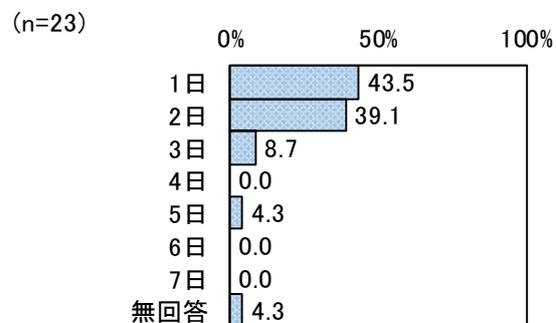
・ 祖父母宅や友人・知人宅



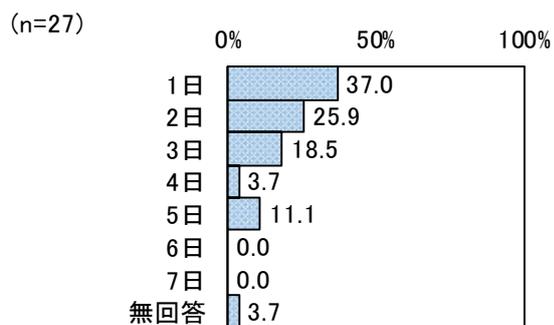
・ 習い事・塾・スポーツクラブ



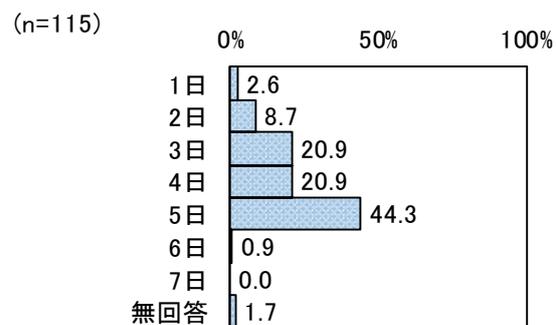
・ 児童館



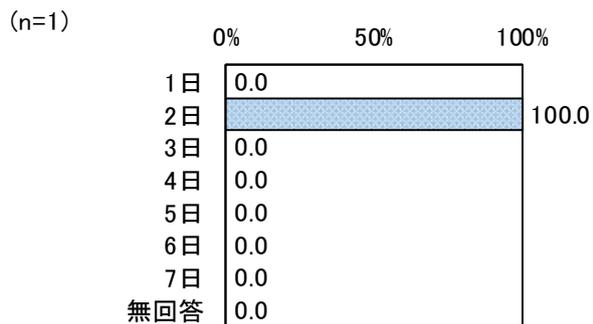
・ 放課後子ども教室



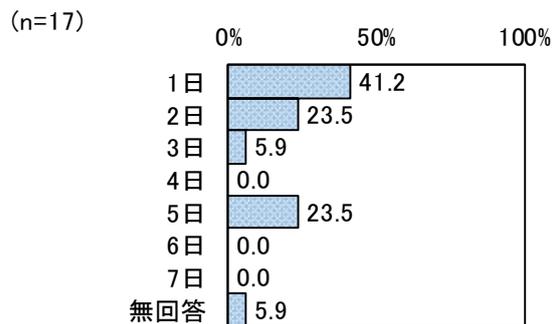
・ 放課後児童クラブ（学童保育）



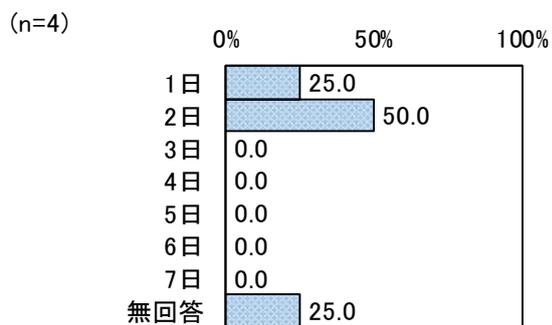
・ファミリー・サポート・センター



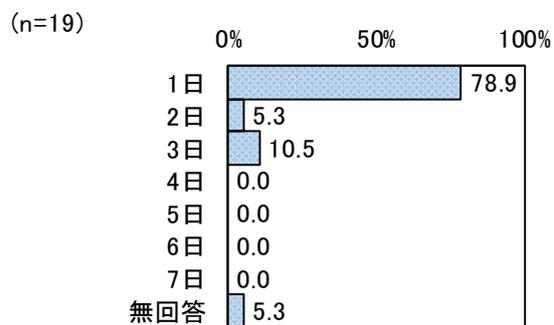
・学校内



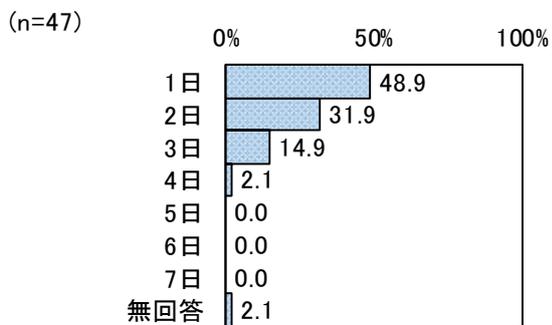
・公民館



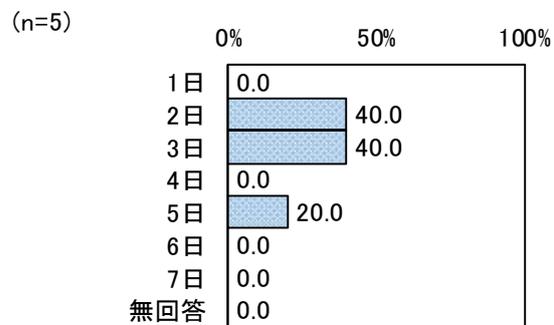
・図書館



・公園



・その他

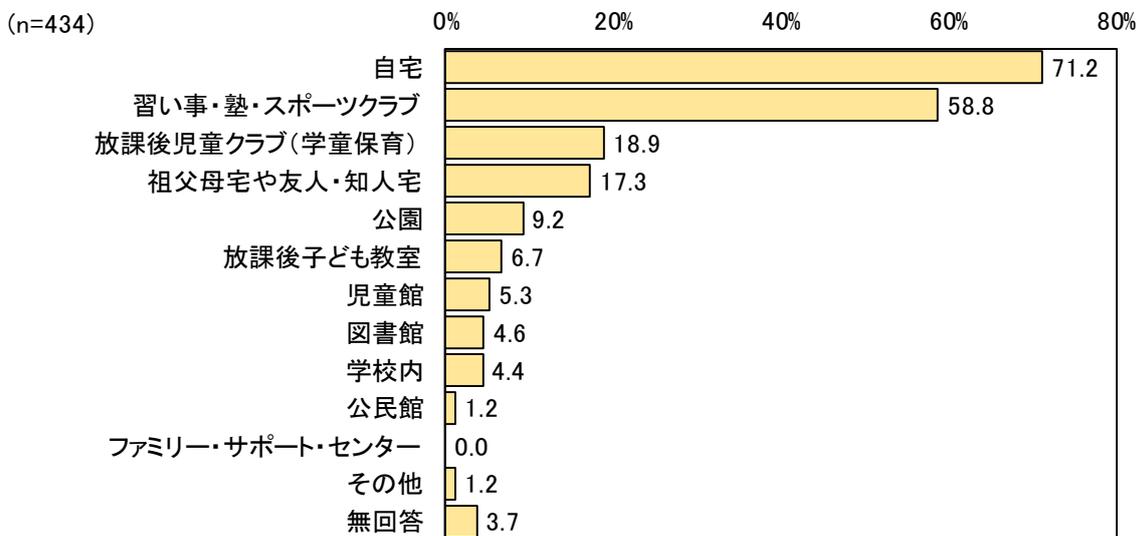


(3) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

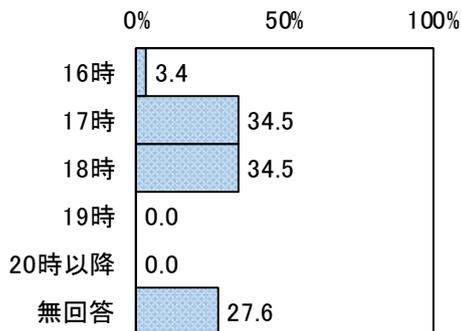
問15 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、希望する時間も[]内にご記入ください。また、合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望する高学年時の放課後の過ごし方は「自宅」が71.2%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が58.8%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が18.9%となっています。

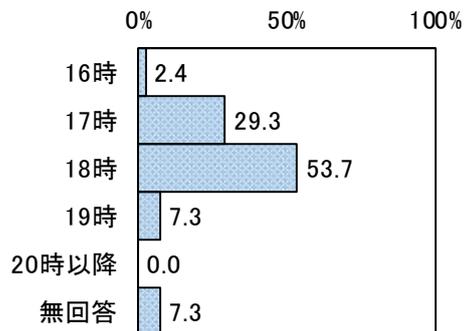
希望する利用終了時刻は、「放課後子ども教室」では「17時」、「18時」がともに34.5%、「放課後児童クラブ」では「18時」が53.7%と最も多くなっています。



・ 放課後子ども教室の希望終了時刻
(n=29)



・ 放課後児童クラブの希望終了時刻
(n=82)

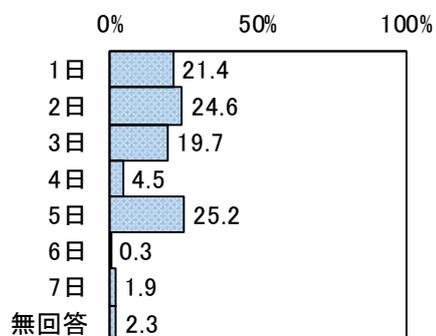


1週あたりの希望日数は、次の通りとなっています。

【1週あたりの希望日数】

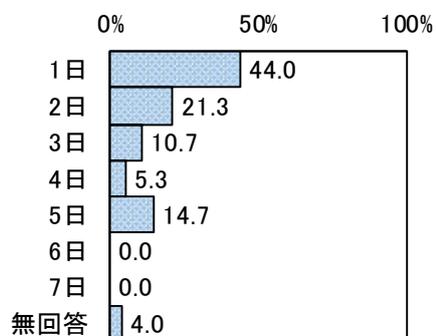
・ 自宅

(n=309)



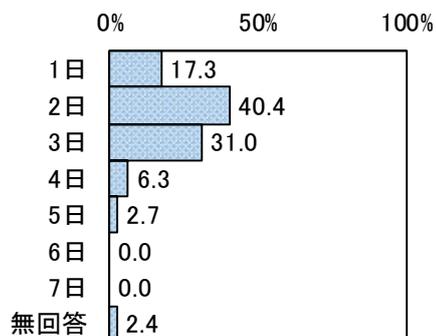
・ 祖父母宅や友人・知人宅

(n=75)



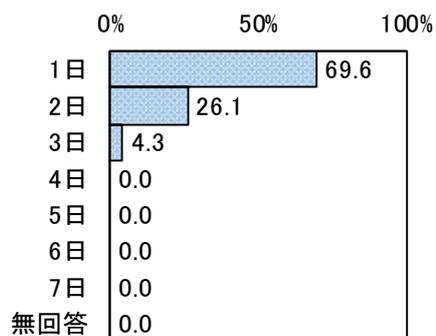
・ 習い事・塾・スポーツクラブ

(n=255)



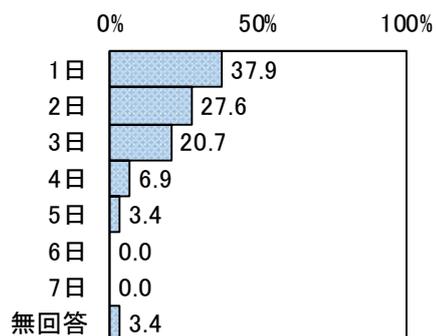
・ 児童館

(n=23)



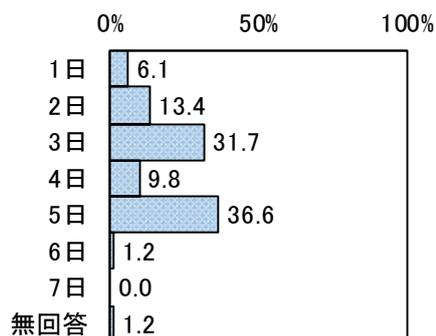
・ 放課後子ども教室

(n=29)



・ 放課後児童クラブ (学童保育)

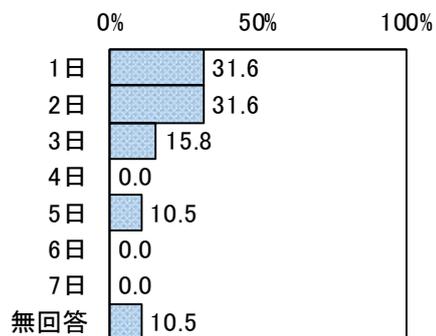
(n=82)



第3章 小学生児童保護者

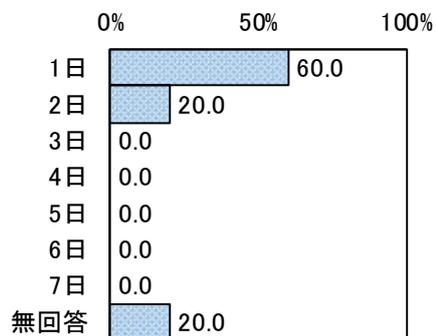
・学校内

(n=19)



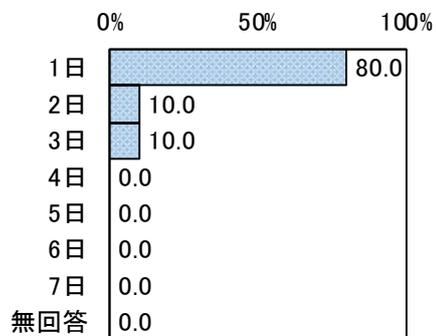
・公民館

(n=5)



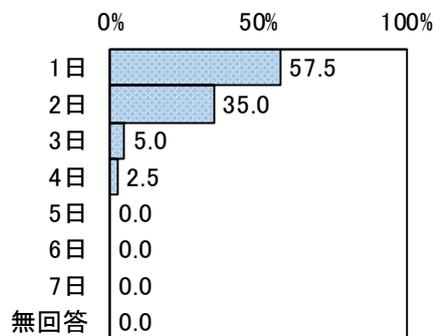
・図書館

(n=20)



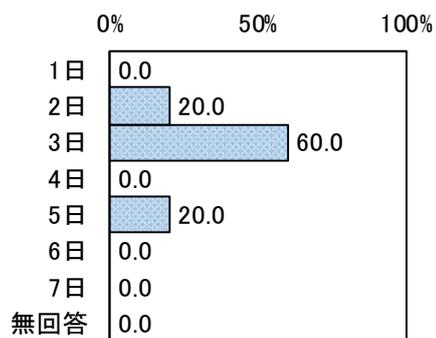
・公園

(n=40)



・その他

(n=5)



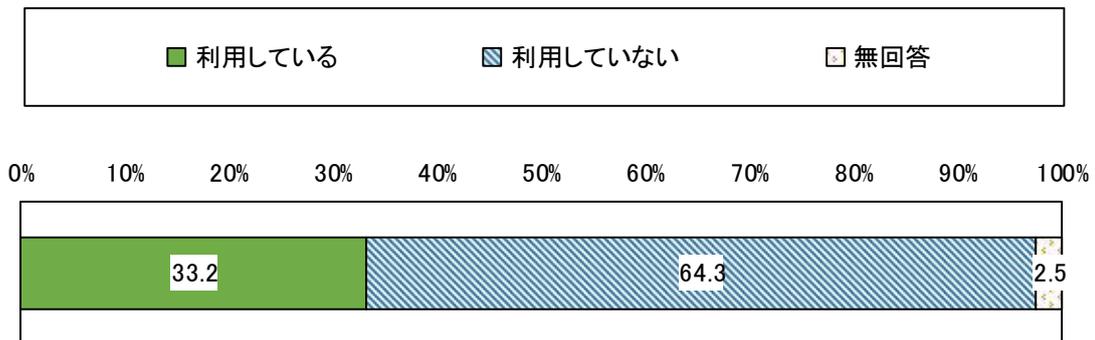
6 放課後児童クラブについて

(1) 放課後児童クラブの利用状況

問16 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1つに○)

放課後児童クラブの利用状況は、「利用していない」が64.3%、「利用している」が33.2%となっています。

(n=434)



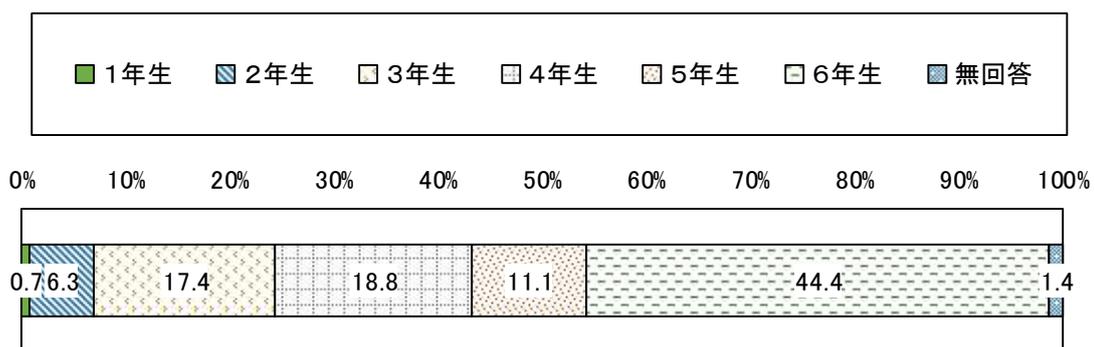
(2) 希望する放課後児童クラブの利用学年

問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問16-1 何年生まで放課後児童クラブを利用したいですか。(数字を記入)

放課後児童クラブを利用したい学年は、「6年生」が44.4%で最も多く、次いで「4年生」が18.8%、「3年生」が17.4%となっています。

(n=144)



(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

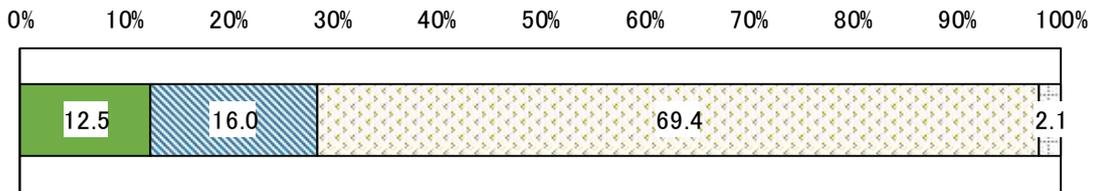
問16-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(1)土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が69.4%で最も多く、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が16.0%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が12.5%となっています。

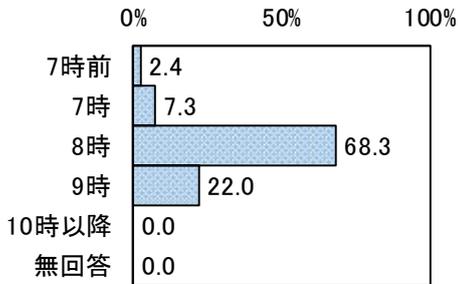
希望する利用開始時間は、「8時」が68.3%で最も多くなっており、利用終了時間は、「18時」が48.8%で最も多くなってしています。

(n=144)



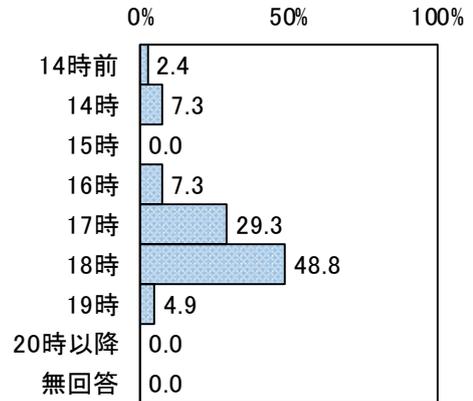
・希望開始時刻

(n=41)



・希望終了時刻

(n=41)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

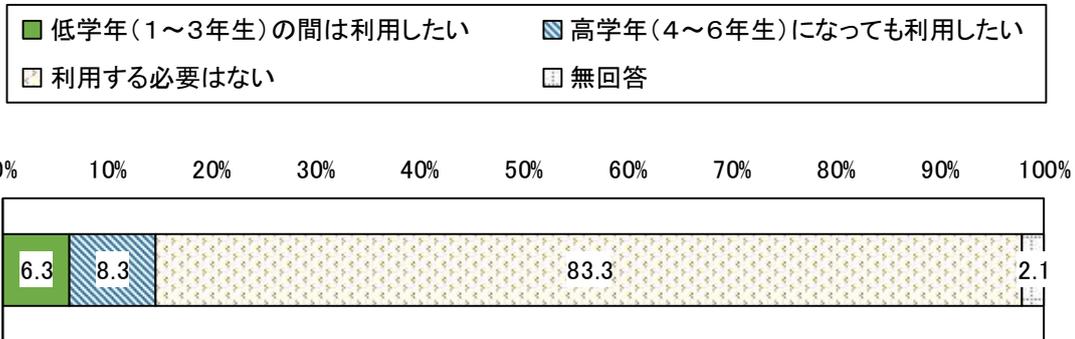
問16-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が83.3%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が8.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が6.3%となっています。

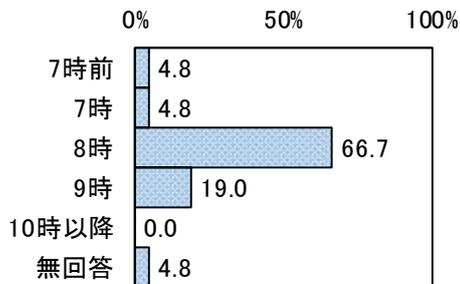
希望する利用開始時間は、「8時」が66.7%で最も多くなっており、利用終了時間は、「18時」が61.9%で最も多くなってしています。

(n=144)



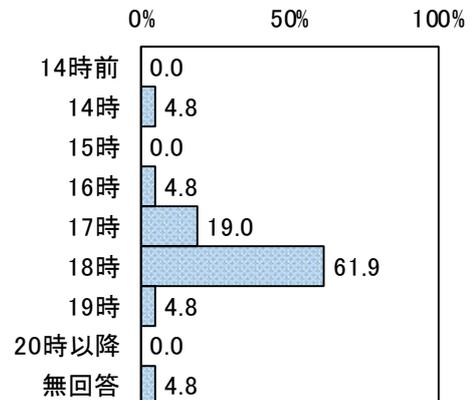
・ 希望開始時刻

(n=21)



・ 希望終了時刻

(n=21)



(5) 夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

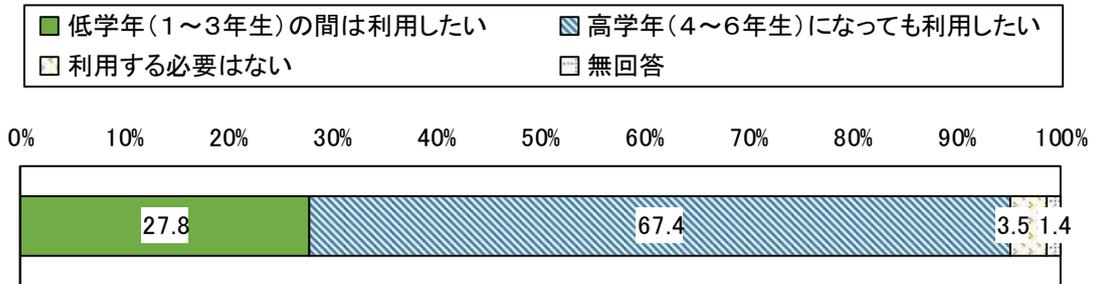
問16-3 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

(1) 夏休み

夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が67.4%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が27.8%、「利用する必要はない」が3.5%となっています。

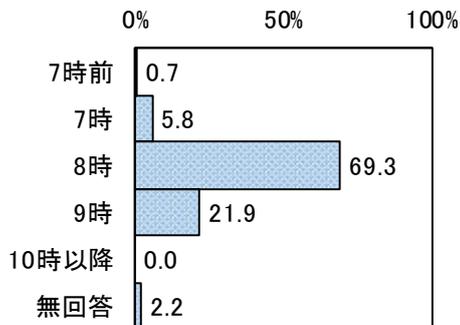
希望する利用開始時間は、「8時」が69.3%で最も多くなっており、利用終了時間は、「18時」が46.7%で最も多くなっています。

(n=144)



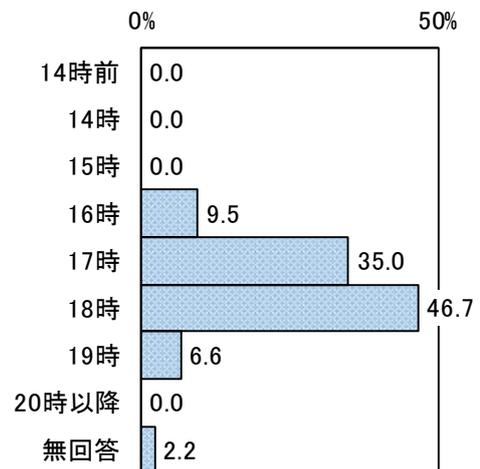
・希望開始時刻

(n=137)



・希望終了時刻

(n=137)



(6) 冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

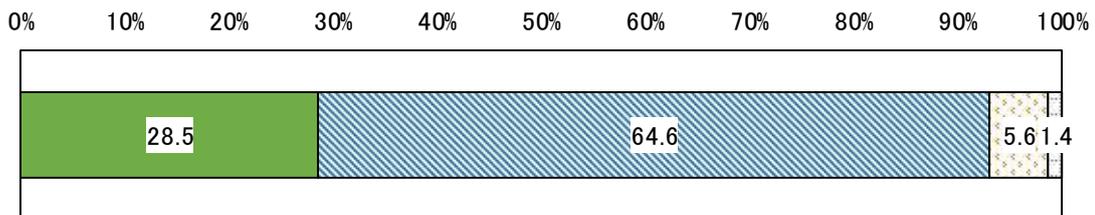
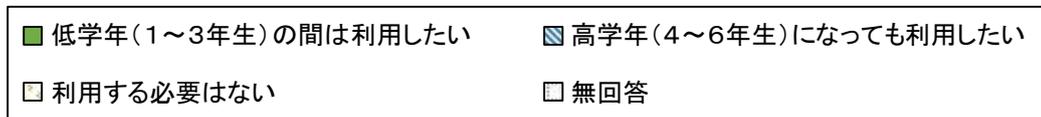
問16-3 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

(2)冬休み・春休みなど

冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が64.6%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が28.5%、「利用する必要はない」が5.6%となっています。

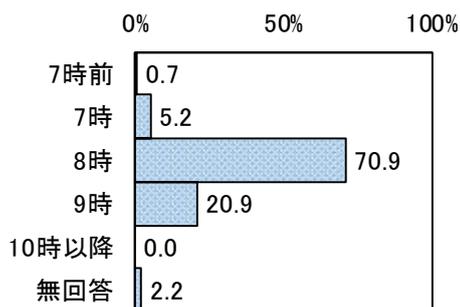
希望する利用開始時間は、「8時」が70.9%で最も多くなっており、利用終了時間は、「18時」が47.0%で最も多くなっていきます。

(n=144)



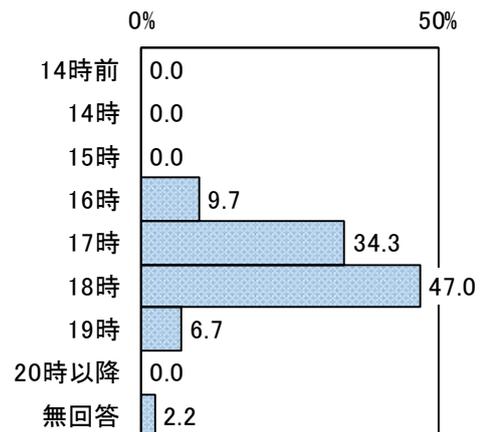
・ 希望開始時刻

(n=134)



・ 希望終了時刻

(n=134)



(7) 放課後児童クラブの満足度

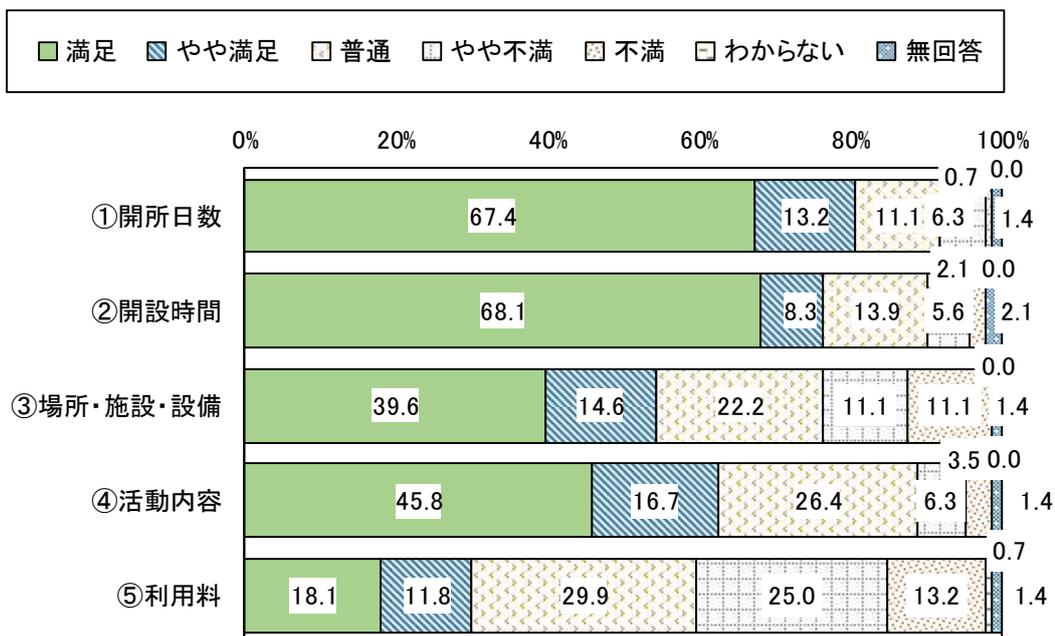
問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問16-4 現在通われている放課後児童クラブについて、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

放課後児童クラブの満足度について、満足していると回答している割合（「満足」と「やや満足」の合計）が多いのは、「①開所日数」が80.6%と最も多く、次いで「②開設時間」が76.4%、「④活動内容」が62.5%となっています。

一方、「⑤利用料」は、不満と回答している割合（「不満」と「やや不満」の合計）が38.2%と最も多くなっています。

(n=144)



(8) 放課後児童クラブへの要望

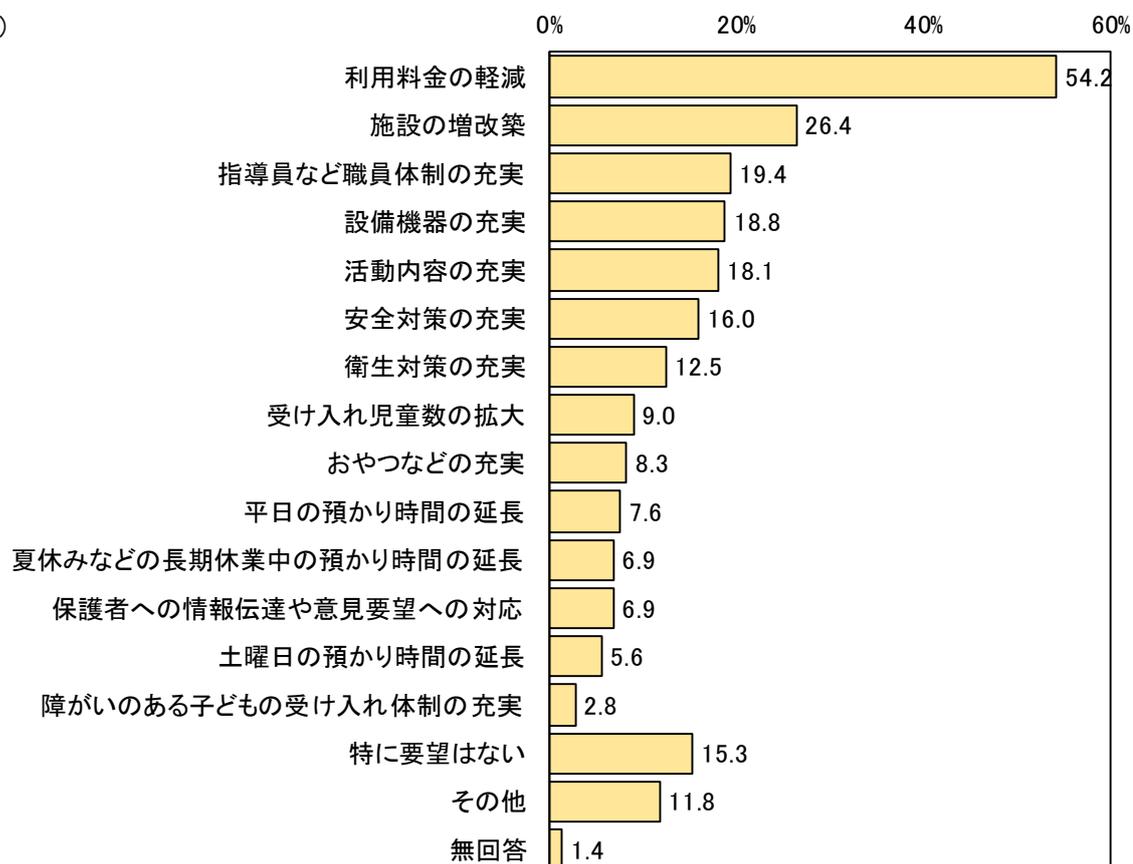
問16で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問16-5 現在、お子さんが通っている放課後児童クラブに関してどのような要望をお持ちでしょうか。

(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブへの要望は、「利用料金の軽減」が54.2%で最も多く、次いで「施設の増改築」が26.4%、「指導員など職員体制の充実」が19.4%となっています。

(n=144)

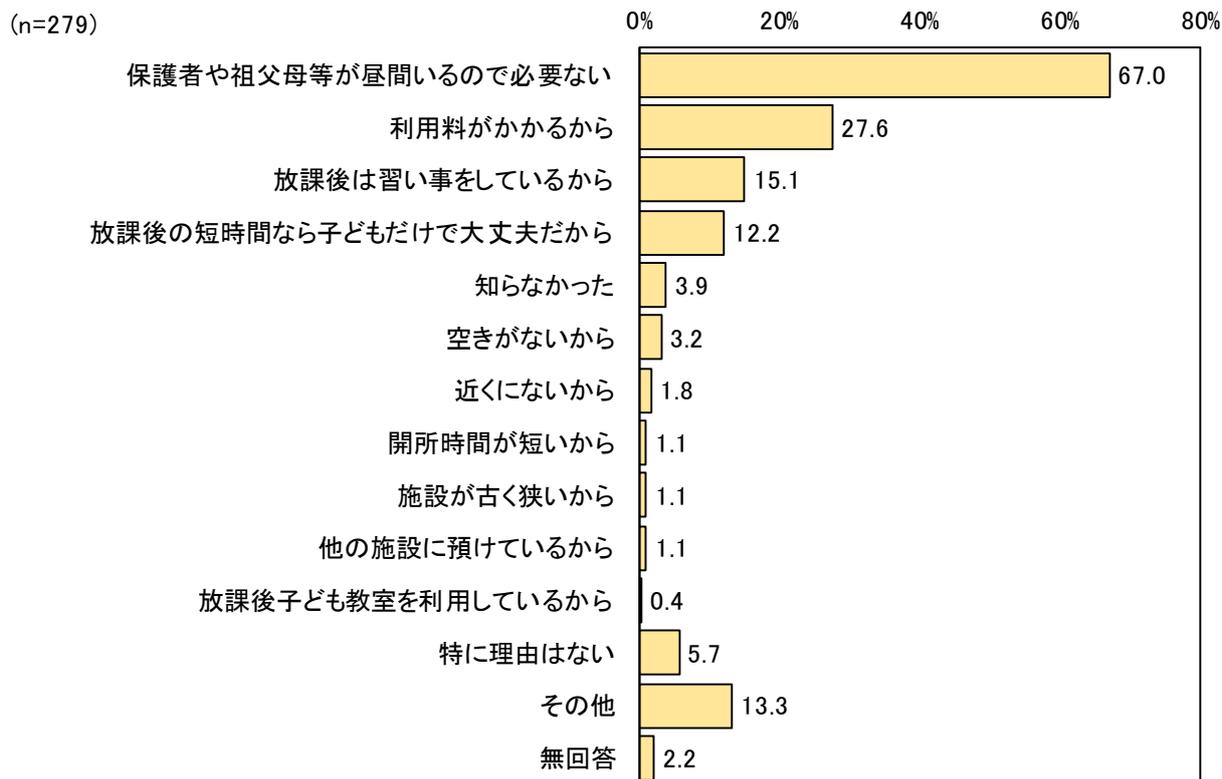


(9) 放課後児童クラブを利用しない理由

問16で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問16-6 利用されていない主な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブを利用しない理由は、「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」が67.0%で最も多く、次いで「利用料がかかるから」が27.6%、「放課後は習い事をしているから」が15.1%となっています。



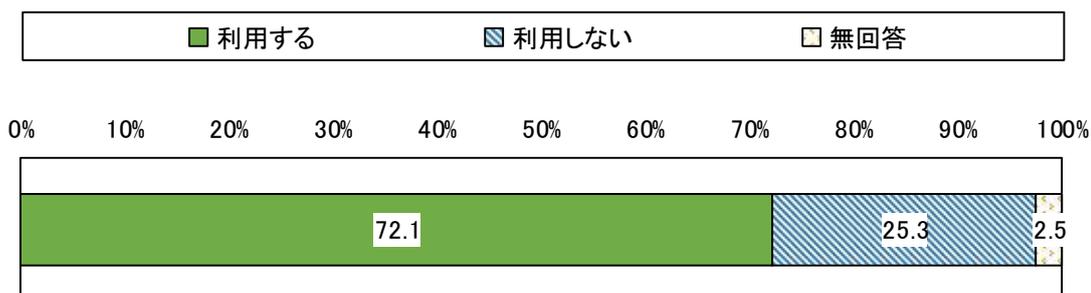
7 放課後子ども教室について

(1) 放課後子ども教室の利用希望

問17 放課後子ども教室があったら利用しますか。(1つに○)

放課後子ども教室の利用希望は、「利用する」が72.1%、「利用しない」が25.3%となっています。

(n=434)

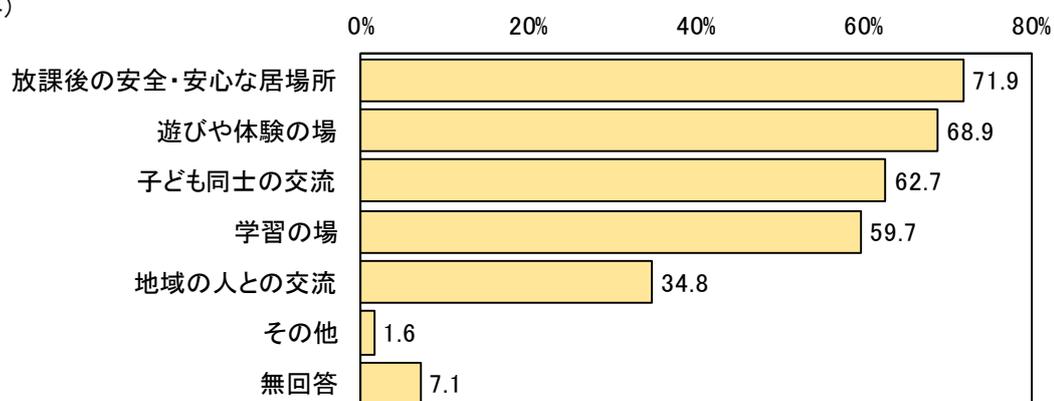


(2) 放課後子ども教室に期待すること

問18 放課後子ども教室に期待することはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

放課後子ども教室に期待することは、「放課後の安全・安心な居場所」が71.9%で最も多く、次いで「遊びや体験の場」が68.9%、「子ども同士の交流」が62.7%となっています。

(n=434)



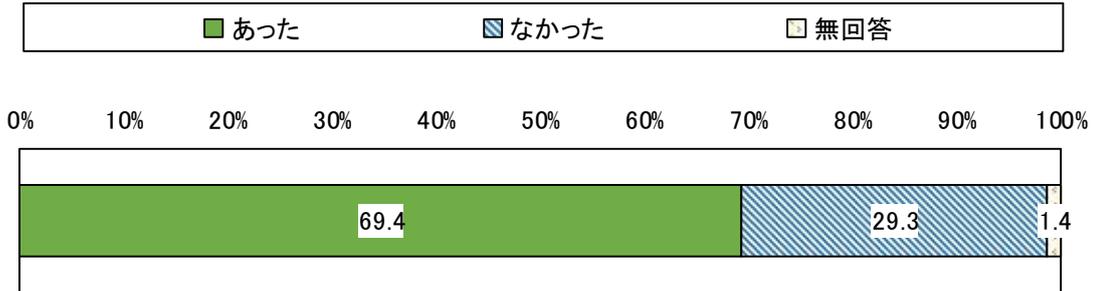
8 お子様の病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休んだことがあるか

問19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(1つに○)

子どもが病気やケガで学校を休んだことは、「あった」が69.4%、「なかった」が29.3%となっています。

(n=434)



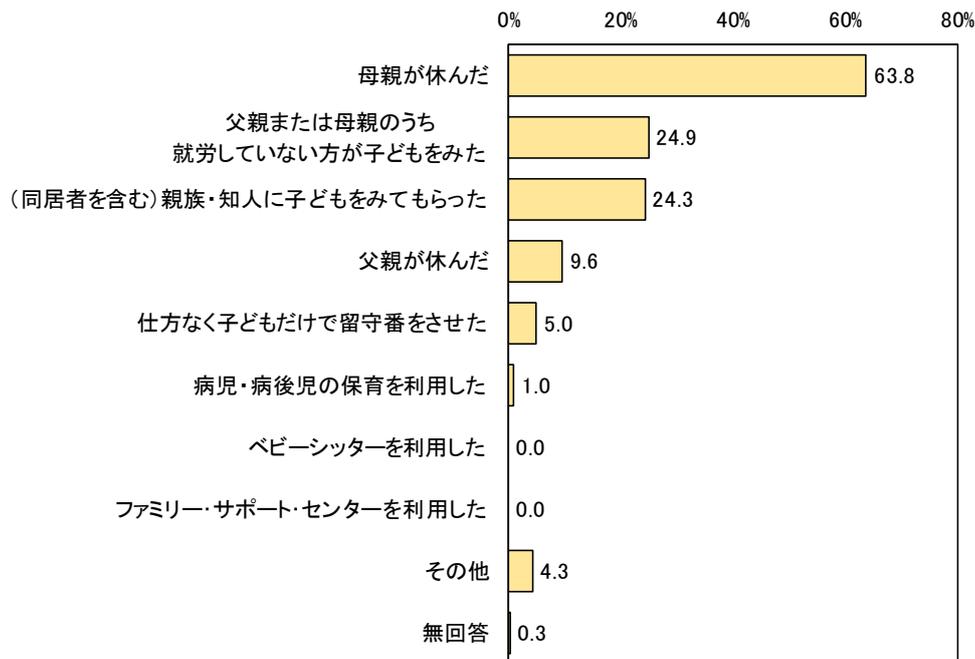
(2) 学校を休んだ場合の対処方法

問19で「1. あった」に○をつけた方のみ

問19-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が休んだ」が63.8%で最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が24.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が24.3%となっています。

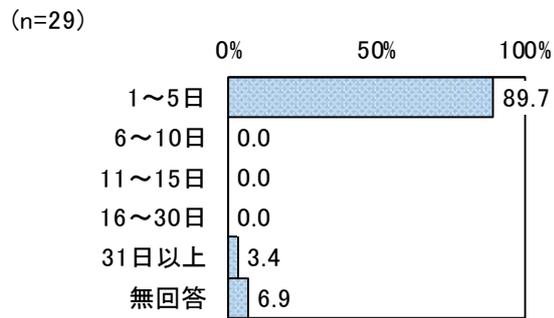
(n=301)



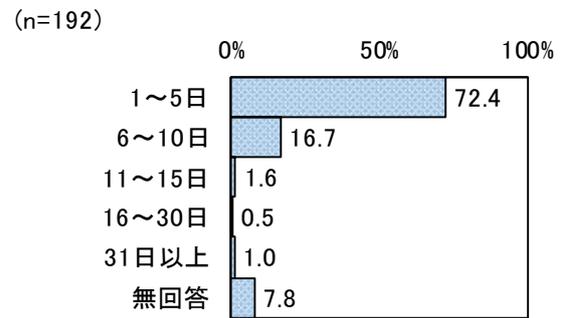
1年間の対処日数は、次の通りとなっています。

【1年間の対処日数】

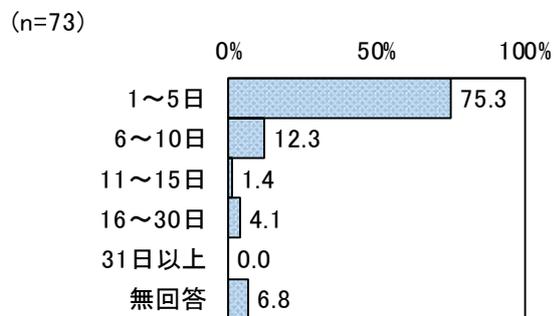
・父親が休んだ



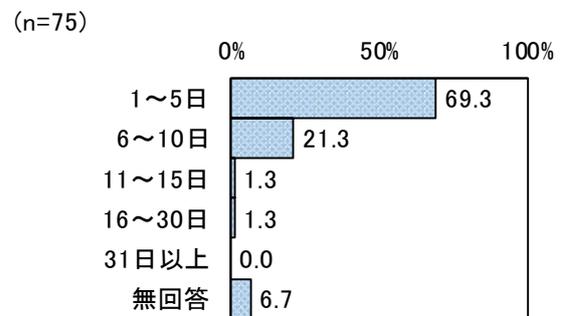
・母親が休んだ



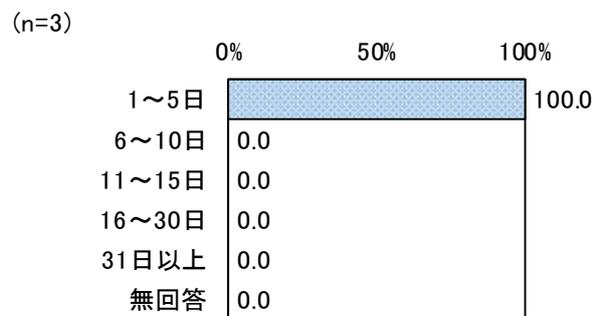
・親族・知人にみてもらった



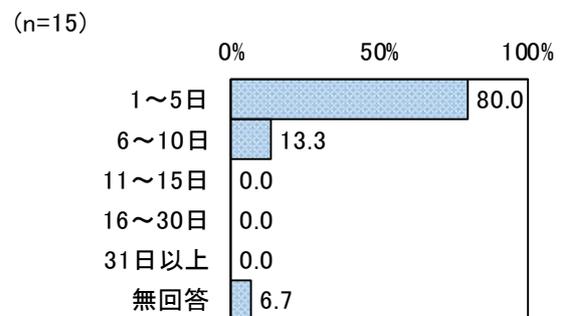
・父母のうち就労していない方が子どもをみた



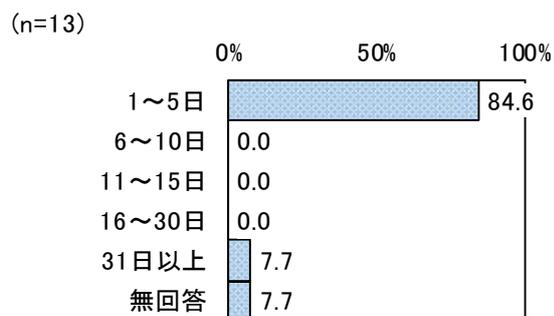
・病児・病後児の保育を利用した



・仕方なく子どもだけで留守番をさせた



・その他の対処



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

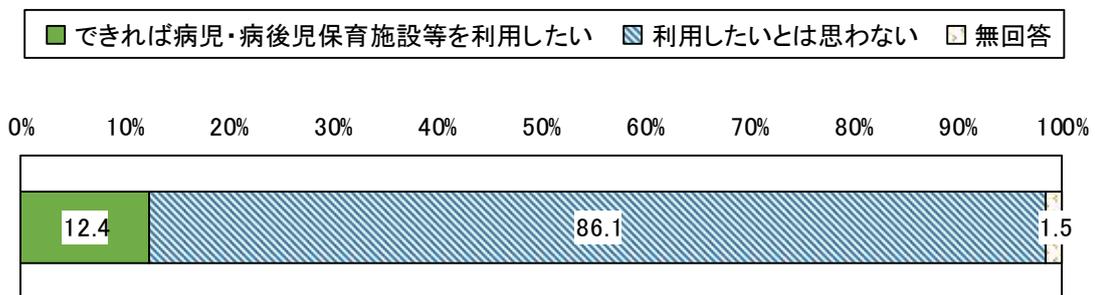
問19-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が86.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が12.4%となっています。

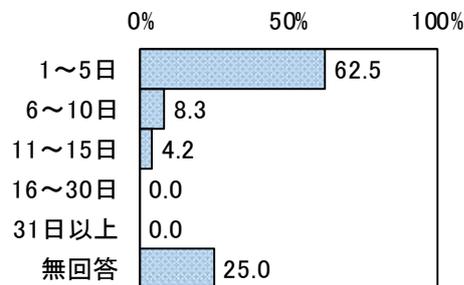
希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は「1～5日」が62.5%で最も多く、次いで「6～10日」が8.3%、「11～15日」が4.2%となっています。

(n=194)



・ 1年間の利用日数

(n=24)

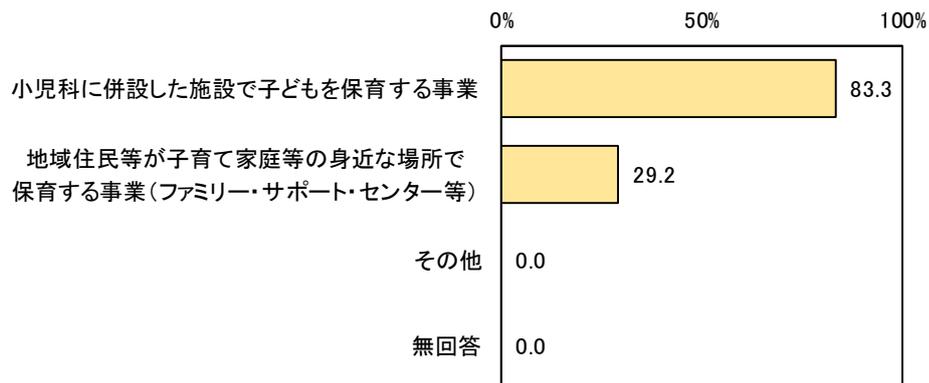


(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問19-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
 問19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 (あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)」が29.2%となっています。

(n=24)

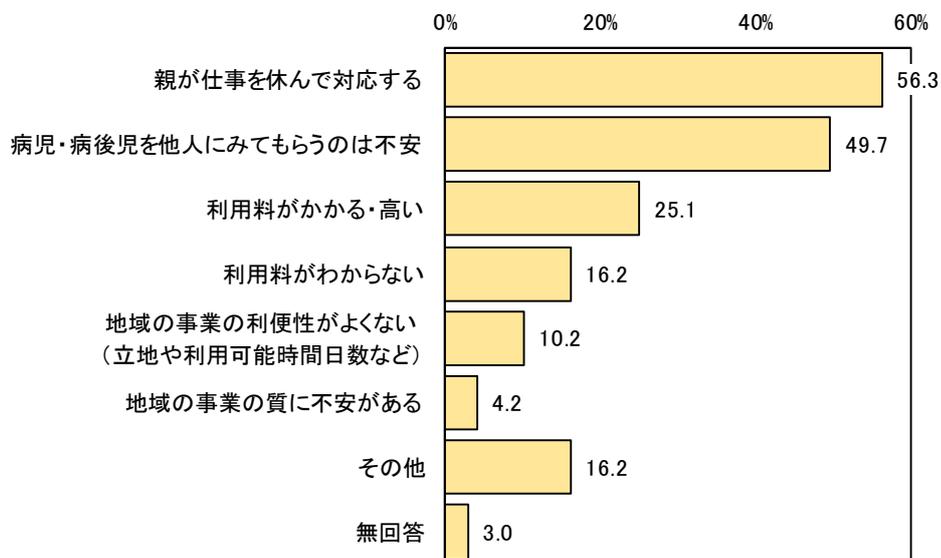


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問19-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
 問19-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が56.3%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が49.7%、「利用料がかかる・高い」が25.1%となっています。

(n=167)



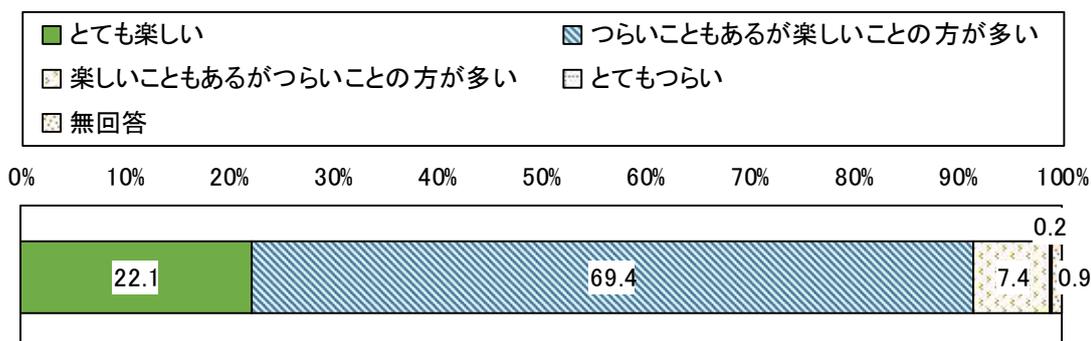
9 子育て支援施策全般について

(1) 子育ての楽しさ

問20 あなたは、子育てが楽しいですか。(1つに○)

子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が69.4%で最も多く、次いで「とても楽しい」が22.1%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が7.4%となっています。

(n=434)



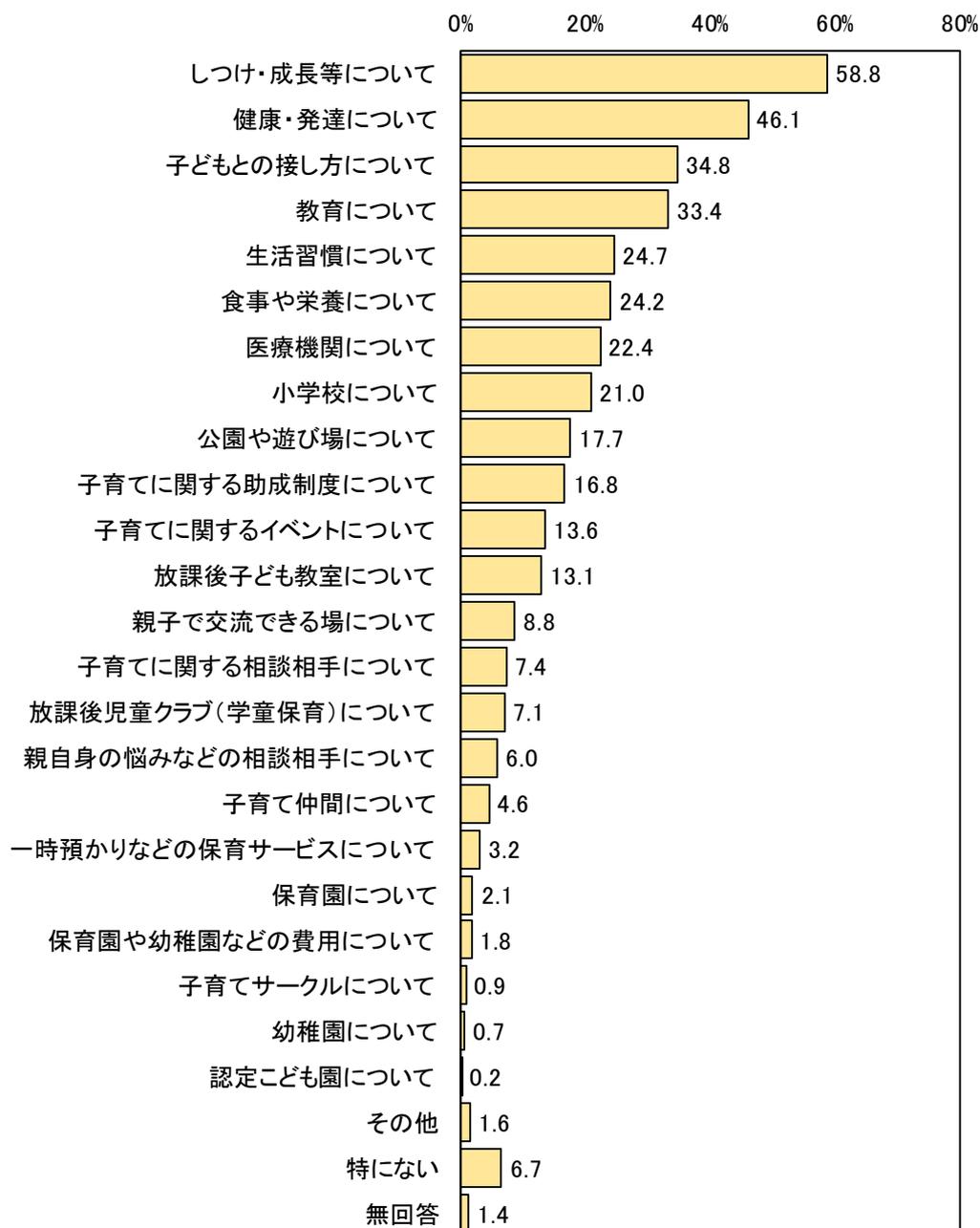
(2) 子育てに関する悩み・気になること

問21 子育てに関して知りたいこと、または気になることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩み、気になることは、「しつけ・成長等について」が58.8%で最も多く、次いで「健康・発達について」が46.1%、「子どもとの接し方について」が34.8%となっています。

(n=434)

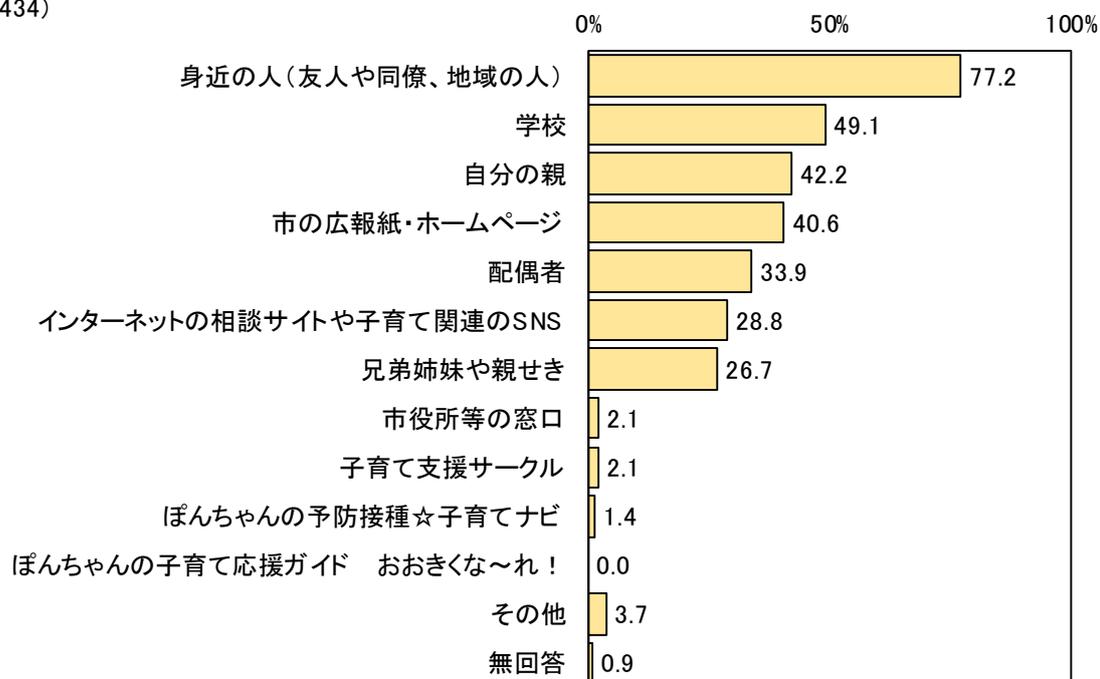


(3) 子育てや暮らしに関する情報の入手方法

問22 あなたは、子育てや暮らしに関する情報はどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てや暮らしに関する情報の入手方法は、「身近の人（友人や同僚、地域の人）」が 77.2% で最も多く、次いで「学校」が 49.1%、「自分の親」が 42.2%となっています。

(n=434)



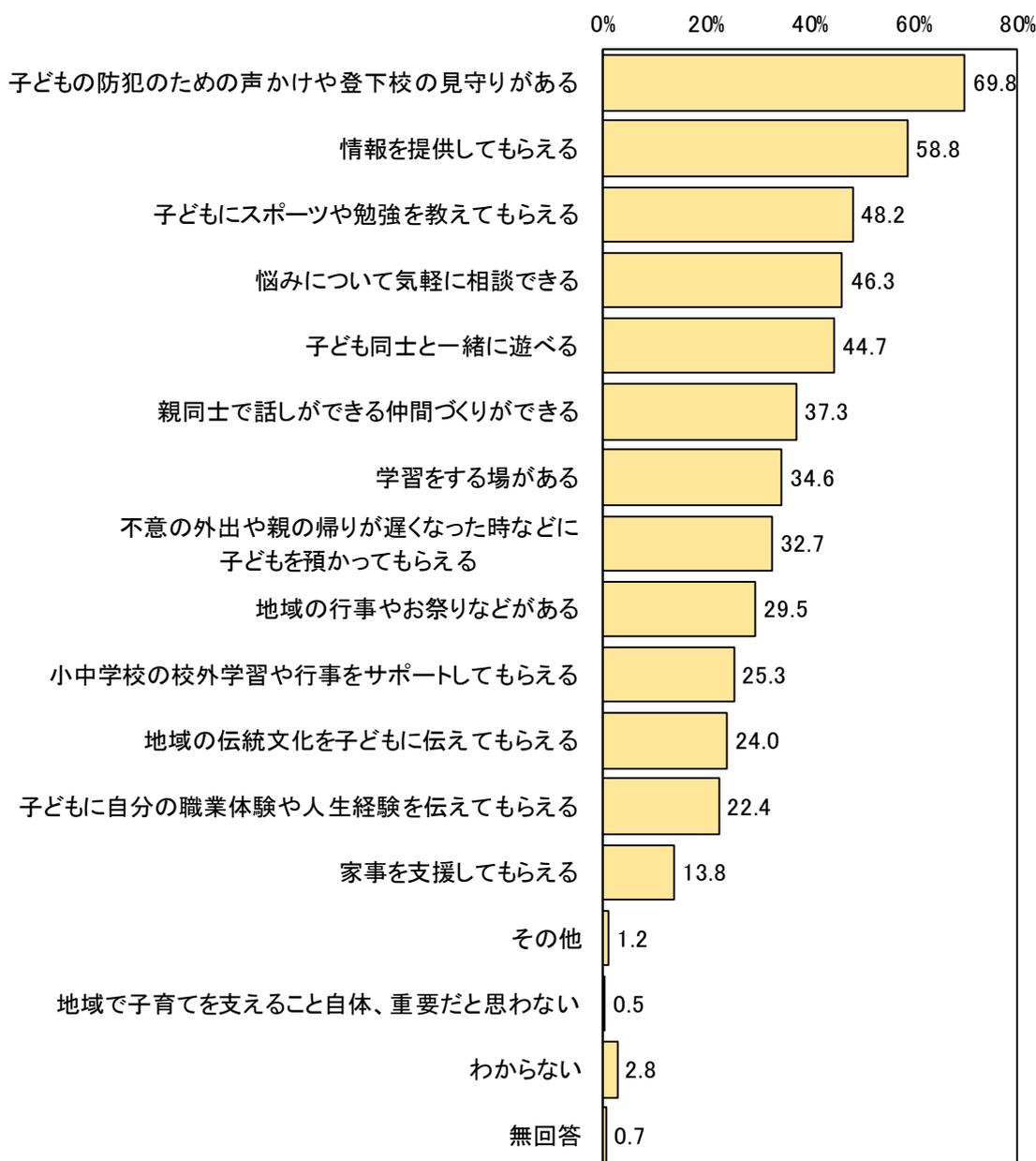
(4) 地域で子育てを支えるために重要なこと

問23 あなたは、地域で子育てを支えるために、どんなことが重要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で子育てを支えるために重要なことでは、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがある」が69.8%で最も多く、次いで「情報を提供してもらえる」が58.8%、「子どもにスポーツや勉強を教えてもらえる」が48.2%となっています。

(n=434)

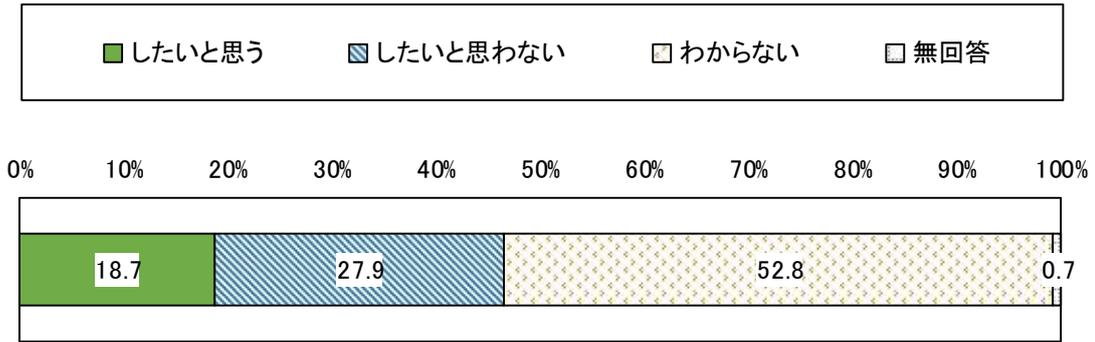


(5) 子育て支援のボランティア活動の参加意向

問24 あなたは、子育ての経験をいかして、子育ての手助け(支援)のボランティア活動をしてみたいと思いますか。(1つに○)

ボランティア活動への参加意向では、「したいと思う」が18.7%、「したいと思わない」が27.9%となっています。

(n=434)

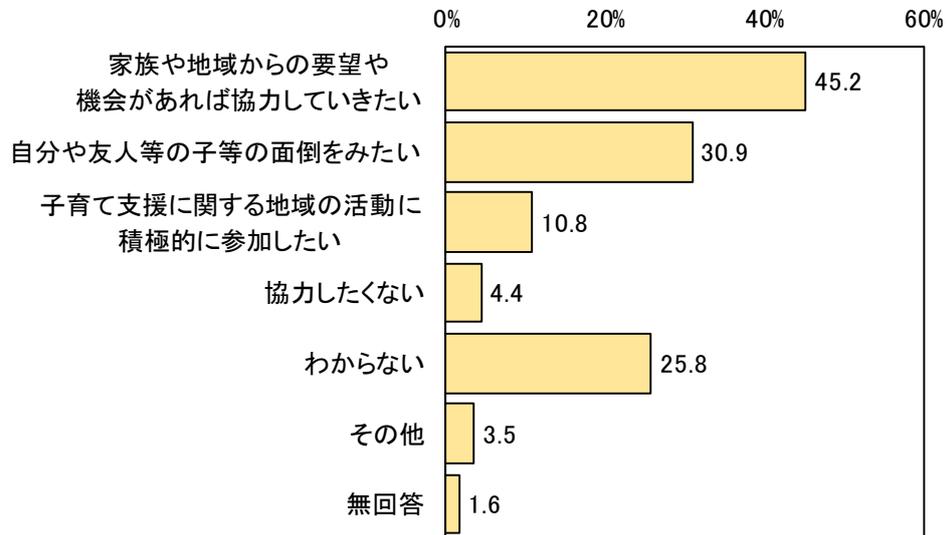


(6) 子育てで協力できること

問25 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てで協力できることは、「家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい」が45.2%で最も多く、次いで「自分や友人等の子等の面倒をみたい」が30.9%、「子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい」が10.8%となっています。

(n=434)



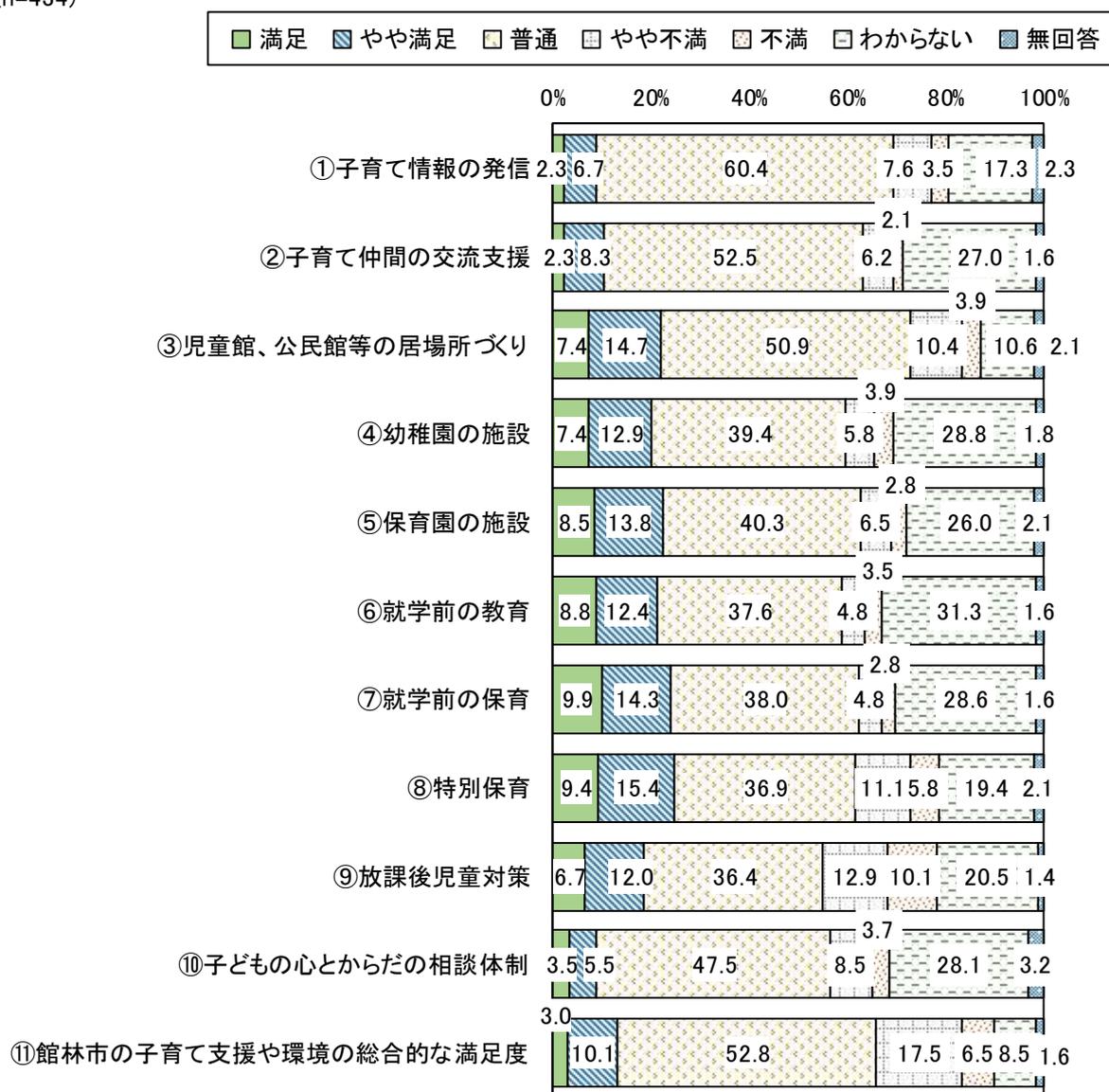
(7) 子育て環境の満足度

問26 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

子育て環境の満足度では、満足していると回答している割合（「満足」と「やや満足」の合計）が多いのは、「⑧特別保育」が24.8%と最も多く、次いで「⑦就学前の保育」が24.2%、「⑤保育園の施設」が22.3%となっています。

一方、「⑪館林市の子育て支援や環境の総合的な満足度」は、不満と回答している割合（「不満」と「やや不満」の合計）が24.0%と最も多くなっています。

(n=434)



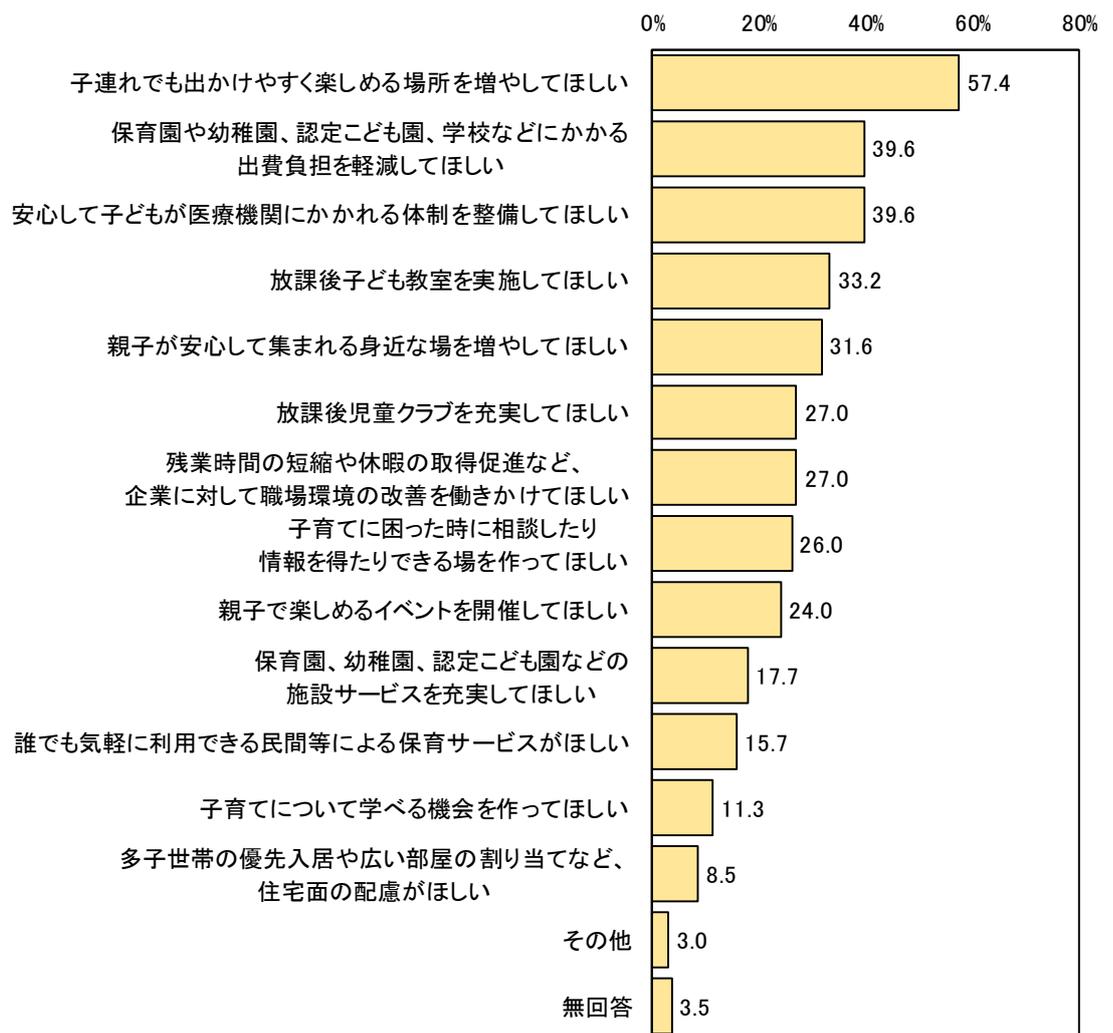
(8) 子育て支援環境充実のための必要な支援策

問27 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育て環境充実のために必要な支援策は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が57.4%で最も多く、次いで「保育園や幼稚園、認定こども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい」、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」がともに39.6%となっています。

(n=434)



子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書

発行／館林市
編集／館林市 こども福祉課
〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号
TEL 0276-72-4111（代表）
発行／平成31年3月
